



第2章



2-1 自立生活支援の充実

個々のもつ力を活かし支えあいながら、住み慣れた地域で、自立して暮らせる環境づくりに取り組みます。

施策の方向性・主な取組み

事務事業数

事務事業名称

担当課

(1)多様な福祉ニーズに重層的に対応した福祉コミュニティの実現に取り組みます	5事業
①多分野で連携する地域福祉ネットワークの構築	
②地域福祉活動活性化のための基盤づくりの推進	
地域共生センター運営管理事業	福祉部 地域共生課
地域福祉支援事業	福祉部 地域共生課
地域福祉計画の推進	福祉部 地域共生課
福祉環境の整備	福祉部 福祉指導監査課
自立生活支援事業	福祉部 福祉事務所
(2)介護サービス基盤の充実を図るとともに、高齢者を地域全体で支える環境づくりを進めます	7事業
①介護・高齢者福祉サービスの充実	
②認知症高齢者支援の充実	
③高齢者の権利擁護・虐待防止に向けた取組みの推進	
介護保険事業計画等の推進	福祉部 長寿社会政策課
介護予防・自立支援推進事業	福祉部 長寿安心課
介護認定事業	福祉部 長寿安心課
地域包括支援センター運営支援・管理事業	福祉部 長寿安心課
認知症等対策関連事業	福祉部 長寿安心課
高齢者権利擁護事業	福祉部 長寿安心課
高齢者生活支援事業	福祉部 長寿安心課

(3)障害者福祉サービスの充実を図るとともに、障害者の社会参加を促進します	4事業
①総合的な障害者生活支援体制の充実	
②障害者の就労支援の充実	
③障害者の社会参加の促進	
障害者就労支援業務	総務部 行政総務課
障害福祉の推進	福祉部 障害福祉課
障害福祉サービスの運営	福祉部 障害福祉課
障害福祉センターひまわり運営管理	福祉部 障害福祉課

(4)セーフティネットとしての社会保障制度の充実を進めます	12事業
①安定した社会保険制度の運用	
②生活困窮者への自立支援	
生活保護事業	福祉部 福祉事務所
介護保険給付等事業	福祉部 長寿社会政策課
介護保険事業(保険給付課)	健康医療部 保険給付課
国民健康保険事業(保険給付課)	健康医療部 保険給付課
後期高齢者医療事業	健康医療部 保険給付課
福祉医療費助成事業	健康医療部 保険給付課
保険料収納事業	健康医療部 保険資格課
保険料資格得喪事業	健康医療部 保険資格課
保険料賦課事業	健康医療部 保険資格課
保険料還付事業	健康医療部 保険資格課
国民年金事業	健康医療部 保険資格課
保険料徴収事業	健康医療部 保険収納課

(5)就労支援の充実を図ります	2事業
①就労に必要な能力の習得支援	
くらし再建パーソナルサポート事業	市民協働部 くらし支援課
労働啓発・相談事業	市民協働部 くらし支援課

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	地域共生センター運営管理事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 多様な福祉ニーズに重層的に対応した福祉コミュニティ	総合計画掲載ページ	54
担当部局・課	330100 福祉部・地域共生課		
関連部局・課	260000 財務部 360000 こども未来部 400000 都市計画推進部 560000 消防局		

事業概要	○社会福祉の増進や地域の交流促進を図るため、施設を適切に運営管理します。
------	--------------------------------------

当該年度の実績	○施設を適切に運営し社会福祉を増進しました。 ○母子父子福祉センター跡地にて令和5年度までを工期とした東館の建設工事に着工しました。
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○東館の建設について、次年度はインフレスライドによる工事費用の上昇を反映した変更契約と補正予算案を議会に提出する必要があります。 ○令和6年度の開館に向けて、関係団体等との調整を行います。
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	貸館利用数	担当課調査	回		1,531	1,709	数値	4000
		考え方、定義、算出方法など	貸館5部屋1日朝・昼・晩で3枠のうち利用回数						
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など							

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	地域福祉支援事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 多様な福祉ニーズに重層的に対応した福祉コミュニティ	総合計画掲載ページ	54
担当部局・課	330100 福祉部・地域共生課		
関連部局・課	160100 人権政策課		

事業概要	<p>○原爆被害者の会の会員や戦没者並びに空爆犠牲者の遺族の福祉の増進や活動の支援を行い、核兵器と戦争のない平和な社会を実現させることを目的とします。また、災害により被害を受けた市民に災害見舞金や災害弔慰金を支給するほか、災害援護資金貸付金の徴収事務を行います。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○原爆に関する各種行事への参加、相談支援活動、伝承活動（7回）を行いました。 ○被災者に対して災害見舞金（2件）、災害弔慰金を支給しました。 ○戦没者並びに空爆犠牲者を偲び追悼式を開催しました。</p>
---------	--

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>原爆の恐ろしさを後世へ継承することができました。今後は新たな被爆の語り手を養うことや、被爆体験の記憶がない会員も伝承活動を行っていけるよう手法を検討します。災害を受けた市民に対して、適切な生活復旧の支援を実施できました。</p>
---	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	伝承活動回数	担当課調査	回	4	7	7	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	災害見舞金（市独自）件数	担当課調査	件	23	8	2	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	地域福祉計画の推進	区分	継続
施策の方向性	(1)多様な福祉ニーズに重層的に対応した福祉コミュニティ	総合計画掲載ページ	54
担当部局・課	330100 福祉部・地域共生課		
関連部局・課	201000 とよなか都市創造研究所 300500 くらし支援課 332000 長寿安心課		

事業概要	<p>○地域共生社会の実現に向けて、地域包括ケアシステム・豊中モデルを構築・推進する役割を担う地域福祉計画に基づき施策を計画的に進めていきます。多分野・多世代の人や団体が交流し、支え合う土壌づくりに取り組む交流・支え合いの場づくり推進事業の実施。制度や属性にとらわれず、複雑化・複合化した課題ある人を包括的に支援していく重層的支援体制整備事業に取り組みます。また、団体支援では、市民の福祉の増進のため、見守りや相談などの地域福祉活動を行う民生委員児童委員や更生保護団体を支援します。認知症や障害のある人など判断能力が不十分な人の権利を法的に支援する成年後見制度を促進します。</p>
当該年度の実績	<p>○社会を明るくする運動を3年ぶりに実施し、78人の来場がありました。 ○民生委員推薦会（一斉改選）を開催し、536人の委員を推薦・委嘱しました。 ○市民後見人を2人養成しました。 ○次期地域福祉計画の策定を進めました。 ○【新規】地域住民と専門職による高齢者及び障害者の災害時避難支援を想定し、個別避難計画書に掲載する事項や避難の流れ等を検証しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○当初計画どおり交流・支え合いの場づくり推進事業が市の委託を離れ地域で自立するに至りました。 ○更生保護の各団体間の情報共有・連携を推進します。 ○民生委員・児童委員の人材確保（なり手不足）に取り組んでいきます。 ○市民後見人バンク登録者を受任につなげていきます。 ○地域包括ケアシステム豊中モデルを推進します。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	民生委員・児童委員数	担当課調べ	人	558	553	536	数値	600
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	市民後見人養成者数	担当課調べ	人	3	5	2	数値	39
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	福祉環境の整備	区分	継続
施策の方向性	(1)多様な福祉ニーズに重層的に対応した福祉コミュニティ	総合計画掲載ページ	54
担当部局・課	330300 福祉部・福祉指導監査課		
関連部局・課	330100 地域共生課 330500 福祉事務所 331000 障害福祉課 331500 長寿社会政策課 360100 こども政策課		

事業概要	<p>○福祉サービスを提供する事業者は、当該福祉サービスを必要とする市民が安全に安心して利用できるよう、市民ニーズに応え、質の高いサービスを提供する必要があります。こうした市民の期待と信頼に応えるため、社会福祉法人や事業所等の指導監査を通じ、自主的・自律的なサービス提供の点検・改善などに必要な調査、指導及び助言を行い、高齢者や児童、そして障害者（障害児）など、誰もが尊厳を持って、住み慣れた地域で自分らしく生きがいと誇りを持って安心して暮らし続けられるよう利用者本位のサービス提供体制の確保に努めるとともに、これらが持続的に確保されるようきめ細かな指導監査を実施します。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○大阪府の医療非常事態宣言の状況下においても、基本的な感染防止対策を講じるとともに、年間スケジュールの見直し（分野ごとに優先順位を見直し）を図り、計画的・効率的に各法人・施設等への指導監査を実施しました。</p> <p>○社会福祉法人等への説明会（集団指導）において、主な指摘事項等に係るポイントについて動画配信を実施しました。</p> <p>○介護保険事業所への説明会（集団指導）において、身体拘束をテーマにした動画配信を実施しました。</p> <p>○障害福祉サービス1事業者に対し、監査及び業務管理体制特別検査を実施し、指定取消処分を行いました。</p> <p>○社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会については、対象となる事業の制限、取消し等の処分に係る案件がなく開催しませんでした。</p> <p>○新型コロナウイルスワクチンの接種において、介護保険サービス又は障害福祉サービス等の利用者のうち、家族の支援が受けられない場合などに、サービス事業所が支援を行った場合に協力金を支給し、当該利用者がワクチン接種を受けることができるよう接種の促進を図りました。</p> <p>○【新規】新型コロナウイルス感染症等の流行により介護施設等のサービス従事者が不足した場合に備え、法人間で職員を相互派遣する体制づくりのための協力金を支払いました。</p>
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○コロナ禍においても、基本的な感染予防対策を講じて概ね指導監査スケジュール通りに実施できたことで、適正な法人運営の維持を図るとともに、利用者本位のサービス提供体制の確保や事業所等の適正なサービス提供に寄与しました。</p> <p>○事業所等の適正な事業運営と利用者本位のサービス提供体制の安定確保のため、多くの事業所等への指導監査を計画的に行うとともに、効率的・効果的な指導監査の実施、職員の知識や技能の向上を図っていきます。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	社会福祉法人の指導監査件数	担当課調査	件	3	11	15	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	社会福祉施設等の指導監査件数	担当課調査	件	24	101	122	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3	参考	認可外保育施設等の指導監督件数	担当課調査	件	59	65	74	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4	参考	指定障害福祉サービス事業者等の実地指導サービス件数	担当課調査	件	44	54	113	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5	参考	介護保険サービス事業所等の運営指導等サービス件数	担当課調査	件	24	84	205	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	自立生活支援事業	区分	継続
施策の方向性	(1)多様な福祉ニーズに重層的に対応した福祉コミュニティ	総合計画掲載ページ	54
担当部局・課	330500 福祉部・福祉事務所		
関連部局・課			

事業概要	<p>○低所得者世帯の自立への支援のために、中国残留邦人等支援事業、行旅病人及び行旅死亡人の救護、一時生活支援事業、生活援護資金貸付事業、在宅重度障害者介護料支給事業を行います。</p> <p>※ 中国残留邦人等支援事業は、法定受託事務</p>
当該年度の実績	<p>○中国残留邦人等に、老齢基礎年金の満額支給に加えて、その者の属する世帯の収入が一定の基準を満たさない場合に支援給付を行いました。また、中国残留邦人等に対する理解が深く、中国語のできる支援・相談員を配置し、支援しました。</p> <p>○行旅病人の救護等及び行旅死亡人の火葬等を行いました。</p> <p>○既存建築物の借り上げ方式による緊急的、一時的に宿泊場所や食事を提供する一時生活支援事業を行いました。</p> <p>○生活援護資金貸付の償還管理を行いました。本年度は貸付の申込みがありませんでした。</p> <p>○生活保護の適用を受けている重度障害者で、厚労省の特別基準の他人介護料加算がついており、在宅で他人の介護を要する場合に月額13,000円を支給しました。</p> <p>○巡回によるホームレス等に対する日常生活に関する相談支援を行う自立相談支援事業を行いました。</p>

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○中国残留邦人等支援事業については、対象者7世帯8名が安定した生活を送れています。全員が75歳以上の高齢者であるため親族とも連携を図り状況把握をし生活が維持できるよう支援を行います。</p> <p>○行旅病人及び行旅死亡人取扱事業について、引き続き法に基づき実施していきます。</p> <p>○ホームレス対策事業について、対象となるホームレスの人数が減少傾向にあります。今後も現在ホームレス状態にある人への相談支援とホームレスになることを余儀なくされるおそれのある者への支援が必要なため継続していきます。</p> <p>○生活援護資金貸付について、適正な償還管理を継続していきます。</p> <p>○在宅重度障害者介護料支給事業については、対象者が施設へ移行することなく在宅生活を継続できました。今後も対象者の状況把握を行い生活が維持できるよう支援を行います。</p>
---	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	中国残留邦人等支援事業支給世帯数	担当課調査	世帯	6	7	7	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	行旅死亡人取扱件数	担当課調査	件	3	0	2	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3	参考	一時生活支援事業延べ宿泊日数	担当課調査	日	612	1,095	1,701	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4	参考	生活援護資金貸付件数	担当課調査	件	0	0	0	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5	参考	在宅重度障害者介護料支給事業対象世帯	担当課調査	世帯	3	3	3	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	介護保険事業計画等の推進	区分	継続
施策の方向性	(2) 介護サービス基盤の充実を図るとともに、高齢者を地域	総合計画掲載ページ	55
担当部局・課	331500 福祉部・長寿社会政策課		
関連部局・課	104500 デジタル戦略課 332000 長寿安心課 340100 健康政策課 342000 保険給付課 342500 保険資格課 343000 保険収納課		

事業概要	<p>○市民が必要な時に適切なサービスを利用できるようにするため、介護保険制度の適切かつ円滑な運営・周知、サービスの質の向上、適正なサービス提供体制の確保、介護保険施設等の安定的な運営支援を行います。</p> <p>○高齢者のセーフティネット機能を維持するため、養護老人ホームの指定管理者選定、軽費老人ホーム事務費補助を実施し、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加を推進します。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○介護保険事業運営委員会を開催（3回）し、第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（以下「8期計画」とする）の進行管理を行いました。</p> <p>○第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（以下「9期計画」とする）の策定に向け、健康とくらしの調査等の結果を分析しました。</p> <p>○パンフレットの作成や、医療・介護・地域資源を情報発信する医療・介護・地域資源情報ナビの運用により、介護保険制度等を周知しました。</p> <p>○サービスの質の向上のため、介護保険事業者連絡会の支援、介護サービス相談員派遣事業を行いました。</p> <p>○医療情報等の突合等の介護給付適正化事業、介護保険関連システムの運用、介護保険給付費準備基金の管理を行いました。</p> <p>○生活支援サービス部会において学識経験者、関係者、被保険者から意見徴取するとともに、生活支援コーディネーター委託事業の実施、協議体の開催により、生活支援サービス等の提供体制の構築等をすすめました。</p> <p>○高齢者の社会参加、介護の魅力を発信するためいきゆくフェスを実施しました。</p> <p>○介護保険施設等約760事業所の指定、指定更新、変更等の事務処理を行い、地域密着型サービス事業者の指定については地域密着型サービス運営検討部会を開催しました。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業者等のサービス継続を支援し、介護老人福祉施設等が負担するPCR検査等の自主検査に係る補助金を支給しました。</p> <p>○8期計画に位置づけた施設整備のため介護保険施設整備事業者の選定を行いました（特定施設入居者生活介護2事業者、地域密着型特別養護老人ホーム1事業者）。</p> <p>○特別養護老人ホーム等の施設整備に伴う借入金に対する利子助成を行いました。</p> <p>○養護老人ホームの指定管理者による運営の管理、軽費老人ホーム事務費に対する補助金交付を行いました。</p> <p>○【新規】介護保険事業者等へ物価高騰に対する運営支援のため、給付金交付を行いました</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○介護保険事業運営委員会において8期計画の進行管理を行うとともに、アンケート調査の結果分析等をもとに9期計画を策定します。</p> <p>○地域密着型特別養護老人ホーム整備の公募については応募がなかったため、必要な整備数や整備時期などの検討を進めます。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症対応や物価高騰にかかる補助金交付により、市内介護事業者のサービス継続を支援し、コロナ禍においても介護サービスが受けられる環境づくりができました。次年度も引き続き市内介護事業者のサービス継続を支援します。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	介護保険事業運営委員会開催回数	長寿社会政策課	回	4	2	3	数値	3
	考え方、定義、算出方法など	開催回数						年	6年度
2	参考	生活支援サービス部会開催回数	長寿社会政策課	回	2	2	2	数値	2
	考え方、定義、算出方法など	開催回数						年	6年度
3	参考	地域密着型サービス運営検討部会開催回数	長寿社会政策課	回	3	3	3	数値	4
	考え方、定義、算出方法など	開催回数						年	6年度
4	参考	指定事業所数	長寿社会政策課	件	725	749	756	数値	800
	考え方、定義、算出方法など	各年度3月時点の指定事業所数（介護予防、ショートステイ、総合事業除く）						年	6年度
5	参考	協議体開催回数	長寿社会政策課	回	9	17	17	数値	17
	考え方、定義、算出方法など	第一層協議体（介護予防生活支援フォーラム含む）及び第二層協議体（地域ネットワーク会議）開催回数計						年	6年度

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	介護保険法、介護保険法施行法、介護保険施行令、介護保険法施行規則等
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	介護保険事業計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	440,885	人件費（参考）	92,728	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	98	公債費（参考）	48,130	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	1,077,659	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	409,912
	決算額	904,834		地方債	0
	残額	172,825		その他 特定財源	122,474
	執行歩合	83.96%		一般財源	372,448

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		介護保険事業運営委員会【継続】	6,398	0	0	6,398	17
	介護保険事業者連絡会【継続】	22	13	0	4	17	任意事業費
	介護サービスの質の向上支援事業【継続】	0	0	0	0	17	任意事業費
	介護保険制度等の啓発【継続】	1,016	0	0	1,016	17	趣旨普及費
	事業者候補選定委員会【継続】	243	0	0	243	01	老人福祉費
	特別養護老人ホーム等利子助成【継続】	1,314	0	0	1,314	01	老人福祉費
	介護保険施設等施設整備補助金【継続】	0	0	0	0	01	老人福祉費
	地域密着型サービス運営検討部会【継続】	339	0	0	339	17	一般管理費
	介護サービス相談員派遣事業【継続】	4,706	2,718	0	906	17	任意事業費
	介護給付費準備基金【継続】	222,393	0	0	221,675	17	介護給付費準備基金積
	主要給付適正化事業【継続】	14,214	8,208	0	2,737	17	任意事業費
	介護保険サービス事業者指定【継続】	14,240	0	0	11,854	17	一般管理費
	養護老人ホーム施設運営管理【継続】	171	0	0	171	01	老人福祉費
	軽費老人ホーム事務費補助金【継続】	53,871	0	0	53,871	01	老人福祉費
	介護保険施設等施設整備補助金（老人福祉施設整備費）【継続】	10,213	10,213	0	0	01	老人福祉施設整備費
	介護保険関連システムの運用【継続】	24,593	1,585	0	23,008	17	一般管理費
	旧老人デイサービスセンター施設管理【継続】	1,820	0	0	1,820	01	老人福祉費
	生活支援サービス部会【継続】	104	0	0	104	17	一般管理費
	地域医療・介護資源把握事業【継続】	7,780	4,493	0	1,498	17	在宅医療・介護連携推
	総合事業評価事業【継続】	5,413	2,065	0	677	17	一般介護予防事業費
	社会参加促進・介護魅力発信事業【継続】	3,144	0	0	0	01	老人福祉費
	介護サービス継続支援事業（感染症関係）【継続】	251,928	226,548	0	25,380	01	老人福祉費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	介護予防・自立支援推進事業	区分	拡充
施策の方向性	(2) 介護サービス基盤の充実を図るとともに、高齢者を地域	総合計画掲載ページ	55
担当部局・課	332000 福祉部・長寿安心課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○地域包括支援センターと協働して自立支援・介護予防の取組みの充実を図ります。</p> <p>○要支援認定者及び事業対象者の軽度者に対する自立支援型ケアマネジメント促進モデル事業を踏まえ、全市域での展開をめざしているリハビリテーション専門職によるアセスメント支援訪問や短期集中サービスを展開します。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○介護予防センターの維持管理を行い、介護予防センター事業を実施しました。</p> <p>○【拡充】「短期集中サービスを活用した自立支援型ケアマネジメント促進モデル事業」の結果を踏まえ、全市域展開として4事業所に拡充し、事業所利用者を拡大しました。</p> <p>○高齢者の心身機能向上を図るため、介護予防普及啓発事業、活動支援等の取組みを推進しました。</p> <p>○【拡充】地域リハビリテーション活動支援事業において、通所訪問型短期集中サービスの利用者拡大に伴い、リハビリテーション専門職等のアセスメント支援訪問も拡大し、要支援者を対象にした介護予防事業を拡充しました。</p> <p>○地域住民の心身の健康の保持等を図るために介護予防地域教室を実施しました。</p> <p>○自立支援型地域ケア個別会議や研修などを通じて自立支援・重度化防止の啓発普及に取り組ましました。</p> <p>○介護予防活動を実施する住民主体のグループにおいて、専門職による体力測定や介護予防に資する講話等を行うことにより、活動の継続意欲を促しました。また、質問票を活用して医療・介護サービスへつなぎました。</p> <p>○【拡充】地域の通いの場づくり支援事業としてとよなかパワーアップ体操を改訂し認知機能低下予防運動（コグニサイズ）、口腔機能向上体操を加えた内容に刷新しました。</p> <p>○【拡充】ICTを活用した介護予防事業の展開を図るため歩行姿勢測定システムやデータ集積システムの構築などの環境整備を拡充しました。また、既存の介護予防事業の取組みで得られる問診、体力測定データ等をOCRで集積、蓄積したデータを分析し課題に応じた介護予防事業の展開を実施するための検討を実施しました。</p> <p>○とよなか地域ささえ愛ポイント事業において、ボランティア活動による社会参加を図りました。</p> <p>○高齢者の交流、社会参加、生きがいづくりを推進する観点から、介護予防センターが開催するとよなか健康大学等の公益的事業に補助金を交付しました。</p>
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○介護予防、自立支援施策において関係部署との役割分担等整理、再編検討に取り組まします。</p> <p>○短期集中サービスを活用した自立支援型ケアマネジメント促進事業は利用者を拡大できたが給付型のサービスにつながらず、自立で終了する割合を高めることができるよう、事業内容の精査、効果検証が必要です。</p> <p>○リハビリテーション専門職によるアセスメント支援訪問を拡充したことにより訪問件数は拡大したが、マンパワーの確保に課題があります。</p> <p>○自立支援型ケアマネジメント促進事業の効果検証に基づく事業継続に取り組まします。</p> <p>○既存の介護予防事業の取組みで得られる問診、体力測定データ等をOCRで集積、蓄積したデータを分析し課題に応じた介護予防事業の展開を図るためシステム構築を実施します。</p> <p>○改訂版とよなかパワーアップ体操、認知機能低下予防のための運動（コグニサイズ）、口腔機能向上体操を普及啓発し、それらを利用して自主グループの立ち上げと、継続的な活動を支援します。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	目標
1	目標	介護予防センター来所者数（延べ人数）	担当課調査	人	58,003	138,119	143,846	数値 年	171,000 令和5年度
	考え方、定義、算出方法など								
2	参考	生活機能が改善した割合（通所訪問型短期集中サービス）	担当課調査	%	84	89	87	数値 年	
	考え方、定義、算出方法など 生活機能が改善した人÷事業への参加実人数								
3	目標	立ち上がった通いの場の数（当年度）	担当課調査	か所	5	8	13	数値 年	40 令和4年度
	考え方、定義、算出方法など								
4	目標	地域ささえ愛ポイント活動の登録人数	担当課調査	人	1,051	1,095	1,128	数値 年	1,200 令和4年度
	考え方、定義、算出方法など								
5	目標	利用者数（通所訪問型短期集中サービス）	担当課調査	人	68	118	442	数値 年	500 令和4年度
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	介護保険法、地域支援事業実施要綱
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input checked="" type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	市有財産を活用した事業者による介護予防の推進に関する条例 他、介護保険事業計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	352,636	人件費（参考）	39,205	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△14	公債費（参考）	20,301	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	363,474	財源内訳 の 決算額の 内訳	国・府支出金	68,459
	決算額	340,188		地方債	0
	残額	23,286		その他 特定財源	95,704
	執行歩合	93.59%		一般財源	176,025

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	介護予防センター施設管理【継続】	97,305	0	0	91,751	01	老人福祉費
	介護予防実施貸付事業者選定委員会【継続】	0	0	0	0	01	老人福祉費
	介護予防センター施設運営【継続】	65,200	0	0	65,200	01	老人福祉費
	通所訪問型短期集中サービス【拡充】	91,508	34,902	0	11,438	17	介護予防・生活支援サ
	介護予防普及啓発事業【継続】	340	129	0	43	17	一般介護予 防事業費
	地域リハビリテーション活動支援事業【拡充】	1,918	732	0	239	17	一般介護予 防事業費
	介護予防地域教室事業【継続】	2,190	836	0	273	17	一般介護予 防事業費
	介護予防センター整備事業【継続】	0	0	0	0	01	介護予防セ ンター整備 老人福祉費
	介護予防センター施設管理（旧老人福祉センター）【完了】	0	0	0	0	01	老人福祉費
	地域ケア会議推進事業【継続】	2,268	1,310	0	436	17	地域ケア会 議推進事業 健康増進事 業費
	高齢者保健・介護連携事業（長寿安心課）【継続】	4,165	0	0	0	16	健康増進事 業費
	重層的支援体制整備事業（長寿安心課・介護予防事業分）【拡充】	64,740	26,503	0	5,347	01	社会福祉総 務費
	重層的支援体制整備事業（長寿安心課・介護予防センター公益的の事業）	10,554	4,047	0	1,298	01	社会福祉総 務費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	介護認定事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 介護サービス基盤の充実を図るとともに、高齢者を地域	総合計画掲載ページ	55
担当部局・課	332000 福祉部・長寿安心課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○介護保険制度の適正な運営のために、65歳以上の高齢者（第1号被保険者）や40歳から64歳までの特定疾病該当者（第2号被保険者）の要介護・要支援認定を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○医療、福祉、保健の専門家により構成される介護認定審査会を運営し、認定調査票、主治医意見書に基づく審査により、要介護状態区分等を判定しました。 ○要介護・要支援認定の申請に基づき、認定調査を行うとともに主治医意見書を入手しました。 ○要介護・要支援認定の申請情報管理、主治医意見書・訪問調査依頼及び提出された資料のイメージデータでの管理、介護認定審査会の運営管理、認定結果情報の管理、居宅介護支援事業所等への保有個人情報外部提供、厚生労働省への月例報告、各種統計等を行いました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○主治医意見書の遅延督促や、1審査会で判定する件数を増やすなど、速やかな認定に取り組みました。 ○より効率的な要介護・要支援認定をめざして、国の進めるシステムの標準化をはじめ、必要な改修を行っていきます。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	要介護・要支援認定件数	担当課調査	件	14,792	18,849	20,856	数値	
	考え方、定義、算出方法など	当該年度における第1号被保険者及び第2号被保険者に対するの認定件数							
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	介護保険法、介護保険法施行令、介護保険法施行規則
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市介護保険条例、豊中市介護保険規則、豊中市介護認定審査会規則

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額 (当初)	325,264	人件費 (参考)	60,800
	流用増減額 (予備費充当用含む)	0	公債費 (参考)	0
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	325,264	国・府支出金	0
	決算額	285,364	地方債	0
	残額	39,900	その他 特定財源	763
	執行歩合	87.73%	一般財源	284,601
			決算額の 財源内訳	

	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計		
						(コード)	目	
予算管理事業	介護認定審査会【継続】	38,597	0	0	38,597	17	介護認定審査会費	
	要介護・要支援認定調査等【継続】	235,416	0	0	234,653	17	認定調査等費	
	介護認定支援システムの運用【継続】	11,351	0	0	11,351	17	介護認定審査会費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	地域包括支援センター運営支援・管理事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 介護サービス基盤の充実を図るとともに、高齢者を地域	総合計画掲載ページ	55
担当部局・課	332000 福祉部・長寿安心課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○地域包括支援センターの質の向上を図るため、各センター間の連絡調整や情報共有、必要な支援を行います。</p> <p>○要援護者を地域全体で支える「地域包括ケア体制」のしくみづくりに向け、地域包括支援センター連絡協議会の機能向上に取り組みます。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○地域包括支援センターの業務内容の改善やサービスの質の向上につなげるため、評価指標の見直しを行いました。</p> <p>○連絡協議会を通じて、地域包括支援センターと情報共有と連携の向上を図り、現場の意見課題を吸い上げ、機能強化に取り組みました。</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○関係機関等との情報共有や対応策の検討を行い、さまざまな課題のあるケース対応に取り組みましたが、一方で、地域包括支援センターにおける業務量の増加や専門職確保が課題となっています。</p> <p>○地域包括支援センターの業務量について、優先順位をつけたうえで、業務整理を行います。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値年	
1	参考	総合相談受付件数	業務実施状況報告書	件	42,284	51,730	53,881	数値年	
	考え方、定義、算出方法など								
2	参考	在宅高齢者虐待通報件数	業務実施状況報告書他	件	191	201	194	数値年	
	考え方、定義、算出方法など 最終的には例年6月頃に、府へ報告している数字								
3	目標	地域ケア会議（高齢部会）実施件数	業務実施状況報告書他	回	45	62	49	数値年	60 令和5年度
	考え方、定義、算出方法など 地域福祉ネットワーク会議の実施回数も含む								
4								数値年	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値年	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	介護保険法第115条の45、地域支援事業実施要綱
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	地域支援事業における包括的支援事業の実施および地域包括支援センター設置に関する要綱

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	445,609	人件費（参考）	8,667	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△72	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	445,537	財源内訳の 決算額の 内訳	国・府支出金	266,797
	決算額	416,194		地方債	0
	残額	29,343		その他 特定財源	95,725
	執行歩合	93.41%		一般財源	53,672

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	重層的支援体制整備事業（長寿安心課・地域包括支援センター運営支援	416,194	266,797	0	53,672	01	社会福祉総務費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	認知症等対策関連事業	区分	拡充
施策の方向性	(2) 介護サービス基盤の充実を図るとともに、高齢者を地域	総合計画掲載ページ	55
担当部局・課	332000 福祉部・長寿安心課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○認知症により生活上の困難が生じた場合でも、住み慣れた場所で自分らしさや尊厳をもって暮らし続けることができるよう相談支援の充実に取り組むとともに、在宅生活を支える医療機関と介護サービス事業者等の連携を推進します。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○認知症高齢者等を介護する家族介護者の介護疲れやストレスを軽減することを目的に交流会や介護に関する教室を実施しました。</p> <p>○在宅の認知症高齢者がひとり歩きにより行方不明になった場合に早期に発見できる仕組みの見直しや認知症損害賠償保険の導入検討など、家族が安心して介護できる環境整備に取り組みました。</p> <p>○認知症サポーター養成事業を実施し、認知症の普及啓発に取り組むとともに、認知症地域支援推進員向け研修の実施や、初期集中支援チームとの連携に取り組みました。</p> <p>○【拡充】地域における支援体制を構築していくために、認知症カフェを増設し、チームオレンジの活動の場づくりに取り組みました。</p> <p>○虹ねっと連絡会の事務局を担い、関係機関の連携強化に取り組みながら、認知症初期集中支援チームの活動を支援しました。</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○認知症サポーターのステップアップ講座修了者による「チームオレンジ」の体制づくりと活動の場として認知症カフェの増設に取り組むとともに、認知症カフェマップの作成準備を進めました。</p> <p>○若年性認知症の人やその家族を支援するための相談窓口紹介リーフレットを庁内関係部署、関係機関とともに作成しました。</p> <p>○引き続き認知症地域支援推進員、嘱託医、認知症初期集中支援チームとともに、認知症の理解促進と地域での見守りを支える環境づくりに取り組みます。</p> <p>○認知症の早期発見とスムーズに支援につなげる仕組みを構築する必要があります。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値 年	12 令和4年度
1	目標	認知症連携担当者会議の開催回数	担当課調査	回	9	12	12	数値 年	12 令和4年度
	考え方、定義、算出方法など								
2	目標	認知症カフェ数	担当課調査	箇所	5	15	20	数値 年	14 令和5年度
	考え方、定義、算出方法など								
3	参考	初期集中支援チーム相談件数	担当課調査	回	147	129	131	数値 年	180 令和5年度
	考え方、定義、算出方法など								
4	目標	認知症サポーター数（累計）	担当課調査	人	20,328	20,941	21,985	数値 年	25,000 令和5年度
	考え方、定義、算出方法など		認知症サポーターキャラバンHP>サポーターの養成状況>自治体別>各年3月末のデータ>「サポーター数」						
5	目標	虹ねっと連絡会の開催回数	担当課調査	回	3	3	3	数値 年	3 令和4年度
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	介護保険法、地域支援事業実施要綱、認知症施策推進大綱、認知症サポーター等養成事業実施要綱
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	第8期高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	19,494	人件費（参考）	7,220	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	68	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	19,562	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	9,911
	決算額	17,163		地方債	0
	残額	2,399		その他 特定財源	3,947
	執行歩合	87.74%		一般財源	3,305

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
家族介護者交流事業【継続】	0	0	0	0	17	任意事業費
徘徊高齢者家族支援サービス事業【継続】	196	113	0	38	17	任意事業費
認知症サポーター等養成事業【継続】	345	199	0	67	17	任意事業費
認知症地域支援・ケア向上事業【拡充】	6,116	3,532	0	1,177	17	認知症総合 支援事業費
虹ねっと連絡会運営業務【継続】	281	162	0	54	17	在宅医療・ 介護連携推 進事業費
認知症初期集中支援チーム配置事業【継続】	10,180	5,879	0	1,960	17	認知症総合 支援事業費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	高齢者権利擁護事業	区分	継続
施策の方向性	(2)介護サービス基盤の充実を図るとともに、高齢者を地域	総合計画掲載ページ	55
担当部局・課	332000 福祉部・長寿安心課		
関連部局・課	030100 危機管理課 331000 障害福祉課		

事業概要	○高齢者が、地域において尊厳のある生活を維持し安心して生活ができるよう、高齢者の権利擁護・安否確認のために、必要な支援を行います。
当該年度の実績	○法に基づき、関係機関と連携しながら相談支援活動に取り組むとともに、高齢者の権利擁護のため、虐待対応や市長申立による成年後見制度の適切な運用に取り組みました。 ○在宅給食サービス事業については、食事づくりが困難な高齢者に給食を届けるとともに安否確認を行いました。 ○シルバーハウジング住宅生活援助員派遣事業については、市内8カ所のシルバーハウジングに生活援助員を派遣し、生活相談、安否確認、緊急時の対応等のサービスを提供しました。また、アンケートを行い、利用者のニーズを把握しました。 ○ひとり暮らし高齢者登録をしている人に、地域の民生委員を通じて、安心キットを配布しました。 ○避難行動要支援者名簿の作成と平常時における名簿情報の外部提供に対する意思確認、避難支援等関係者への名簿の提供を行いました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○成年後見人が決定するまでの期間における支援の在り方について、引き続き検討していきます。 ○社会情勢の変化に伴い事業の見直しを行い、在宅給食サービスを令和4年度末で終了しました。 ○シルバーハウジング住宅生活援助員派遣事業については、利用者アンケートに基づき委託内容の検討を行いました。 ○今後も引き続き、高齢者の権利擁護・安否確認のために必要な支援を行います。
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値年	150 令和5年度
1	目標	高齢者虐待防止に関する研修参加者数	業務実施状況報告書他	人	131	163	108	数値年	150 令和5年度
	考え方、定義、算出方法など	長寿安心課主催、地域包括支援センター主催分含む							
2	参考	成年後見人等市長申立て件数	成年後見審査会資料	件	34	19	23	数値年	
	考え方、定義、算出方法など	「老人福祉法」を根拠に審査会へ提出した件数（担当課や、その後申立に至ったかどうかは問わない）							
3	参考	成年後見人等報酬助成の件数	成年後見事業の資料	件	14	42	65	数値年	
	考え方、定義、算出方法など								
4	参考	要援護高齢者短期入所事業利用日数	担当課資料	日	1,726	2,041	1,667	数値年	1600 令和5年度
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値年	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	地域支援事業
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	321,789	人件費（参考）	45,046	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△163	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	321,626	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	44,175
	決算額	257,471		地方債	0
	残額	64,155		その他 特定財源	60,370
	執行歩合	80.05%		一般財源	152,926

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
在宅給食サービス事業【継続】	15,230	8,795	0	2,932	17	任意事業費
シルバーハウジング生活援助員派遣事業【継続】	45,054	25,920	0	8,640	17	任意事業費
成年後見制度利用支援業務【継続】	12,943	7,419	0	2,472	17	任意事業費
在宅高齢者虐待防止事業【完了】	0	0	0	0	17	権利擁護事業費
高齢者虐待防止ネットワーク会議【完了】	0	0	0	0	17	権利擁護事業費
安心キット配布事業【継続】	46	27	0	8	17	任意事業費
要援護高齢者短期入所事業【完了】	0	0	0	0	17	権利擁護事業費
避難関連事業【継続】	1,032	0	0	1,032	01	老人福祉費
重層的支援体制整備事業（長寿安心課・権利擁護事業）【新規】	8,988	2,014	0	4,702	01	社会福祉総務費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	高齢者生活支援事業	区分	継続
施策の方向性	(2)介護サービス基盤の充実を図るとともに、高齢者を地域	総合計画掲載ページ	55
担当部局・課	332000 福祉部・長寿安心課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○高齢者が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、高齢者の生活を支援するサービスの提供を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○【新規】ひとり暮らしの高齢者が安心して暮らせるよう、電球を使った見守りサービスを開始しました。 ○ひとり暮らし高齢者等に、緊急通報システムや福祉電話を貸与し、緊急時の通信手段を確保しました。 ○安心して在宅生活をおくることができるよう、訪問理美容サービスや日常生活用具（火災警報器等）の給付をはじめ、家事援助や外出時の援助など軽易な日常生活上の援助を行いました。 ○家族介護支援事業では、精神的・経済的負担を軽減し、在宅介護を支援するため、紙おむつの現物支給や常時介護している家族に家族介護慰労金を支給しました。 ○車いす等を利用している人を対象に外出支援サービスを行いました。 ○低所得者が介護保険サービスを利用した際の負担額の軽減を行うことにより、必要な介護サービスを利用できるよう支援しました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○社会情勢の変化に伴い事業の見直しを行い、訪問理美容サービスの新規受付を令和4年度末で終了しました。（令和7年度末事業終了予定） ○在日外国人高齢者福祉金支給については、市内に対象者がいないため、令和4年度末で終了しました。 ○高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、必要なサービスを引き続き提供するとともに、事業の見直しに取り組みます。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	緊急通報システム設置台数	担当課調査	台	1,141	1,087	1,078	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	ICT見守り機器設置台数	担当課調査	台			213	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3	参考	外出支援サービス延利用人数	担当課調査	人	653	730	701	数値	730
		考え方、定義、算出方法など						年	令和5年度
4	参考	紙おむつ支給件数	担当課調査	件	4,230	4,294	4,316	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	老人福祉法、介護保険法
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input checked="" type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市緊急通報システム事業実施要項、豊中市軽度生活援助事業実施要綱など

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	63,393	人件費（参考）	13,709	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	97	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	68,099	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	18,620
	決算額	58,148		地方債	0
	残額	9,951		その他 特定財源	7,304
	執行歩合	85.39%		一般財源	32,224

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
緊急通報システム事業【継続】	9,863	0	0	9,863	01	老人福祉費
高齢者福祉電話貸与事業【継続】	3,298	0	0	3,298	01	老人福祉費
軽度生活援助事業【継続】	903	0	0	903	01	老人福祉費
高齢者外出支援サービス事業【継続】	6,464	0	0	6,464	01	老人福祉費
日常生活用具給付事業【継続】	1,654	0	0	1,654	01	老人福祉費
訪問理美容サービス事業【継続】	182	0	0	182	01	老人福祉費
在日外国人高齢者福祉金支給【継続】	0	0	0	0	01	老人福祉費
民間事業所介護保険利用者負担軽減事業【継続】	666	0	0	666	01	老人福祉費
社会福祉法人介護保険利用者負担軽減事業【継続】	387	282	0	105	01	老人福祉費
紙おむつ給付事業【継続】	22,070	12,746	0	4,248	17	任意事業費
家族介護慰労金支給事業【継続】	3,250	1,877	0	625	17	任意事業費
障害者ホームヘルプサービス利用者支援措置事業（障害者福祉費）【継続】	0	0	0	0	01	障害者福祉費
在宅緊急対応オペレーター体制整備事業【継続】	6,433	3,715	0	1,238	17	任意事業費
ICT見守り事業【新規】	2,978	0	0	2,978	01	老人福祉費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	障害者就労支援業務	区分	継続
施策の方向性	(3) 障害者福祉サービスの充実を図るとともに、障害者の社	総合計画掲載ページ	56
担当部局・課	100100 総務部・行政総務課		
関連部局・課	100500 人事課 101000 職員課 300500 暮らし支援課 331000 障害福祉課 342000 保険給付課 360100 こども政策課 999999 全部局		

事業概要	<p>○障害者職場定着フォロー委員会において、市で雇用する障害のある職員の職場定着を推進するため、職場環境づくりの検討や、相談窓口の運営による支援などを行います。</p> <p>○チャレンジ雇用において、雇用期間中を通して、企業等への就職につなげるために、支援を補助します。</p>
当該年度の実績	<p>○障害者の就労を支援するとともに、個々の障害に応じた職域で原課配属を継続しました。</p> <p>○障害のある職員の職場定着に向けた支援として、障害のある新規採用職員に対する面談を実施し、必要な配慮についての確認等を行いました。（面談実施：1名）</p> <p>○チャレンジ雇用においては、暮らし支援課と連携し、書類作成方法や面接の助言を受けるとともに、ハローワーク専門援助部門への登録につなげる等、就労に向けた支援を行いました。</p> <p>○障害のある職員が、職場で能力を十分に発揮しながら就労を継続することができるよう、障害のある職員が勤務している部署の職員等を対象に、障害の特性などについて理解を深めるための研修を行いました。（研修：1回 参加人数：35人）</p> <p>○相談窓口で受け付けた相談について、引き続き対応を行いました。（相談：6件）</p>

当該年度の成果・課題	<p>○知的障害者の配属先と連携や意見交換を行いながら、事業を継続していく取組みを進めます。</p> <p>○啓発紙の発行や研修会の実施を通じて、障害のある職員とともに働く職場づくりについて、庁内の理解を深める取組みを引き続き行います。</p> <p>○就労に向けた支援の結果、1名就労につながりました。今後もチャレンジ雇用における就労支援の手法について、関係部局と連携しながら確立していきます。</p> <p>○障害者の法定雇用率が令和5年度から引き上げになることから、障害者職場定着フォロー委員会や障害者就労支援アドバイsteamにおける組織的な連携により、雇用のあり方や支援手法の検討等を通じて、障害がある職員の職場定着をより一層推進します。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	行政総務課で雇用している知的・精神障害者の人数	担当課調査	人	4	4	4	数値	
	考え方、定義、算出方法など	行政総務課の所属に限定。							
2	参考	原課配属の人数	担当課調査	人	4	4	4	数値	
	考え方、定義、算出方法など	行政総務課以外に配属されている人数。							
3	目標	業務依頼の数	担当課調査	件	157	216	227	数値	160
	考え方、定義、算出方法など	前年度依頼を受け入れることのできた件数×約3%。							
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	17,033	人件費（参考）	4,050	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△866	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	16,167	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	13,413		地方債	0
	残額	2,754		その他 特定財源	0
	執行歩合	82.97%		一般財源	13,413

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計	
					（コード）	目
障害者就労支援事務【継続】	13,413	0	0	13,413	01	一般管理費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	障害福祉の推進	区分	拡充
施策の方向性	(3) 障害者福祉サービスの充実を図るとともに、障害者の社	総合計画掲載ページ	56
担当部局・課	331000 福祉部・障害福祉課		
関連部局・課	100100 行政総務課 100500 人事課 104500 デジタル戦略課 300500 くらし支援課 330500 福祉事務所 332000 長寿安心課 340100 健康政策課 361500 こども相談課 600100 教育総務		

事業概要	<p>○障害のある人が地域で安心して暮らすことができるよう、障害福祉サービスや各種給付事業等の充実を図るとともに、障害のある人の自立と社会参加、権利擁護のための取組みを促進します。</p> <p>○障害者施策を推進するため「第五次障害者長期計画」「第6期障害福祉計画」で掲げる取組みの推進と進行管理を行います。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○障害に関する相談体制を強化するため、日常生活圏域ごとに障害者相談支援センターを配置しました。</p> <p>○【拡充】一人で通学が困難な障害のある児童・生徒を支援するため、通学支援サービスを新設しました。</p> <p>○【拡充】就労継続支援B型事業所等を支援するため、商品の開発や販路拡大等にかかる経費を新たに補助しました。</p> <p>○【新規】重度障害者等の通勤や職場等における支援について、業務上の支援以外に生活面の支援が必要な場合、または重度障害者等が自営業者として働く場合に必要な支援事業を新設しました。</p> <p>○【拡充】一定の医療的ケアのある重症心身障害者を受け入れている施設の補助金を、夜間に受け入れる福祉型短期入所事業所に対し補助できるよう制度を拡充しました。</p> <p>○「第五次障害者長期計画」「第6期障害福祉計画」で掲げる取組みの進行管理を行うとともに、次期計画策定の基礎資料とするため、市民アンケート調査を実施しました。</p>
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○日常生活圏域に設置した障害者相談支援センターの周知を図るとともに、地域包括支援センターなど他機関連携を強化し、相談支援体制の強化をします。</p> <p>○サービスを拡充したが、サービスを提供する介護人材が不足していることを理由にサービスが利用できない人が一定数いるため、介護人材の確保に向けた取組みをします。</p> <p>○市民アンケート調査結果を踏まえ、本市における障害者施策に関する課題の解消に向け、次期障害者長期計画等を策定します。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	「ライフスタイルに応じた生活ができる」サービス利用者回答率	担当課調査	%	-	-	49	数値	66
		考え方、定義、算出方法など	計画策定に向けた市民アンケート調査結果（18歳以上の障害福祉サービス利用者）						
2	参考	「ライフスタイルに応じた生活ができる」サービス未利用者回答率	担当課調査	%	-	-	57.9	数値	75
		考え方、定義、算出方法など	計画策定に向けた市民アンケート調査結果（18歳以上の障害福祉サービス未利用者）						
3	参考	「ライフスタイルに応じた生活ができる」障害児回答率	担当課調査	%	-	-	60.3	数値	75
		考え方、定義、算出方法など	計画策定に向けた市民アンケート調査結果（18歳未満の障害のある市民）						
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など							

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	障害者基本法ほか
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	第5次大阪府障がい者計画ほか
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	第五次障害者長期計画ほか

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	14,385,740	人件費（参考）	241,333	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	3,314	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	14,412,637	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	8,781,524
	決算額	13,518,053		地方債	0
	残額	894,584		その他 特定財源	34,698
	執行歩合	93.79%		一般財源	4,701,831

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		シルバーハウジング生活援助員派遣事業【継続】	149	0	0	149	01
	障害者外出支援サービス事業【継続】	13,501	6,515	0	6,986	01	障害者福祉費
	移動支援【拡充】	635,495	307,746	0	327,749	01	障害者福祉費
	日中一時支援【継続】	8,917	4,420	0	4,497	01	障害者福祉費
	緊急通報システム事業【継続】	282	0	0	282	01	障害者福祉費
	障害者施策推進協議会【継続】	517	0	0	517	01	障害者福祉費
	障害者啓発活動【継続】	284	233	0	51	01	障害者福祉費
	障害福祉サービス窓口受付事務【継続】	10,266	8,502	0	1,764	01	障害者福祉費
	障害者職場体験実習【継続】	1,525	0	0	1,525	01	障害者福祉費
	介護給付費等支給審査会【継続】	26,690	0	0	26,690	01	障害者福祉費
	障害福祉システムの運用【継続】	25,042	902	0	24,140	01	障害者福祉費
	補装具費用支給【継続】	58,479	49,375	0	9,104	01	障害者福祉費
	日常生活用具給付等【継続】	99,648	47,689	0	51,959	01	障害者福祉費
	福祉電話貸与【継続】	426	0	0	426	01	障害者福祉費
	住宅改造助成【継続】	666	0	0	666	01	障害者福祉費
	重度障害者福祉手当支給【継続】	207,721	152,611	0	55,110	01	障害者福祉費
	在宅給食サービス事業【継続】	379	0	0	379	01	障害者福祉費
	福祉ホーム運営事業補助【継続】	158	76	0	82	01	障害者福祉費
	障害者就労支援強化事業【継続】	2,360	0	0	2,360	01	障害者福祉費
	訪問入浴サービス事業【継続】	17,086	8,289	0	8,797	01	障害者福祉費
	高額障害福祉サービス等給付費支給決定・支払事務【継続】	5,318	4,830	0	488	01	障害者福祉費
	障害者長期計画・障害福祉計画の推進【継続】	2,468	0	0	2,468	01	障害者福祉費

【決算説明情報】

(単位：千円)

	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目	
予算管理事業	自立支援医療費補助【継続】	502,746	391,078	0	111,668	01	障害者福祉費	
	自動車改造助成【継続】	300	0	0	300	01	障害者福祉費	
	障害者手帳交付事業【継続】	6,535	5,897	0	638	01	障害者福祉費	
	相談支援給付費等支給決定・支払事務【継続】	100,813	76,458	0	24,355	01	障害者福祉費	
	障害福祉サービス費等支給決定・支払事務【継続】	11,663,413	7,678,947	0	3,952,145	01	障害者福祉費	
	福祉的就労の場への支援【拡充】	2,375	0	0	1	01	障害者福祉費	
	障害者相談支援事業【継続】	27,074	86	0	26,988	01	障害福祉センター費	
	障害者虐待防止対策支援【継続】	3,616	2,770	0	846	01	障害福祉センター費	
	成年後見制度利用者支援【継続】	4,322	1,219	0	3,100	01	障害福祉センター費	
	障害者自立支援協議会【継続】	64	0	0	64	01	障害福祉センター費	
	地域活動支援センター事業【継続】	19,329	0	0	19,329	01	障害福祉センター費	
	たちばな園施設運営管理【完了】	0	0	0	0	01	たちばな園費	
	避難関連事業【継続】	71	0	0	71	01	障害者福祉費	
	重度訪問介護利用者の大学修学支援事業【継続】	1,589	1,192	0	397	01	障害者福祉費	
	医療的ケアのある重症心身障害者支援にかかる施設運営補助【継続】	25,553	0	0	25,553	01	障害者福祉費	
	重層的支援体制整備事業（障害福祉課・地域活動支援センター事業分）	6,000	4,500	0	1,500	01	社会福祉総務費	
	重層的支援体制整備事業（障害福祉課・基幹相談支援センター分）【拡充】	36,383	27,819	0	8,564	01	社会福祉総務費	
	重度障害者等就労支援特別事業【新規】	493	370	0	123	01	障害者福祉費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	障害福祉サービスの運営	区分	継続
施策の方向性	(3) 障害者福祉サービスの充実を図るとともに、障害者の社	総合計画掲載ページ	56
担当部局・課	331000 福祉部・障害福祉課		
関連部局・課			

事業概要	○障害福祉サービス提供体制の整備を促進するため、障害者グループホームの開設事業費補助等や障害福祉サービス事業所等の指定等を行います。
当該年度の実績	○障害者グループホームの開設事業費補助を行いました。 ○障害者グループホームを新たに開設した事業所のうちスプリンクラーを設置する2事業所に対し、国の補助金を活用した補助を実施しました。 ○障害福祉サービス事業所等の指定等を行いました。 ○【新規】たちばな園跡地施設の維持管理を行いました。 ○【新規】物価高騰により影響を受けている障害福祉サービス事業所に対して、事業を安定的に継続するための運営支援として給付金を支給しました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○重度障害者の地域移行を進めるため、重度障害者を受け入れることが設備的に可能な障害者グループホームを増やす必要があります。既設のグループホームが重度化に対応するため必要な費用を補助するなど、新たな助成制度が必要であるか検討します。 ○今後、障害福祉サービス事業所で働く人材が一層不足することが見込まれるため、国や府に対し、現場のニーズに合った施策展開を要望し続けるとともに、市独自の助成制度が必要であるか検討します。
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	グループホーム定員数	担当課調査	人	337	398	433	412	令和5
	考え方、定義、算出方法など	各年度3月1日現在の市指定障害者グループホームにおける定員数の合計							
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	障害者総合支援法ほか
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	第五次障害者長期計画ほか

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	62,166	人件費（参考）	16,200			
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△608	公債費（参考）	0			
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	113,332	財源内訳	国・府支出金	41,757		
	決算額	72,568		地方債	0		
	残額	40,764		その他 特定財源	26		
	執行歩合	64.03%		一般財源	30,785		
	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)
	障害者福祉施設建設助成【完了】	0	0	0	0	01	障害者福祉費
	障害福祉サービス事業者等指定事務【継続】	28,059	15,937	0	12,096	01	障害者福祉費
	グループホーム開設助成【継続】	2,250	0	0	2,250	01	障害者福祉費
	障害者福祉施設整備補助【継続】	8,579	5,720	0	2,859	01	障害者福祉施設整備費
	旧たちばな園施設管理【新規】	7,030	0	0	7,030	01	障害者福祉費
	障害福祉サービス継続支援事業（物価高騰対策）【新規】	26,650	20,100	0	6,550	01	障害者福祉費
予算管理事業							

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	障害福祉センターひまわり運営管理	区分	継続
施策の方向性	(3) 障害者福祉サービスの充実を図るとともに、障害者の社	総合計画掲載ページ	56
担当部局・課	331000 福祉部・障害福祉課		
関連部局・課	100100 行政総務課 100500 人事課 104500 デジタル戦略課 200300 広報戦略課 300500 くらし支援課 361500 こども相談課 561500 消防指令センター		

事業概要	<p>○障害福祉センターひまわりの設置目的である「障害者の文化と教養の向上及び自立と社会参加の促進」を図るため、各種相談・講座等の事業を実施するとともに、施設の維持管理を行います。</p> <p>○豊中市手話言語アクションプランの基本目標を達成するため、手話への理解を広め、手話を習得・発信する土台づくりに取り組みます。</p>
当該年度の実績	<p>○障害者向けの各種講座の実施により、障害者の文化と教養の向上及び自立と社会参加の促進を図りました。また、障害の有無にかかわらず参加できるひまわりひろばを実施し、地域と交流する機会としました。</p> <p>○障害福祉センターひまわりの総合管理・運営及び車両の管理を適切に行いました。</p> <p>○家庭のみでは入浴が困難な重度障害者に対し、必要な設備等を提供し、保健衛生の向上と福祉の増進を図りました。</p> <p>○障害者の社会参加・日常生活支援を目的とした手話通訳等の奉仕員を養成し、障害者の福祉の向上を図りました。</p> <p>○手話通訳者・要約筆記者を派遣し、聴覚障害者等の家庭生活・社会生活におけるコミュニケーションの円滑化を図りました。</p> <p>○手話通訳者を設置し、聴覚障害者に手話通訳及び相談支援を行いました。</p> <p>○発達障害に起因する日常生活上の問題に対して医療リハ職、社会福祉職等が支援することにより、発達障害者の福祉の向上を図りました。</p> <p>○視覚障害者に歩行及び日常生活にかかる相談支援を行うことにより、自立支援・社会参加の促進を図りました。</p> <p>○身体機能や日常生活動作の機能低下やその恐れのある障害者に対し、機能訓練やその指導、生活上での動作や姿勢に対する指導や助言を行い、家族や介護者に対しては、継続して行える訓練や介助方法について指導及び助言を行いました。</p> <p>○行政情報・地域生活をするうえで必要な情報を音訳・点訳し定期的に発行しました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○ひまわりひろばを定期的開催し、地域交流及び多世代交流を果たすことができました。今後は、Zoomの活用やアクセシビリティ能力を高める講座を行う必要があります。また、参加者の高齢化が進んでいることから、参加しやすい時間帯など講座の開催方法も検討していきます。</p> <p>○奉仕員養成講習会は、障害や手話への理解を深め、奉仕員活動に対する動機付けの機会となりました。現在、市登録奉仕員の高齢化が進み、新規登録者の確保が課題となっています。今後は講習会修了後、奉仕員活動を目指す人を対象にしたスキルアップ講習会開催を進め、登録者の増加を図ります。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	貸室件数	担当課調査	件	1,197	764	1,689	数値	1,250
	考え方、定義、算出方法など	各年度の貸室利用延べ件数							
2	参考	相談件数	担当課調査	件	886	884	1,165	数値	820
	考え方、定義、算出方法など	各年度の総合相談件数							
3	参考	講座延参加者数		人	1,346	1,738	2,226	数値	4,500
	考え方、定義、算出方法など								
4	目標	奉仕員養成研修事業受講者数	担当課調査	人	47	61	75	数値	90
	考え方、定義、算出方法など	各年度の奉仕員養成研修事業受講者数							
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	障害者基本法ほか
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	第5次大阪府障がい者計画ほか
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	第5次障害者長期計画ほか

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	121,510	人件費（参考）	62,127
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△275	公債費（参考）	45,439
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	125,473	国・府支出金	23,468
	決算額	112,425	地方債	0
	残額	13,048	その他 特定財源	801
	執行歩合	89.60%	一般財源	88,156
			財源内訳の	

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		障害福祉センター施設管理【継続】	13,492	0	0	13,492	01
	障害福祉センター車両管理【継続】	569	0	0	569	01	障害福祉センター費
	手話通訳者・要約筆記者派遣【継続】	2,588	1,313	0	1,275	01	障害福祉センター費
	障害者向け各種講座【継続】	25,735	12,417	0	13,318	01	障害福祉センター費
	歩行訓練及び手話通訳【継続】	52	31	0	21	01	障害福祉センター費
	機能回復訓練【継続】	24	13	0	11	01	障害福祉センター費
	奉仕員養成研修事業【継続】	847	575	0	272	01	障害福祉センター費
	点字・声の広報等発行事業【継続】	2,302	1,193	0	1,109	01	障害福祉センター費
	障害福祉センター施設運営【継続】	48,818	5,607	0	42,410	01	障害福祉センター費
	障害者団体支援事業【継続】	399	186	0	213	01	障害福祉センター費
	障害者施策推進協議会 障害福祉センター運営検討部会【継続】	61	0	0	61	01	障害福祉センター費
	意思疎通支援事業【継続】	3,828	2,133	0	1,695	01	障害福祉センター費
	施設入浴サービス事業【継続】	13,560	0	0	13,560	01	障害福祉センター費
	発達障害者支援【継続】	150	0	0	150	01	障害福祉センター費
	障害福祉センター施設整備事業【継続】	0	0	0	0	01	障害福祉センター整備
	事務費（障害福祉センター整備費）【継続】	0	0	0	0	01	障害福祉センター整備

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	生活保護事業	区分	継続
施策の方向性	(4)セーフティネットとしての社会保障制度の充実を進めま	総合計画掲載ページ	56
担当部局・課	330500 福祉部・福祉事務所		
関連部局・課	331000 障害福祉課 340100 健康政策課 341000 保健予防課		

事業概要	<p>○生活に困窮する国民に対し、最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長するために、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行います。 ※ 扶助費支給事業と生活保護関連事務は法定受託事務</p>
当該年度の実績	<p>○一人では求職活動が困難な生活保護受給者や保護申請者に対して、履歴書の作成支援・模擬面接・ハローワーク同行による求職支援をハローワークと連携を図りながら行い、生活保護受給者等の自立を支援しました。 ○【拡充】日常生活の健康管理が困難な生活保護受給者等に対し健康管理支援員（保健師・精神保健福祉士）と地区担当員が連携し、日常生活・病状の把握、健康管理、医療機関への連携等の支援を行いました。平成30年3月に策定した『第2期豊中市医療扶助の適正な実施に関する方針』に基づき、医療扶助に係る取組みを計画的に実施するとともに、それぞれに設定している数値目標の達成に向け、進捗状況の確認等の進捗管理を行いました。 ○福祉事務所で使用する車両の管理を行いました。 ○庄内分室の維持管理を行いました。 ○生活保護業務を効率的に遂行するため生活保護システムの運用を行いました。 ○生活に困窮する国民に対し、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行い、その最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長しました。 ○生活保護の適正な運営を確保するため生活保護業務に係る事務費等の支出を行いました。 ○被保護世帯の生活実態を明らかにすることによって、生活保護基準の改定等生活保護制度の企画運営のために必要な基礎資料を得るとともに、厚生労働行政の企画運営に必要な基礎資料を得ることを目的とした社会保障生計調査（家計簿調査事業）を実施しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○生活保護受給者等就労支援事業については、庁内の常設ハローワーク窓口を活用し、支援対象者が求職活動の支援を受けることができるよう、ハローワークとの連携を進めていきます。 ○生活保護受給者等健康管理支援事業については、引き続き健康相談、同行受診などの健康管理支援や適切な医療の活用、制度適用の適正化等を実施し、これまでの各取り組みを評価するとともに、就学前の乳幼児のいる世帯や妊婦のいる世帯に対する支援などの課題に対して「第3期医療扶助の適正な実施に関する方針」を策定します。 ○扶助費支給事業については、生活に困窮する国民に対し、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行い、その最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長します。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値年	530 令和4年度
1	目標	のべ就労支援者数	担当課調査	人	566	580	524	数値年	530 令和4年度
	考え方、定義、算出方法など								
2	目標	個別支援における支援目的達成率	担当課調査	%	81.1	82.4	92.9	数値年	90 令和4年度
	考え方、定義、算出方法など								
3	目標	糖尿病を起因とする新規透析導入者数	担当課調査	人	13	9	9	数値年	11 令和4年度
	考え方、定義、算出方法など								
4	目標	市民健診受診者数	担当課調査	人	410	451	556	数値年	500 令和4年度
	考え方、定義、算出方法など								
5	参考	被保護人員	担当課調査	人	9,709	9,497	9,539	数値年	
	考え方、定義、算出方法など								

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	介護保険給付等事業	区分	継続
施策の方向性	(4)セーフティネットとしての社会保障制度の充実を進めま	総合計画掲載ページ	56
担当部局・課	331500 福祉部・長寿社会政策課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○要介護認定者、要支援認定者及びチェックリスト該当者（事業対象者）が、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるようにするため、被保険者が利用した介護サービスや介護予防・生活支援サービスにかかる費用の保険給付を行い、地域の多様な主体による見守りやサロン活動の運営費を補助します。</p> <p>○適正な保険給付を行うため、国保連合会に対する支払いやデータ授受事業者との協議などの事務を行います。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○介護予防サービス給付費、介護予防計画給付費、居宅介護サービス費、居宅介護サービス計画費、施設介護サービス費、地域密着型介護サービス費、地域密着型介護予防サービス費、特例介護予防サービス費、特例介護予防サービス計画費、特例居宅介護サービス費、特例居宅介護サービス計画費、特例地域密着型介護サービス費、特例地域密着型介護予防サービス費、介護予防・生活支援サービス事業費を給付し、介護予防ケアマネジメント事業費、審査支払手数料を支払いました。</p> <p>○国保連合会に対し審査手数料の支払いやデータ授受、第三者行為求償事務、介護報酬算定に係る事業者との協議などの事務を行いました。</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○事業所に対し必要な保険給付を行い、被保険者は利用者負担を行うことで円滑な保険給付事業を行うことができました。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	保険給付費の計画値に対する執行率	長寿社会政策課	%	93.3	96.6	95.7	数値	100
		考え方、定義、算出方法など	決算額÷当初予算額						
2	参考	介護予防・生活支援サービス事業費の計画値に対する執行率	長寿社会政策課	%	75.9	84.6	82.2	数値	100
		考え方、定義、算出方法など	決算額÷当初予算額						
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など							

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	介護保険法、介護保険法施行法、介護保険施行令、介護保険法施行規則等
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	介護保険事業計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	36,382,640	人件費（参考）	10,340	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	2	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	36,382,642	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	13,358,227
	決算額	34,904,808		地方債	0
	残額	1,477,834		その他 特定財源	16,594,382
	執行歩合	95.94%		一般財源	4,952,199

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		保険給付事業（介護予防サービス給付費）【継続】	726,646	277,073	0	90,808	17
	保険給付事業（介護予防サービス計画給付費）【継続】	173,592	66,208	0	21,699	17	介護予防サービス計画
	保険給付事業（居宅介護サービス給付費）【継続】	18,669,382	7,115,616	0	2,919,375	17	居宅介護サービス給付
	保険給付事業（居宅介護サービス計画給付費）【継続】	2,065,438	787,758	0	258,180	17	居宅介護サービス計画
	保険給付事業（施設介護サービス給付費）【継続】	6,845,375	2,610,826	0	855,672	17	施設介護サービス給付
	保険給付事業（審査支払手数料）【継続】	33,500	12,777	0	4,187	17	審査支払手数料
	保険給付事業（地域密着型介護サービス給付費）【継続】	5,235,341	1,996,759	0	654,418	17	地域密着型介護サービス
	保険給付事業（地域密着型介護予防サービス給付費）【継続】	13,407	5,113	0	1,676	17	地域密着型介護予防サービス
	保険給付事業（特例介護予防サービス給付費）【継続】	0	0	0	0	17	特例介護予防サービス
	保険給付事業（特例介護予防サービス計画給付費）【継続】	0	0	0	0	17	特例介護予防サービス計画
	保険給付事業（特例居宅介護サービス給付費）【継続】	0	0	0	0	17	特例居宅介護サービス
	保険給付事業（特例居宅介護サービス計画給付費）【継続】	0	0	0	0	17	特例居宅介護サービス計画
	保険給付事業（特例地域密着型介護サービス給付費）【継続】	0	0	0	0	17	特例地域密着型介護サービス
	保険給付事業（特例地域密着型介護予防サービス給付費）【継続】	0	0	0	0	17	特例地域密着型介護予防サービス
	保険給付管理【継続】	3,908	0	0	3,908	17	一般管理費
	介護保険利用者負担額軽減支援事業【継続】	0	0	0	0	17	一般管理費
	介護予防・生活支援サービス事業（長寿社会政策課）【継続】	1,016,563	439,697	0	127,070	17	介護予防・生活支援サービス
	介護予防ケアマネジメント事業（長寿社会政策課）【拡充】	118,416	45,164	0	14,802	17	介護予防ケアマネジメント
	介護予防・生活支援サービス事業（審査支払手数料）【継続】	3,240	1,236	0	404	17	審査支払手数料

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	介護保険事業（保険給付課）	区分	継続
施策の方向性	(4) セーフティネットとしての社会保障制度の充実を進めま	総合計画掲載ページ	56
担当部局・課	342000 健康医療部・保険給付課		
関連部局・課	331500 長寿社会政策課 332000 長寿安心課 340100 健康政策課 342500 保険資格課 343000 保険収納課		

事業概要	○介護保険法による保険給付を行います。
当該年度の実績	○申請に基づき被保険者に対し負担限度額認定証の交付及び保険給付を行いました。 ○給付適正化のため実地調査を実施しました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○法で定められた保険給付のため今後も継続します。
------------------------------	--------------------------

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	被保険者数	担当課資料	人	105,297	105,059	104,746	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	住宅改修・福祉用具購入調査件数	担当課資料	件	0	76	135	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3	参考	理由書作成の助成件数	担当課資料	件	6	11	12	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	介護保険法 他
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	介護保険事業計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額 (当初)	2, 240, 055	人件費 (参考)	7, 390	
	流用増減額 (予備費充当用含む)	0	公債費 (参考)	0	
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	2, 240, 220	財源内訳 の	国・府支出金	710, 811
	決算額	1, 869, 601		地方債	0
	残額	370, 619		その他 特定財源	918, 803
	執行歩合	83. 46%		一般財源	239, 987

	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
予算管理事業	住宅改修・福祉用具購入適正化事業【継続】	2, 138	1, 234	0	412	17	任意事業費
	保険給付事業 (介護予防住宅改修費)【継続】	49, 479	18, 871	0	6, 185	17	介護予防住宅改修費
	保険給付事業 (介護予防福祉用具購入費)【継続】	15, 627	5, 960	0	1, 954	17	介護予防福祉用具購入
	保険給付事業 (居宅介護住宅改修費)【継続】	67, 088	25, 587	0	8, 386	17	居宅介護住宅改修費
	保険給付事業 (居宅介護福祉用具購入費)【継続】	50, 450	19, 241	0	6, 306	17	居宅介護福祉用具購入
	保険給付事業 (高額医療合算介護サービス費)【継続】	134, 749	51, 394	0	16, 843	17	高額医療合算介護サー
	保険給付事業 (高額医療合算介護予防サービス費)【継続】	1, 132	432	0	141	17	高額医療合算介護予防
	保険給付事業 (高額介護サービス費)【継続】	1, 037, 244	395, 604	0	129, 656	17	高額介護サー
	保険給付事業 (高額介護予防サービス費)【継続】	614	234	0	77	17	高額介護予防サー
	保険給付事業 (特定入所者介護サービス費)【継続】	499, 285	190, 427	0	62, 411	17	特定入所者介護サー
	保険給付事業 (特定入所者介護予防サービス費)【継続】	35	13	0	5	17	特定入所者介護予防
	保険給付事業 (特例特定入所者介護サービス費)【継続】	0	0	0	0	17	特例特定入所者介護
	保険給付事業 (特例特定入所者介護予防サービス費)【継続】	0	0	0	0	17	特例特定入所者介護
	居宅介護 (介護予防)住宅支援事業【継続】	24	14	0	4	17	任意事業費
	介護保険管理事務事業【継続】	7, 017	0	0	7, 017	17	一般管理費
	地域支援事業 (介護予防・生活支援サービス事業費)【継続】	4, 719	1, 800	0	590	17	介護予防・生活支援

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	国民健康保険事業（保険給付課）	区分	継続
施策の方向性	(4) セーフティネットとしての社会保障制度の充実を進めま	総合計画掲載ページ	56
担当部局・課	342000 健康医療部・保険給付課		
関連部局・課	104500 デジタル戦略課 342500 保険資格課 343000 保険収納課		

事業概要	<p>○国民皆保険制度の中核を担う医療保険制度であり、市町村が保険者となり、市民のうち自営業や退職者などを対象とする被保険者が疾病や負傷をしたときなどに必要な給付を行います。</p> <p>○平成30年4月から広域化により大阪府が共同保険者として加わり、財政運営の責任主体となっています。</p> <p>○国民健康保険制度の財政運営の都道府県化により、府内市町村の保険給付費等の支出に対する必要額を事業費納付金として負担します。</p>
当該年度の実績	<p>○申請に基づき被保険者に対し限度額適用（・標準負担額減額）認定証の交付及び保険給付を行うとともに、市立体育館などの利用料や人間ドック受診料の助成を行いました。</p> <p>○府内市町村の保険給付費等の支出に対する必要額を事業費納付金として納付しました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○法で定められた保険給付のため今後も継続します。</p> <p>○市立体育館などの利用料や人間ドック受診料の助成については、被保険者の健康の保持・増進を支援するため今後も継続します。</p> <p>○一人あたりの保険給付費や事業費納付金が年々増加しており、このことにより保険料率が上昇して被保険者の負担となっています。</p> <p>○令和6年度に府内統一保険料率となりますが、引き続き保険料抑制や医療費の適正化などの課題に対して、広域化調整会議のWG委員を通じて、意見の申出をします。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	被保険者数（4月末～3月末月平均）	担当課資料	人	78,172	76,201	72,872	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	人間ドック・脳ドック受診者数	決算説明書	人	2,785	3,079	3,074	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3	参考	はつらつ健康事業助成件数	決算説明書	件	2,528	2,744	3,942	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	国民健康保険法 他
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府国民健康保険運営方針 他
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市国民健康保険条例 他

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	39,113,880	人件費（参考）	67,328	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	1	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	39,154,015	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	27,170,063
	決算額	38,932,244		地方債	0
	残額	221,771		その他 特定財源	7,913,250
	執行歩合	99.43%		一般財源	3,848,931

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		国民健康保険オンラインシステムの運用【継続】	42,679	0	0	42,679	11
	国民健康保険運営協議会【継続】	254	0	0	254	11	運営協議会費
	国民健康保険協議会負担金事業【継続】	3	0	0	3	11	国民健康保険協議会負担金
	国民健康保険連合会負担金事業【継続】	6,929	0	0	6,929	11	国民健康保険連合会負担金
	保健事業（疾病予防費）【継続】	135,812	37,310	0	98,502	11	疾病予防費
	保健事業（保健衛生普及費）【継続】	9,263	1,648	0	7,615	11	保健衛生普及費
	保険給付事業（一般被保険者移送費）【継続】	0	0	0	0	11	一般被保険者移送費
	保険給付事業（一般被保険者高額療養費）【継続】	3,479,873	3,479,873	0	0	11	一般被保険者高額療養費
	保険給付事業（一般被保険者療養給付費）【継続】	22,922,569	22,921,672	0	897	11	一般被保険者療養給付費
	保険給付事業（一般被保険者療養費）【継続】	360,127	360,127	0	0	11	一般被保険者療養費
	保険給付事業（一般被保険者高額介護合算療養費）【継続】	2,915	2,915	0	0	11	一般被保険者高額介護合算療養費
	保険給付事業（支払手数料）【継続】	43	43	0	0	11	支払手数料
	保険給付事業（出産育児一時金）【継続】	89,753	89,753	0	0	11	出産育児一時金
	保険給付事業（審査支払手数料）【継続】	63,547	63,547	0	0	11	審査支払手数料
	保険給付事業（精神・結核医療給付金）【継続】	62,950	62,950	0	0	11	精神・結核医療給付金
	保険給付事業（葬祭費）【継続】	22,850	22,850	0	0	11	葬祭費
	保険給付事業（退職被保険者等移送費）【継続】	0	0	0	0	11	退職被保険者等移送費
	保険給付事業（退職被保険者等高額介護合算療養費）【継続】	0	0	0	0	11	退職被保険者等高額介護合算療養費
	保険給付事業（退職被保険者等高額療養費）【継続】	0	0	0	0	11	退職被保険者等高額療養費
	保険給付事業（退職被保険者等療養給付費）【継続】	0	0	0	0	11	退職被保険者等療養給付費
	保険給付事業（退職被保険者等療養費）【継続】	0	0	0	0	11	退職被保険者等療養費
	国民健康保険管理事務事業【継続】	64,730	18,832	0	45,898	11	一般管理費

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	利子（国民健康保険事業）【継続】	0	0	0	0	11	利子
	国民健康保険事業費納付金事業【継続】	8,355,437	80,544	0	2,663,919	11	一般被保険者医療給付
	国民健康保険事業費納付金事業【継続】	678	0	0	678	11	退職被保険者等医療給
	国民健康保険事業費納付金事業【継続】	2,353,343	12,284	0	682,227	11	一般被保険者後期高齢
	国民健康保険事業費納付金事業【継続】	204	0	0	204	11	退職被保険者等後期高
	国民健康保険事業費納付金事業【継続】	920,074	5,849	0	270,781	11	介護納付金分
	共同事業拠出金事業【継続】	1	0	0	1	11	共同事業拠出金
	償還金（国民健康保険事業）【継続】	28,255	0	0	28,255	11	償還金
	保険給付事業（傷病手当金）【継続】	9,955	9,866	0	89	11	傷病手当金

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	後期高齢者医療事業	区分	継続
施策の方向性	(4) セーフティネットとしての社会保障制度の充実を進めま	総合計画掲載ページ	56
担当部局・課	342000 健康医療部・保険給付課		
関連部局・課	104500 デジタル戦略課 342500 保険資格課 343000 保険収納課		

事業概要	<p>○平成20年4月に超高齢化社会を展望した新たな医療保険制度体系の実現に向け、75歳以上の後期高齢者を被保険者とする後期高齢者医療制度が創設されました。</p> <p>○各都道府県に設置された後期高齢者医療広域連合が、保険者となって保険料の決定や被保険者への給付を行い、市町村は、各種届出や申請の受付、保険料の徴収を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○後期高齢者医療制度の被保険者から徴収した保険料等を、大阪府後期高齢者医療広域連合に納付しました。</p> <p>○後期高齢者医療制度に係る医療給付等の受付事務などを行いました。</p>

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○徴収した保険料等を適切に納付し、大阪府後期高齢者医療広域連合の安定的な運営に寄与しました。保険給付費の増加に伴い、後期高齢者医療制度の保険料率も年々上昇しており、被保険者の負担が重くなっているのが課題です。</p> <p>○後期高齢者医療事業の適正かつ円滑な運営するため今後も継続します。</p>
---	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	被保険者数（4月末～3月末月平均）	担当課資料	人	53,546	54,141	56,271	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	高齢者の医療の確保に関する法律 他
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府後期高齢者医療広域連合条例 他
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市後期高齢者医療に関する条例 他

【決算説明情報】

(単位: 千円)

予算・決算額等	予算額 (当初)	11,455,475	人件費 (参考)	18,718	
	流用増減額 (予備費充当用含む)	0	公債費 (参考)	0	
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	11,455,475	財源内訳の 決算額の 内訳	国・府支出金	0
	決算額	11,313,727		地方債	0
	残額	141,748		その他 特定財源	5,933,728
	執行歩合	98.76%		一般財源	5,379,999

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
後期高齢者医療システムの運用【 継続】	14,894	0	0	14,894	16	一般管理費
後期高齢者医療広域連合納付金事業 【継続】	7,037,684	0	0	1,103,956	16	後期高齢者 医療広域連 合
後期高齢者医療事業療養給付費・事 務負担金事業【継続】	4,259,663	0	0	4,259,663	01	後期高齢者 医療事業費
後期高齢者医療管理事務事業【継続 】	1,486	0	0	1,486	16	一般管理費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	福祉医療費助成事業	区分	継続
施策の方向性	(4) セーフティネットとしての社会保障制度の充実を進めま	総合計画掲載ページ	56
担当部局・課	342000 健康医療部・保険給付課		
関連部局・課	362000 子育て給付課		

事業概要	○重度の身体障害者など対象者の健康の保持及び福祉の増進を図るために、対象者の医療費の一部を助成します。
当該年度の実績	○申請に基づき対象者に対し医療証の交付及び医療費の助成を行いました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○医療費の一部を助成し、安心して医療を受ける環境を整えることにより、受診機会の多い重度障害者の経済的負担を軽減できており今後も事業を継続します。
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	障害者医療費助成対象者数（3月～2月の月平均）	決算説明書	人	6,066	6,058	6,064	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	助成額	決算説明書	千円	742,038	749,725	754,590	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	□国の法律・政令・省令、計画等	
		大阪府市町村重度障がい者及び知的障がい者医療費助成事業費補助金交付要綱
		豊中市重度障害者の医療費の助成に関する条例・豊中市重度障害者の医療費の助成に関する条例施行規則

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額 (当初)	859,651	人件費 (参考)	22,187	
	流用増減額 (予備費充当用含む)	0	公債費 (参考)	0	
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	859,651	財源内訳の	国・府支出金	370,339
	決算額	774,578		地方債	0
	残額	85,073		その他 特定財源	0
	執行歩合	90.10%		一般財源	404,239

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計	
					(コード)	目
老人医療費助成事業【継続】	990	92	0	898	01	老人医療助成費
訪問看護基本利用料助成事業【継続】	0	0	0	0	01	訪問看護療養助成費
福祉医療システムの運用【継続】	2,499	0	0	2,499	01	社会福祉総務費
重度障害者医療費助成事業【継続】	771,089	370,247	0	400,842	01	障害者医療助成費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	保険料収納事業	区分	継続
施策の方向性	(4)セーフティネットとしての社会保障制度の充実を進めま	総合計画掲載ページ	56
担当部局・課	342500 健康医療部・保険資格課		
関連部局・課	104500 デジタル戦略課 330500 福祉事務所 331500 長寿社会政策課 332000 長寿安心課 342000 保険給付課 343000 保険収納課		

事業概要	○被保険者に対し、保険料収納事務を適正に行うことにより、保険料負担の公平性や相互扶助の確保とともに保険財政の健全化を図るために、保険料の収納、過誤納金の還付及び口座振替に関する事務を行います。
当該年度の実績	○3保険料（国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療）の収納、過誤納金の還付及び口座振替に関する事務を行いました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○窓口での保険料納付に対する口座振替勧奨や一部のキャッシュレス決済に対応させているものの、収納率の全体的な底上げに結びついていないのが現状です。 ○引き続き保険料収納事務を適正に行うことにより、保険料負担の公平性や相互扶助の確保を推進していくとともに、保険財政の健全化を図るため収納率の上昇に向けた取組みを継続します。
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値年	令和4年度
1	目標	現年度収納率（国民健康保険）	決算資料	%	92.9	93.37	92.82	数値年	93.50 令和4年度
	考え方、定義、算出方法など	国民健康保険料目標収納率（保険収納課作成）							
2	目標	現年度収納率（後期高齢者医療事業）	決算資料	%	99.52	99.49	99.34	数値年	99.52 令和4年度
	考え方、定義、算出方法など	介護保険料目標収納率（保険収納課作成）							
3	目標	現年度収納率（介護保険）	決算資料	%	99.21	99.26	99.27	数値年	99.30 令和4年度
	考え方、定義、算出方法など	介護保険料目標収納率（保険収納課作成）							
4								数値年	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値年	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	国民健康保険法、高齢者の医療の確保に関する法律、介護保険法
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府国民健康保険広域化等支援方針
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市国民健康保険条例、豊中市後期高齢者医療に関する条例、豊中市介護保険条例等

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	50,703	人件費（参考）	26,710																																																																																																																																																																																																																														
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0																																																																																																																																																																																																																														
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	50,703	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0																																																																																																																																																																																																																													
	決算額	44,130		地方債	0																																																																																																																																																																																																																													
	残額	6,573		その他 特定財源	44																																																																																																																																																																																																																													
	執行歩合	87.04%		一般財源	44,086																																																																																																																																																																																																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算管理事業名称</th> <th>決算額</th> <th>国・府支出金</th> <th>地方債</th> <th>一般財源</th> <th>会計 (コード)</th> <th>目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保険料収納管理事業（国民健康保険事業）【継続】</td> <td>25,239</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>25,200</td> <td>11</td> <td>一般管理費</td> </tr> <tr> <td>保険料収納管理事業（後期高齢者医療事業）【継続】</td> <td>6,160</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6,157</td> <td>16</td> <td>一般管理費</td> </tr> <tr> <td>保険料収納管理事業（介護保険事業）【継続】</td> <td>12,731</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>12,729</td> <td>17</td> <td>賦課徴収費</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>		予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目	保険料収納管理事業（国民健康保険事業）【継続】	25,239	0	0	25,200	11	一般管理費	保険料収納管理事業（後期高齢者医療事業）【継続】	6,160	0	0	6,157	16	一般管理費	保険料収納管理事業（介護保険事業）【継続】	12,731	0	0	12,729	17	賦課徴収費																																																																																																																																																																																																				
予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目																																																																																																																																																																																																																												
保険料収納管理事業（国民健康保険事業）【継続】	25,239	0	0	25,200	11	一般管理費																																																																																																																																																																																																																												
保険料収納管理事業（後期高齢者医療事業）【継続】	6,160	0	0	6,157	16	一般管理費																																																																																																																																																																																																																												
保険料収納管理事業（介護保険事業）【継続】	12,731	0	0	12,729	17	賦課徴収費																																																																																																																																																																																																																												

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	保険料資格得喪事業	区分	継続
施策の方向性	(4)セーフティネットとしての社会保障制度の充実を進めま	総合計画掲載ページ	56
担当部局・課	342500 健康医療部・保険資格課		
関連部局・課	104500 デジタル戦略課 330500 福祉事務所 331500 長寿社会政策課 332000 長寿安心課 342000 保険給付課 343000 保険収納課		

事業概要	○被保険者の資格得喪事務を適正に実施すること等を通じて、保険事業の適正かつ円滑な運営を図るために、保険の資格得喪に関する調査、被保険者証の交付及び年度更新に関する事務を行います。
当該年度の実績	○3保険（国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療）の資格取得・喪失に関する手続き・調査、被保険者証の交付及び年度更新に関する事務を行いました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○3保険被保険者の資格取得・喪失事務を適正に行うことで賦課決定や医療給付を担保し、また3保険事業の円滑な運営を図ることで安定した社会保障制度を維持させていくことに寄与しました。</p> <p>○今後も3保険の資格取得・喪失事務を適正に継続します。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	被保険者数（国民健康保険事業）	保険給付課より	人	78,172	76,201	72,872	数値	
		考え方、定義、算出方法など	国保世帯数及び被保険者数推計（保険給付課作成）						
2	参考	第1号被保険者数（介護保険事業）	長寿社会政策課より	人	105,297	105,059	104,746	数値	
		考え方、定義、算出方法など							
3	参考	被保険者数（後期高齢者医療事業）	保険給付課より	人	53,661	55,026	57,383	数値	
		考え方、定義、算出方法など	決算説明書（保険給付課作成）						
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など							

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	国民健康保険法、介護保険法、高齢者の医療の確保に関する法律
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府国民健康保険広域化等支援方針
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市国民健康保険条例、豊中市介護保険条例

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	81,228	人件費（参考）	52,634
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△1,062	公債費（参考）	0
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	80,166	国・府支出金	1,816
	決算額	75,717	地方債	0
	残額	4,449	その他 特定財源	18,833
	執行歩合	94.45%	一般財源	55,068
			財源内訳	

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計	
					(コード)	目
保険資格得喪管理事業（国民健康保険事業）【継続】	30,813	1,816	0	28,997	11	一般管理費
保険資格得喪管理事業（介護保険事業）【継続】	3,815	0	0	3,815	17	賦課徴収費
保険資格得喪管理事業（後期高齢者医療事業）【継続】	41,089	0	0	22,256	16	一般管理費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	保険料賦課事業	区分	継続
施策の方向性	(4)セーフティネットとしての社会保障制度の充実を進めま	総合計画掲載ページ	56
担当部局・課	342500 健康医療部・保険資格課		
関連部局・課	104500 デジタル戦略課 330500 福祉事務所 331500 長寿社会政策課 332000 長寿安心課 342000 保険給付課 343000 保険収納課		

事業概要	○保険料の賦課決定や減免制度の適正な運用等を通じて、介護保険事業の適正かつ円滑な運営を図るために、保険料の賦課及び減免に関する事務を行います。
当該年度の実績	○3保険（国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療）の賦課及び減免に関する事務を行いました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○3保険保険料の賦課決定や減免制度の適正な運用等をととして3保険事業の介護保険事業の適正かつ円滑な運営を図ることにより、安定した社会保障制度を維持させていくことに寄与しました。</p> <p>○今後も3保険の賦課決定・減免事務を適正に継続します。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	国民健康保険保険料（現年分・一般被保険者分）	決算資料	千円	7,811,479	7,995,434	8,213,597	数値	
		考え方、定義、算出方法など	国保世帯数及び被保険者数推計（伸率を乗じたもの）						
2	参考	国民健康保険保険料（現年分・退職被保険者分）	決算資料	千円	0	0	0	数値	
		考え方、定義、算出方法など	国保世帯数及び被保険者数推計（伸率を乗じたもの）						
3	参考	後期高齢者医療事業保険料（現年分）	決算資料	千円	5,508,773	5,521,896	5,981,500	数値	
		考え方、定義、算出方法など	後期高齢者医療被保険者数推計（伸率を乗じたもの）						
4	参考	介護保険料（現年分・第1号被保険者）	決算資料	千円	7,259,491	7,489,026	7,516,594	数値	
		考え方、定義、算出方法など	第5期介護保険事業計画（伸率を乗じたもの）						
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など							

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	国民健康保険法、高齢者の医療の確保に関する法律、介護保険法
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府国民健康保険広域化等支援方針
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市国民健康保険条例、豊中市後期高齢者医療に関する条例、豊中市介護保険条例

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	63,021	人件費（参考）	60,130	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	63,021	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	58,083		地方債	0
	残額	4,938		その他 特定財源	0
	執行歩合	92.16%		一般財源	58,083

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目	
	保険料賦課管理事業（国民健康保険事業）【継続】	24,275	0	0	24,275	11	一般管理費	
	保険料賦課管理事業（後期高齢者医療事業）【継続】	13,029	0	0	13,029	16	一般管理費	
	保険料賦課管理事業（介護保険事業）【継続】	20,779	0	0	20,779	17	賦課徴収費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	保険料還付事業	区分	継続
施策の方向性	(4)セーフティネットとしての社会保障制度の充実を進めま	総合計画掲載ページ	56
担当部局・課	342500 健康医療部・保険資格課		
関連部局・課	104500 デジタル戦略課 330500 福祉事務所 331500 長寿社会政策課 332000 長寿安心課 342000 保険給付課 343000 保険収納課		

事業概要	○過年度の過誤納還付金が発生した市民へ保険料過誤納金を還付するため、過誤納還付金請求に応じ、還付します。
当該年度の実績	○3保険（国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療）保険料の過誤納還付請求に応じ還付しました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○現年度及び過年度の過誤納還付請求に対して適正に支出することで保険料負担の公平性を確保して保険財政の健全を図り、安定した社会保障制度を維持させることに寄与しました。 ○今後も3保険の保険料還付事務を適正に継続します。
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	後期高齢者医療保険料過誤納金還付金額	担当課調査	千円	10,682	11,232	11,730	数値	年
		考え方、定義、算出方法など							
2	参考	国民健康保険料過誤納金還付金額	担当課調査	千円	68,760	47,131	43,707	数値	年
		考え方、定義、算出方法など							
3	参考	介護保険料過誤納金還付金額	担当課調査	千円	14,496	11,656	12,726	数値	年
		考え方、定義、算出方法など							
4								数値	年
		考え方、定義、算出方法など							
5								数値	年
		考え方、定義、算出方法など							

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市財務規則、豊中市後期高齢者医療に関する条例施行規則等

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	94,982	人件費（参考）	4,890	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△121	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	94,861	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	68,175		地方債	0
	残額	26,686		その他 特定財源	12,739
	執行歩合	71.87%		一般財源	55,436

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		保険料還付金（後期高齢者医療事業） 【継続】	11,742	0	0	11,729	16
	保険料還付金（国民健康保険事業） 【継続】	43,707	0	0	43,707	11	保険料還付金
	第1号被保険者保険料還付金（介護 保険事業）【継続】	12,726	0	0	0	17	第1号被 保険者保険料

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	国民年金事業	区分	継続
施策の方向性	(4) セーフティネットとしての社会保障制度の充実を進めま	総合計画掲載ページ	56
担当部局・課	342500 健康医療部・保険資格課		
関連部局・課			

事業概要	○国民年金制度は、老齢、障害、死亡といった事故によって国民生活の安定が損なわれることを防ぎ、健全な国民生活の維持、向上に寄与することを目的としています。市は、国民年金制度の目的の達成に必要な役割を果たすため、国民年金法令に係る法定受託事務を適正に執行します。
当該年度の実績	国民年金法令に係る法定受託事務を適正に執行しました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	引き続き、国民年金法令に係る法定受託事務を適正に執行します。
------------------------------	--------------------------------

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	相談件数(来庁者数)		件	17,666	17,242	17,803	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	被保険者件数(第1号)	日本年金機構	人	49,611	49,058	47,948	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3	参考	被保険者数(任意)	日本年金機構	人	755	812	862	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4	参考	被保険者数(第3号)	日本年金機構	人	32,935	31,993	30,673	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	国民年金法
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額(当初)	38,509	人件費(参考)	24,300			
	流用増減額 (予備費充当用含む)	△201	公債費(参考)	0			
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	38,308	財源内訳の	国・府支出金	37,755		
	決算額	37,755		地方債	0		
	残額	553		その他 特定財源	0		
	執行歩合	98.56%		一般財源	0		
予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	国民年金事業【継続】	37,755	37,755	0	0	01	国民年金費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	保険料徴収事業	区分	継続
施策の方向性	(4)セーフティネットとしての社会保障制度の充実を進めま	総合計画掲載ページ	56
担当部局・課	343000 健康医療部・保険収納課		
関連部局・課	262000 債権管理課 331500 長寿社会政策課 342000 保険給付課 342500 保険資格課		

事業概要	○国民健康保険料、後期高齢者医療保険料、介護保険料の被保険者負担の公平性を確保し、保険財政の健全化のために、適正な徴収事務を行います。
当該年度の実績	○国民健康保険料、後期高齢者医療保険料、介護保険料の被保険者負担の公平性を確保し、保険財政の健全化のために、適正な徴収事務を行いました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○引き続き、国民健康保険料、後期高齢者医療保険料、介護保険料の被保険者負担の公平性を確保し、保険財政の健全化のために、適正な徴収事務を行います。
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値年	令和4年度
1	目標	国民健康保険料現年度収納率	保険料徴収方針	%	92.9	93.37	92.82	数値年	93.50 令和4年度
	考え方、定義、算出方法など								
2	目標	後期高齢者医療保険料現年度収納率	保険料徴収方針	%	99.52	99.49	99.34	数値年	99.52 令和4年度
	考え方、定義、算出方法など								
3	目標	介護保険料現年度収納率	保険料徴収方針	%	99.21	99.26	99.27	数値年	99.30 令和4年度
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値年	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値年	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	国民健康保険法 高齢者の医療の確保に関する法律 介護保険法 地方自治法 地方税法 国税徴収法
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府後期高齢者医療広域連合 後期高齢者医療に関する条例
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市国民健康保険条例 豊中市後期高齢者医療に関する条例 豊中市介護保険条例 他

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額(当初)	35,520	人件費(参考)	108,540				
	流用増減額 (予備費充当用含む)	0	公債費(参考)	0				
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	35,520	財源内訳 の	国・府支出金	0			
	決算額	34,244		地方債	0			
	残額	1,276		その他 特定財源	0			
	執行歩合	96.41%		一般財源	34,244			
	予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
車両管理【継続】		11	0	0	11	16	賦課徴収費	
保険料徴収事業(後期高齢者医療事業)【継続】		534	0	0	534	16	賦課徴収費	
滞納処分費(後期高齢者医療事業)【継続】		0	0	0	0	16	賦課徴収費	
車両管理【継続】		27	0	0	27	11	賦課徴収費	
滞納整理システムの運用(国民健康保険事業)【継続】		10,478	0	0	10,478	11	賦課徴収費	
保険料徴収事業(国民健康保険事業)【継続】		22,875	0	0	22,875	11	賦課徴収費	
滞納処分費(国民健康保険事業)【継続】		0	0	0	0	11	賦課徴収費	
車両管理【継続】		0	0	0	0	17	賦課徴収費	
保険料徴収事業(介護保険事業)【継続】		319	0	0	319	17	賦課徴収費	
滞納処分費(介護保険事業)【継続】		0	0	0	0	17	賦課徴収費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	くらし再建パーソナルサポート事業	区分	継続
施策の方向性	(5) 就労支援の充実を図ります	総合計画掲載ページ	57
担当部局・課	300500 市民協働部・くらし支援課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○自立生活支援の充実のために、くらし再建パーソナルサポートセンター・地域就労支援センター・無料職業紹介所等を活用した基礎能力の養成プログラムや各種講座・職業体験・合同面接会の開催、職業紹介などにより就労支援を進めます。</p> <p>○上記取組をより効果的に実施するため、ひとり親支援や若者支援、生活困窮者自立支援、高齢者支援、障害者支援などの各取組と連携して、就労希望者の就労の場の確保や定着支援を進めます。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○くらし再建パーソナルサポートセンターにおいて、2,025件のさまざまな生活の困りごとの新規相談を受けました。</p> <p>また、コロナ禍やその他の理由により、住居を失ったり失う恐れのある方を対象に住居確保給付金の支給を行い、併せて常用就職をめざした就労支援を行いました。</p> <p>○【新規】【拡充】庄内コラボセンター内に豊中しごと・くらしセンターを設置し、生活困窮と就労支援の相談窓口を一体的に実施することにより、生活困窮に陥るきっかけの一つである失業という機会をとらえ、生活困窮に陥るリスクの高い市民を早期に発見し、就労支援と生活面のサポートを一体的に実施する体制を整えました。</p> <p>○市内の雇用創出に向け、豊中商工会議所などと連携した地域雇用活性化推進事業を実施し、145人が就職につながりました。</p>
---------	--

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○コロナ禍以降、複雑かつ多様な課題を有する相談が増加していることから、相談員の質の向上に取り組みました。また、その課題に対して包括的な支援が実施できるよう、関係機関とも連携を図りながら個々に合わせた社会的自立に向けた支援を行いました。また、さらなる連携強化と支援体制の充実に向けて、令和5年（2023年）2月に開設した豊中しごと・くらしセンターも活用しながら、就労支援と生活面のサポートを一体的に実施していきます。</p>
---	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	くらし再建パーソナルサポート事業にかかる新規相談件数	担当課調査	件	6,828	3,735	2,025	数値	1,400
	考え方、定義、算出方法など	くらし再建パーソナルサポート事業の新規相談件数							
2	参考	地域就労支援事業にかかる相談者数	担当課調査	人	1,960	1,296	1,036	数値	610
	考え方、定義、算出方法など	地域就労支援事業にかかる新規及び継続相談者の数							
3	参考	地域就労支援事業による就労決定数	担当課調査	人	194	290	266	数値	200
	考え方、定義、算出方法など	地域就労支援事業により就労が決定した数							
4	参考	無料職業紹介事業による就職件数	担当課調査	件	252	238	244	数値	220
	考え方、定義、算出方法など	無料職業紹介事業による就職件数							
5	参考	住居確保給付金延べ支給者数	担当課調査	人	1,962	1,278	747	数値	72
	考え方、定義、算出方法など	住居確保給付金の延べ支給者数							

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	生活困窮者自立支援法
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府総合相談事業交付金交付要綱
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市地域就労支援実施要綱

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額 (当初)		人件費 (参考)		45,765		
	418,023		公債費 (参考)		0		
	流用増減額 (予備費充当用含む)		△111				
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)		533,315		国・府支出金		
	決算額		491,010		地方債		
	残額		42,305		その他 特定財源		
	執行歩合		92.07%		一般財源		
					122,768		
予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	若者職業体験事業【継続】	11,242	0	0	11,242	01	雇用対策費
	就労支援事業【継続】	82,357	64,694	0	17,663	01	雇用対策費
	無料職業紹介事業【拡充】	24,431	12,547	0	6,140	01	雇用対策費
	住居確保給付事業【継続】	32,299	25,945	0	6,354	01	雇用対策費
	多重債務者生活相談業務【継続】	5,626	4,336	0	1,290	01	雇用対策費
	雇用創出事業【継続】	39,999	0	0	39,999	01	雇用対策費
	重層的支援体制整備事業(くらし支援課)【継続】	83,929	44,656	0	39,273	01	社会福祉総務費
	(仮称)南部コラボセンター準備事業(雇用対策費)【新規】	807	0	0	807	01	雇用対策費
	(仮称)南部コラボセンター準備事業(労働会館費)【新規】	0	0	0	0	01	労働会館費
	生活困窮者自立支援金給付事業【継続】	210,320	210,080	0	0	01	雇用対策費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	労働啓発・相談事業	区分	継続
施策の方向性	(5) 就労支援の充実を図ります	総合計画掲載ページ	57
担当部局・課	300500 市民協働部・くらし支援課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○働きがいのある人間らしい仕事ができる環境づくりのため、働いている人や事業者に対して労働相談窓口の運営をします。</p> <p>○働いている人が安心して働き続けられる環境づくりを支援するため、働いている人や事業者に対して最新の労働法規や働き方改革の内容などについて啓発・情報発信に取り組みます。</p> <p>○市内中小企業で働く人が豊かで充実した生活を実現できるようにするため、市内中小企業の福利厚生サービスの支援を行います。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○労働相談業務では、NATSの取り組みを活用した相談を実施するとともに、オンライン予約を拡充するなど、相談しやすい環境づくりに取り組み、191件の相談がありました。</p> <p>○若い世代に対する労働啓発としてショートムービーを13本作成するなど、年代に応じた啓発や情報発信に取り組みました。事業所向けには、労働法規や働き方改革の内容を啓発するため、オンラインで勤労者ニュースを2回発行しました。</p> <p>○豊中市中小企業勤労者互助会の事業運営に対する補助や周知活動の支援を行いました。</p>
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○オンライン予約の拡充により相談しやすい環境を構築できました。課題は、労働相談窓口の認知度を向上し、さらに活用してもらうことです。今後は豊中しごと・くらしセンターや事業所訪問で周知を行うなど、相談窓口を活用してもらうことができる取り組みを進めます。</p> <p>○多様な働き方が進むなか、雇用契約や労働時間管理の手法も多様化することが予想されることから、引き続き事業所及び労働者双方に対して労働関係法令の周知・啓発に取り組みます。</p> <p>○豊中市中小企業勤労者互助会の持続的な運営のため、周知活動を支援します。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	労働相談窓口 相談内容件数	担当課調べ	件	653	689	500	数値	
	考え方、定義、算出方法など	相談内容ごとの件数を合算したもの。受付延べ人数とは異なる。							
2	参考	中小企業勤労者互助会会員数	担当課調べ	人	1,266	1,278	1,303	数値	
	考え方、定義、算出方法など	年度末時点の中小企業勤労者互助会会員数							
3	参考	働き方アドバイザー派遣制度派遣回数	担当課調べ	回	4	7	2	数値	
	考え方、定義、算出方法など	年度内にアドバイザー派遣を実施した回数							
4	参考	労働会館 利用人数	担当課調べ	人	37,249	31,817	28,653	数値	
	考え方、定義、算出方法など	但し、労働会館は令和4年度末で廃止予定							
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	□国の法律・政令・省令、計画等	
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市訴訟等に係る資金の貸付けに関する条例、豊中市労働相談窓口実施要綱、豊中市働き方アドバイザー派遣制度要綱など

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	21,350	人件費（参考）	10,530	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	22,120	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	19,063		地方債	0
	残額	3,057		その他 特定財源	2,227
	執行歩合	86.18%		一般財源	16,836

	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		中小企業勤労者互助会事業【継続】	5,520	0	0	5,520	01	労働総務費
	労働啓発事業【完了】	0	0	0	0	01	労働総務費	
	労働相談啓発業務【継続】	4,794	0	0	4,794	01	労働総務費	
	労働会館施設管理【継続】	8,658	0	0	6,522	01	労働会館費	
	労働会館施設運営【継続】	91	0	0	0	01	労働会館費	



2-2 保健・医療の充実

自身の心身の健康に関心をもって発病や重症化の予防を促進するよう、それを支える保健・医療体制の質の向上に取り組みます。

施策の方向性・主な取組み	事務事業数
事務事業名称	担当課
(1)こころと体の健康管理・予防対策を進めます	11事業
①生活習慣病対策の推進	
②疾病の早期発見や早期治療の促進	
③メンタルヘルス、自殺予防対策の推進	
④薬物乱用防止対策の推進	
各種統計調査事業	福祉部 福祉事務所
健康政策の推進事業	健康医療部 健康政策課
健診(検診)事業	健康医療部 健康政策課
予防接種事業	健康医療部 保健予防課
健康被害等対策事業	健康医療部 保健予防課
感染症予防事業	健康医療部 保健予防課
精神保健事業	健康医療部 保健予防課
難病患者支援事業	健康医療部 保健予防課
保健センター管理事業	健康医療部 母子保健課
公害健康被害予防事業	健康医療部 母子保健課
コロナ健康支援事業	健康医療部 コロナ健康支援課
(2)生活衛生の確保を図ります	4事業
①感染症予防対策の推進	
②食の安全確保	
火葬場等運営管理事業	福祉部 地域共生課
狂犬病予防・動物愛護事業	健康医療部 衛生管理課
衛生対策指導事業	健康医療部 衛生管理課
害虫等への対策	都市基盤部 維持修繕課

(3)地域医療の充実を図ります	3事業
①医療連携の推進	
②在宅医療の推進	
医薬安全事業	健康医療部 健康政策課
地域保健医療の推進	健康医療部 健康政策課
高齢者保健・介護連携事業	健康医療部 健康政策課

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	各種統計調査事業	区分	継続
施策の方向性	(1) ころと体の健康管理・予防対策を進めます	総合計画掲載ページ	58
担当部局・課	330500 福祉部・福祉事務所		
関連部局・課	340100 健康政策課		

事業概要	○保健、医療、福祉、年金、所得等国民生活の基礎的事項を調査し、厚生労働行政の企画及び運営に必要な基礎資料を得るために、国が各種調査を福祉事務所に委託するものです。 (国庫委託事業)
当該年度の実績	○各種調査の実施により、国の厚生労働行政の企画立案に寄与します。令和4年度は大規模調査の年度であり83世帯の調査を調査員と市担当者で連携して行いました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○令和4年度から、従前からの対面による調査票の回収と郵送に加えて、インターネット回答が試行されました。厚生労働行政の企画及び運営に必要な基礎資料となるため、厚生労働省から示された事業実施の手順に沿って進めます。
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	調査世帯数	担当課調査	世帯	0	66	83	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	統計法
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位: 千円)

予算・決算額等	予算額 (当初)	489	人件費 (参考)	1,620			
	流用増減額 (予備費充当用含む)	0	公債費 (参考)	0			
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	489	財源内訳 の	国・府支出金	370		
	決算額	369		地方債	0		
	残額	120		その他 特定財源	0		
	執行歩合	75.46%		一般財源	△1		
予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	各種統計調査事業 (福祉事務所) 【 継続】	369	370	0	△1	01	保健衛生総 務費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	健康政策の推進事業	区分	拡充
施策の方向性	(1) ところと体の健康管理・予防対策を進めます	総合計画掲載ページ	
担当部局・課	340100 健康医療部・健康政策課		
関連部局・課	340500 衛生管理課 341000 保健予防課 341500 母子保健課		

事業概要	<p>○全世代を通じた健康づくり計画の周知、計画に基づく取組みの推進を行います。令和2年3月に策定した「豊中市健康医療戦略方針」に基づき、平均寿命と健康寿命の差の縮小など、市民の健康増進活動をすすめます。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○現計画の最終評価及び新計画を策定するため、「食と健康に関するアンケート」を実施しました。発送数9,019人に対し、回収数3,327人、回収率36.9%でした。</p> <p>○豊中市健康医療戦略方針に基づき、引き続き、引き続き、血管プロジェクトを実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・減塩PR動画の作成 ・血圧計設置（市内飲食店2店） ・小学生親子対象のダンスイベント及び縄なわとびイベント等身体活動啓発の実施 ・【拡充】大阪府健活アプリ「アスマイル」の市独自ポイントとして血圧ポイントに加えウォーキングポイントの開始。 <p>○【拡充】骨髄バンクドナー助成金制度及びがん患者のためのアピアランスケア助成金制度を開始しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・骨髄バンクドナー助成金制度：実績5件 ・がん患者のためのアピアランスケア助成金制度：実績145件 ・両事業の財源としてクラウドファンディングを実施し、64,000円の寄付がありました。 <p>○市民に対し、健康増進事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康教育 37回 424人、健康相談 548回 718人、訪問指導 7人 延11回 <p>○国民健康・栄養調査を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣調査：9名、栄養摂取状況調査：10名、身体状況調査：4名 <p>○歯科疾患実態調査を実施し、10名の協力が得られました。</p> <p>○特定給食施設等研修会を現地と後日配信で実施し、36施設が参加、後日配信に34施設の申し込みがありました。</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○「食と健康に関するアンケート」を実施・分析したことで、令和5年度の新計画策定につなげることができました。次年度からの新しい健康づくり計画に基づき各事業を実施することで、市民の健康づくりを推進していきます。</p> <p>○小学生親子対象の運動イベントにより、30～40歳代の働き盛り世代への身体活動の必要性を啓発できました。</p> <p>○骨髄バンクドナー・がん患者のためのアピアランスケア助成制度の創設により、骨髄バンクドナーの登録促進やがん患者のがん治療と社会参加の両立につながりました。また、クラウドファンディングの実施により、両制度の周知ができました。</p> <p>○健康教育、健康相談、訪問指導を実施することで、市民の健康を増進することができました。</p> <p>○特定給食施設等研修会の実施について、コロナ禍での実施方法が確立できました。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	健康寿命と平均寿命の差（男性）	大阪府健康推進室データ	歳	1.9			数値	縮小
	考え方、定義、算出方法など	目標：前年度より縮小							
2	参考	健康寿命と平均寿命の差（女性）	大阪府健康推進室データ	歳	4			数値	縮小
	考え方、定義、算出方法など	目標：前年度より縮小							
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	健康増進法、健康日本21（第2次）
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府健康増進計画、大阪府受動喫煙防止条例
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市健康づくり計画、豊中市健康及び安全のための総合的なたばこ施策の推進に関する条例

【決算説明情報】

（単位：千円）

予算・決算額等	予算額（当初）	66,209	人件費（参考）	63,585	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△2,410	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	67,174	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	2,335
	決算額	50,904		地方債	0
	残額	16,270		その他 特定財源	747
	執行歩合	75.78%		一般財源	47,822

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計	
						（コード）	目
	保健医療審議会【継続】	186	0	0	186	01	保健衛生総務費
	健康政策の推進【拡充】	16,108	1,141	0	14,220	01	保健衛生総務費
	健康づくり推進委員会事業【継続】	395	0	0	395	01	生活習慣病予防費
	健康教育（成人保健）【継続】	70	46	0	24	01	保健センター費
	健康相談（成人保健）【継続】	0	0	0	0	01	保健センター費
	訪問指導事業（成人保健）【継続】	313	166	0	147	01	保健センター費
	保健所車両管理【継続】	1,261	0	0	1,261	01	保健所費
	各種統計調査事業（保健衛生関係）【継続】	982	982	0	0	01	保健衛生総務費
	食育関連事業【継続】	2,931	0	0	2,931	01	生活習慣病予防費
	特定給食指導等事業【継続】	63	0	0	63	01	保健衛生総務費
	保健所施設管理【継続】	18,387	0	0	18,387	01	保健所費
	保健所整備事業【新規】	10,208	0	0	10,208	01	保健所整備費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	健診（検診）事業	区分	継続
施策の方向性	(1) ところと体の健康管理・予防対策を進めます	総合計画掲載ページ	
担当部局・課	340100 健康医療部・健康政策課		
関連部局・課	342000 保険給付課		

事業概要	<p>○糖尿病、高血圧等の生活習慣病を早期発見し適切な保健指導や治療につなげること及びがんの早期発見・早期治療につなげることで、健康の保持増進及び生涯を通じた健康づくりを図ります。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○各けんしん受診者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診：14,343人 ・市民健診：2,049人 ・胃がん検診：4,481人 ・大腸がん検診：21,904人 ・肺がん検診：12,772人 ・子宮がん検診：14,198人 ・乳がん検診：6,318人 ・前立腺がん検診：8,443人 ・【拡充】歯科健診：7,730人 妊産婦歯科健診1,337人 ・骨粗鬆症検診：3,448人 ・肝炎ウイルス検査：2,752人 <p>○各けんしん未受診勧奨 特定健診、各がん検診、骨粗しょう症検診の未受診者に対し、年度途中に受診勧奨通知を送付</p> <p>○各がん検診要精密検査者フォロー事業 がん検診の要精密検査者で受診結果が返却されていない者について、精密検査結果の把握と未受診者への受診勧奨を実施</p> <p>○国民健康保険 保健事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導：利用者数276人 ・糖尿病性腎症重症化予防事業：保健指導実施者13人 ・異常値放置者受診勧奨事業：587名に受診勧奨文書送付、電話による受診勧奨を実施
---------	---

当該年度の成果・課題	<p>○各けんしんを実施することで、市民の健康の増進につながりました。</p> <p>○各けんしんの啓発及び未受診勧奨を行うことで、前年度より受診率は微増しました。しかし、各種けんしんの受診率が全国及び大阪府内の市町村と比べ低いことから、けんしん未受診者に対する健康意識調査を行い、けんしん受診の実態把握と効果的な受診勧奨の仕組みづくりを調査・検討します。</p> <p>○がん検診精密検査受診率は大腸がん検診が低いと、引き続き結果の把握と未受診者フォローに努めます。</p> <p>○国民健康保険の保健事業を実施することで、被保険者の疾患の重症化予防につながりました。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	特定健康診査受診率	法定報告	%	23.7	25.5		数値	60
	考え方、定義、算出方法など	翌年11月確定							
2	参考	特定保健指導実施率	法定報告	%	17.4	16.5		数値	60
	考え方、定義、算出方法など	翌年11月確定							
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	健康増進法、高齢者の医療の確保に関する法律、国民健康保険法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	第2期豊中市国民健康保険保健事業実施計画、第3期豊中市特定健康審査等実施計画、他

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	858,209	人件費（参考）	46,765	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	1,322	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	967,457	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	109,315
	決算額	825,079		地方債	0
	残額	142,378		その他 特定財源	0
	執行歩合	85.28%		一般財源	715,764

予算管理事業	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		市民健康診査【継続】	118,373	11,741	0	106,632	01	生活習慣病 予防費
	がん検診【継続】	459,668	7,887	0	451,781	01	生活習慣病 予防費	
	骨粗しょう症検査【継続】	20,795	387	0	20,408	01	生活習慣病 予防費	
	歯科健康診査【拡充】	49,721	1,474	0	48,247	01	生活習慣病 予防費	
	特定健康診査・特定保健指導【継続】	171,322	87,826	0	83,496	11	特定健康診 査等事業費	
	特定健康診査事業等嘱託等（一般管理費）【継続】	5,200	0	0	5,200	11	一般管理費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	予防接種事業	区分	継続
施策の方向性	(1) ことろと体の健康管理・予防対策を進めます	総合計画掲載ページ	58
担当部局・課	341000 健康医療部・保健予防課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○A類疾病においては伝染のおそれがある疾病の発生及び蔓延を予防するため、B類疾病ではインフルエンザ、高齢者の肺炎球菌の発病及び重症化を予防するため、感受性者対策として予防接種を行い公衆衛生の向上及び健康の保持増進に寄与します。</p> <p>○また、予防接種法に定める定期の予防接種を受けたことにより健康被害が生じた場合に、迅速な救済を図ります。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○B類疾病ではインフルエンザ、高齢者の肺炎球菌の発病及び重症化を予防するため、「高齢者のインフルエンザ予防接種」「高齢者の肺炎球菌予防接種」を個別接種方式により実施しました。</p> <p>○A類疾病では、伝染のおそれがある疾病の発生及び蔓延を予防するため、感受性者対策として予防接種を行い、公衆衛生の向上及び健康の保持増進に寄与することを目的として「日本脳炎」「2種混合（ジフテリア・破傷風）」「麻しん・風しん」「結核（BCG）」「ヒトパピローマウイルス（子宮頸がん）」「インフルエンザ菌b型（ヒブ）」「小児用肺炎球菌」「4種混合（ジフテリア・百日せき・急性灰白髄炎（ポリオ）・破傷風）」「水痘」「B型肝炎」「ロタウイルス感染症」を個別接種方式により実施しました。また緊急風しん抗体検査事業及び風しん第5期予防接種の実施期間が令和7年3月末までに延長されたため、昭和37年（1962年）4月2日から昭和54年（1979年）4月1日生まれの男性に対して、引き続き風しんの抗体検査、定期予防接種を無料で実施しました。</p> <p>○予防接種法に定める定期の予防接種及び臨時の予防接種を受けたことにより健康被害が生じた場合に迅速な救済を図ることを目的に、大阪府を通じて国に新規の進達をするとともに、既認定者に対して、治療に必要な医療費及び障害年金など、健康被害補償を行いました。</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○新型コロナウイルスワクチン接種による健康被害救済制度の申請件数が増えてきている中、長期の入院の事例などもみられ、予防接種健康被害調査委員会や国への進達に向けた準備として作成する事例概要等により業務が急増しています。</p> <p>○厚生科学審議会における審議内容など、国の動向を注視し、新規ワクチンの定期接種化などについて遅れないように実施します。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	インフルエンザ接種率	出典：担当課調査	%	67	59	63	数値	
	考え方、定義、算出方法など								
2	参考	高齢者の肺炎球菌接種率	出典：担当課調査	%	25	20	18	数値	
	考え方、定義、算出方法など		平成31年度から平成36年度までの5年間、65歳から100歳まで5歳刻みの方を対象とする経過措置が延長						
3	参考	麻しん及び風しん（MR）接種率	出典：担当課調査	%	96	93	93	数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4	参考	結核（BCG）接種率	出典：担当課調査	%	103	101	100	数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5	参考	ロタ接種率	出典：担当課調査	%	79	98	98	数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令・計画等	予防接種法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	執行機関の付属機関に関する条例、豊中市予防接種健康被害調査委員会規則、接種事故災害補償要綱他

【決算説明情報】

(単位: 千円)

予算・決算額等	予算額 (当初)	1,905,281	人件費 (参考)	22,923	
	流用増減額 (予備費充当用含む)	3,015	公債費 (参考)	0	
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	2,196,009	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	160,716
	決算額	1,441,178		地方債	0
	残額	754,831		その他 特定財源	68,927
	執行歩合	65.63%		一般財源	1,211,535

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
健康被害補償【継続】	8,393	6,230	0	2,163	01	感染症予防費
定期の予防接種 (A類疾病) 【継続】	1,039,777	72,012	0	922,627	01	感染症予防費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	健康被害等対策事業	区分	継続
施策の方向性	(1) ところと体の健康管理・予防対策を進めます	総合計画掲載ページ	58
担当部局・課	341000 健康医療部・保健予防課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○公害健康被害の補償等に関する法律に基づき、大気汚染による健康被害者に対して補償給付等を行うため、認定の更新及び等級の見直し等を決定するとともに、被認定者の認定疾病にかかる医療費について、医療機関からの診療報酬請求の適否を諮ります。</p> <p>○被爆者援護事業申請受付、肝炎医療費助成申請受付、石綿健康被害救済給付申請受付を実施することにより、市民の健康保持を図ります。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○公害健康被害認定審査会において被認定者にかかる認定の更新及び等級の見直し等を決定するとともに、公害健康被害の補償等に関する法律の規定による療養の給付にかかる診療報酬明細書の審査を行い、被認定者または遺族に対して補償給付費の支給を行うことにより健康被害にかかる損害を補填しました。</p> <p>○公害健康被害保健福祉事業では、家庭療養指導として公害健康被害被認定者を看護師が家庭訪問し（コロナ禍で訪問できない場合は電話面談を実施し）、保健指導を行いました。</p> <p>○知識普及事業として環境再生保全機構が作成する「すこやかライフ」を認定患者に送付したほか、公害健康被害被認定者のインフルエンザ予防接種費用を助成しました。</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○被認定者の高齢化により、死亡した人への手紙の案内が増加し、更新手続きなどを自分で行うことが難しい人が増えています。被認定者の減少に伴い、事務量が減少していくため、より一層の効率的な事業の実施を検討します。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	被認定者数	担当業務資料	人	140	136	133	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	診療報酬支給件数	担当業務資料	件	2,163	2,066	1,985	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3	参考	家庭療養指導件数	担当業務資料		241	355	316	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4	参考	肝炎医療費助成申請数	担当課調査	件	217	387	5月末頃集計	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5	参考	石綿健康被害申請数	担当課調査	件	1	1	6	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	公害健康被害の補償等に関する法律
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市公害健康被害認定審査会条例、豊中市公害健康被害認定審査会規則、他

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	250,328	人件費（参考）	8,424			
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0			
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	250,328	国・府支出金	6,372			
	決算額	167,734	地方債	0			
	残額	82,594	財源内訳の その他 特定財源	160,878			
	執行歩合	67.01%	一般財源	484			
予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	公害健康被害認定審査会事業【継続】	1,087	1,071	0	16	01	公害健康被害補償費
	公害健康被害診療報酬審査会事業【継続】	1,210	777	0	433	01	公害健康被害補償費
	公害健康被害補償業務【継続】	165,187	4,453	0	0	01	公害健康被害補償費
	公害健康被害保健福祉事業【継続】	144	0	0	0	01	公害保健福祉及び予防保健衛生総務費
	地域保健医療等申請受付進達業務【継続】	106	71	0	35	01	保健衛生総務費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	感染症予防事業	区分	継続
施策の方向性	(1) ところと体の健康管理・予防対策を進めます	総合計画掲載ページ	58
担当部局・課	341000 健康医療部・保健予防課		
関連部局・課			

事業概要	<p>感染症の発生情報を収集し、予防策について啓発し、感染拡大防止を図ります。結核医療費公費負担、検診、患者支援等の結核予防事業を実施することにより、結核の発生の予防・まん延の防止につなげ、市民の健康保持を図ります。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○HIV・梅毒の検査は月2回定例で実施していましたが、新型コロナウイルス感染拡大予防とその対応のため、4回（8月、9月）を中止し、合計18回実施しました（全22回予定）。定員は12名の予約制とし、受検者数は149人で、昨年度より17人増加しました。また、6月、12月に保健所Twitterや阪急豊中駅前・千里ボボ前に横断幕掲出、啓発ポスター掲示を市内医療機関、阪急・北大阪急行の駅に行い、HIV・AIDSについての普及啓発に努めました。中学生や高校生向けの啓発はできませんでしたが、母子保健課とコロナ禍における市内中学校での性教育の実態を養護教諭へアンケート調査を行いました。</p> <p>○高齢者施設等での発生については福祉部と電子申込システムを利用した報告システムを構築しました。大阪府のクラスター対応強化チームや市立豊中病院の感染症管理看護師による感染対策指導を活用してクラスター発生防止や感染拡大防止に努めました。</p> <p>○結核対策について、新型コロナウイルス感染症対応のため結核の医療機関向け研修会は実施できませんでしたが、介護予防センターにレントゲン車を配備して健診と講座で結核予防啓発を行いました。また、外国出生の結核予防啓発として豊中市で暮らす外国人状況をよくな国際交流センターとワークショップを行いました。</p>
---------	--

当該年度の成果・課題	<p>○全国的に梅毒が増加していますが、場所、人員体制の関係で大幅に検査体制を確保することはできませんでしたが、今後はHIV・梅毒の検査体制を充実させるとともに、受検しやすい方法を検討し実施します。中高生向けの性教育が未達でしたが、アンケート結果をもとにおよこ保健課、養護教諭と共に今後の方向性を検討していきます。</p> <p>○高齢者施設等はクラスター発生が起こりやすく重症化しやすいことから、5類になることでより一層地域での感染対策が必要となります。陽性者率の高い高齢者施設等への感染対策指導や感染症リンクワーカーの育成講習計画を作成していきます。</p> <p>○結核罹患患者には、生活基盤の不安定さ、一人暮らしなどの背景に服薬支援が困難な人が増えていることから、薬剤師や訪問看護師による地域DOTSを進めていきます。</p> <p>○感染症の予防啓発として、予防週間など記念日にPRしてはいますが、結核は高齢者や外国人、HIV・梅毒は若年層に多いことから、情報提供や啓発については、若年者や高齢者、外国人等対象に合わせた取り組みを進めていきます。また、コロナ後は人流が活発化するため、感染症発生時の迅速な対応と予防啓発として、感染症情報メールやSMS、ホームページを活用して発信し、感染拡大防止を図ります。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	感染症患者の発生届出数	感染症発生動向調査事業	件	20	13	34	数値	20
	考え方、定義、算出方法など							年	2021
2	目標	HIV・梅毒検査者数	豊中市保健所事業概要	人	34	132	149	数値	250
	考え方、定義、算出方法など							年	2021
3	目標	結核罹患率（人口10万対）	結核登録者調査年報	-	15.4	12.2	10.5	数値	15
	考え方、定義、算出方法など							年	2021
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府風しんワクチン等接種事業費補助金交付要綱
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市感染症診査協議会条例 先天性風しん症候群予防のための風しん予防接種費用助成事業実施要綱

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	59,098	人件費（参考）	68,202			
	流用増減額 （予備費充当用含む）	517	公債費（参考）	0			
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	59,615	財源内訳の	国・府支出金	27,502		
	決算額	41,811		地方債	0		
	残額	17,804		その他 特定財源	27		
	執行歩合	70.14%		一般財源	14,282		
	予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)
結核予防事業【継続】		18,842	17,515	0	1,300	01	感染症予防費
感染症予防事業【継続】		22,969	9,987	0	12,982	01	感染症予防費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	精神保健事業	区分	拡充
施策の方向性	(1) ことろと体の健康管理・予防対策を進めます	総合計画掲載ページ	58
担当部局・課	341000 健康医療部・保健予防課		
関連部局・課	160000 人権政策課 300000 市民協働部 330000 福祉部 360000 こども未来部 560000 消防局 600000 教育委員会		

事業概要	地域精神保健福祉業務の中心的な行政機関として、大阪府ことろの健康総合センター、精神科等医療機関、福祉及び教育、雇用労働分野等との連携協力のもとに、精神疾患（精神障害）の予防、早期発見・早期治療、社会復帰及び自立と社会経済活動への参加の促進を図るとともに、地域のメンタルヘルスの向上を図ります。
------	--

当該年度の実績	<p>1. リテラシー向上とネットワーク構築の推進</p> <p>①調整会議やネットワーク会議専門部会を各1回実施</p> <p>②研修や市民向け講演会・講座等をオンラインも活用して実施</p> <p>③「食と健康に関するアンケート」にてメンタルヘルスに関する調査を実施</p> <p>2. 相談支援体制の充実とスキルアップ、メンタルヘルスの理解の促進</p> <p>①「コロナことろのケアダイヤルとよなか」の継続</p> <p>②【拡充】市職員向けに、市民のことろのサポーターになるための入門、初級、中級、上級編研修を企画・実施し、4,318名が受講</p> <p>③TwitterやInstagram、デジタルサイネージ等様々な媒体を活用し、周知啓発を実施</p> <p>3. 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の推進</p> <p>多職種チームによる訪問支援事業14件、措置入院者等退院支援事業6件を実施</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>1. リテラシー向上とネットワーク構築の推進</p> <p>メンタルヘルス計画において、引き続きリテラシーの向上とネットワークの構築、拡充に向け、多機関多職種と連携・協働し取り組みを行います。市民アンケート調査結果などをもとにメンタルヘルス計画の見直しを行います。</p> <p>2. 相談支援体制の充実とスキルアップ、メンタルヘルスの理解の促進</p> <p>「コロナことろのケアダイヤルとよなか」を継続し、市民や事業所、職員がことろのサポーターとなれるように入門、初級、中級、上級編研修を実施します。</p> <p>3. 地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の推進</p> <p>多職種チームによる訪問支援事業、措置入院者等退院支援事業等を通じた取り組みを行います。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	精神保健福祉相談延べ件数	市実績集計	件	6,251	4,843	5,582	数値	5,000
		考え方、定義、算出方法など						年	2021
2	参考	自殺未遂者相談支援を含む自殺相談延べ件数（1の再掲）	市実績集計	件	318	271	470	数値	300
		考え方、定義、算出方法など						年	2021
3	参考	知識の普及事業（教室、講演会、研修）参加者延べ人数	市実績集計	人	738	1,308	6,626	数値	3000
		考え方、定義、算出方法など						年	2021
4	参考	多職種チームによる訪問支援事業支援者数	市実績集計	件	19	14	14	数値	24
		考え方、定義、算出方法など						年	2021
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、地域保健法、自殺対策基本法、心身喪失者等医療観察法等
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府保健医療計画
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	健康づくり計画、障害者長期計画、豊中市メンタルヘルス計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	21,202	人件費（参考）	51,111	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	21,202	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	8,760
	決算額	17,477		地方債	0
	残額	3,725		その他 特定財源	400
	執行歩合	82.43%		一般財源	8,317

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計	目
					(コード)	
精神保健事業【拡充】	17,477	8,760	0	8,317	01	保健衛生総務費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	難病患者支援事業	区分	継続
施策の方向性	(1) ことろと体の健康管理・予防対策を進めます	総合計画掲載ページ	58
担当部局・課	341000 健康医療部・保健予防課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○難病法に基づく基本方針を踏まえ、申請の受付、進達業務、相談体制の強化を図るとともに医療機関をはじめ関係機関との情報共有や協力体制を推進し、難病の理解促進及び災害対応を視野に入れた療養支援体制の構築を図ります。</p>
当該年度の実績	<p>○個別支援の充実 新規申請患者は全員、更新申請患者は病状変化や相談ニーズがある患者に面談や電話を行い、状況確認とニーズ把握に努めました。必要に応じて言語聴覚士や作業療法士、難病患者就職サポーターと連携し、個々のニーズに応じた療養生活の支援を行いました。また、豊中難病患者連絡会懇談会の事務局を担当し、医療や福祉、教育等の分野での課題を把握し検討しました。</p> <p>○災害対応 申請時に災害への備えについて確認し、平常時からの準備について情報提供しました。また、在宅人工呼吸器常時使用者には「防災プラン」の作成や見直しを行い、災害時の安否確認方法や避難行動について確認し、関係機関と情報共有しました。指定難病・小児慢性特定疾病以外の在宅人工呼吸器常時使用者についても「防災プラン」の作成や見直しを行いました。</p> <p>○難病に関する情報提供と理解促進 関係機関に対しては、オンライン研修会を2回開催しました。市民に対しては、難病患者による体験談動画について掲載したクリアファイルを市内の中学校・高校等に配布し、無関心層への啓発に努めました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○個別支援の充実 難病患者の多様なニーズを把握できるよう、医療的ケア内容についてより具体的に確認を行い、個別支援の充実を図ります。</p> <p>○災害対応 引き続き在宅人工呼吸器常時使用者について「防災プラン」の作成や見直しを行うとともに、それ以外の医療的ケアが必要な難病患者についても、個々の状況に合わせた災害発生時の対策を検討します。</p> <p>○難病に関する情報提供と理解促進 関係機関向け研修会はオンライン開催の希望が多く、今後もオンライン形式で開催します。市民に対しては、普段難病について知る機会が少ない層を対象に普及啓発を行います。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	療養相談件数（訪問）	担当課	件	169	171	205	数値	400
		考え方、定義、算出方法など						年	2023
2	参考	療養相談件数（面接）	担当課	件	58	64	622	数値	50
		考え方、定義、算出方法など						年	2023
3	参考	療養相談件数（電話）	担当課	件	1,906	2,521	1,843	数値	2,500
		考え方、定義、算出方法など						年	2023
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	難病の患者に対する医療等に関する法律、難病対策要綱
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府衛生行政事務に係る事務処理の特例に関する条例、大阪府特定疾患に係る医療費
	□豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額 (当初)	6,994	人件費 (参考)	50,625																																																																																																																																																																										
	流用増減額 (予備費充当用含む)	2,057	公債費 (参考)	0																																																																																																																																																																										
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	9,051	財源内訳の	国・府支出金	4,024																																																																																																																																																																									
	決算額	8,371		地方債	0																																																																																																																																																																									
	残額	680		その他特定財源	0																																																																																																																																																																									
	執行歩合	92.49%		一般財源	4,347																																																																																																																																																																									
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>予算管理事業名称</th> <th>決算額</th> <th>国・府支出金</th> <th>地方債</th> <th>一般財源</th> <th>会計(コード)</th> <th>目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>難病患者療養生活支援事業【継続】</td> <td>4,361</td> <td>1,270</td> <td>0</td> <td>3,091</td> <td>01</td> <td>保健衛生総務費</td> </tr> <tr> <td>難病法申請等受付進達業務【継続】</td> <td>4,010</td> <td>2,754</td> <td>0</td> <td>1,256</td> <td>01</td> <td>保健衛生総務費</td> </tr> <tr><td> </td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>							予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計(コード)	目	難病患者療養生活支援事業【継続】	4,361	1,270	0	3,091	01	保健衛生総務費	難病法申請等受付進達業務【継続】	4,010	2,754	0	1,256	01	保健衛生総務費																																																																																																																																																		
予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計(コード)	目																																																																																																																																																																								
難病患者療養生活支援事業【継続】	4,361	1,270	0	3,091	01	保健衛生総務費																																																																																																																																																																								
難病法申請等受付進達業務【継続】	4,010	2,754	0	1,256	01	保健衛生総務費																																																																																																																																																																								
予算管理事業																																																																																																																																																																														

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	保健センター管理事業	区分	新規
施策の方向性	(1) 心と体の健康管理・予防対策を進めます	総合計画掲載ページ	58
担当部局・課	341500 健康医療部・母子保健課		
関連部局・課			

事業概要	○保健センターの適切な運営のため、施設の管理・貸室、車両管理等を行います。
当該年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ○3保健センター（中部、庄内、千里）施設の修繕等維持管理を行いました。 ○貸室事業を実施しました。 ○保健センター施設で使用する車両（自動車6台、自転車）の維持管理を行いました。 ○庄内コラボセンター新設に伴い、庄内保健センターの移転業務を行いました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○保健センターを適切に運営しました。
------------------------------	--------------------

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	貸室件数	担当課調査	件	605	870	908	数値	
	考え方、定義、算出方法など	中部保健センター、庄内保健センター、千里保健センターの貸室件数。							
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	豊中市保健センター条例、豊中市保健センター条例施行規則	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	39,714	人件費（参考）	8,551	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	39,714	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	38,768		地方債	0
	残額	946		その他特定財源	10,471
	執行歩合	97.62%		一般財源	28,297

予算管理事業	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		保健センター車両管理【継続】		1,783	0	0	1,783	01
	保健センター施設管理【継続】		36,026	0	0	25,555	01	保健センター費
	（仮称）南部コラボセンター準備事業（母子保健課）【新規】		959	0	0	959	01	保健センター費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	公害健康被害予防事業	区分	新規
施策の方向性	(1) 心と体の健康管理・予防対策を進めます	総合計画掲載ページ	58
担当部局・課	341500 健康医療部・母子保健課		
関連部局・課			

事業概要	母子保健事業へ統合
当該年度の実績	

当該年度の 成果・課題 解決できた課題・ 今後の方向性	
--	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考							数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	0	人件費（参考）	0	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	0	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	0		地方債	0
	残額	0		その他 特定財源	0
	執行歩合	%		一般財源	0

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	コロナ健康支援事業	区分	継続
施策の方向性	(1) ところと体の健康管理・予防対策を進めます	総合計画掲載ページ	
担当部局・課	340300 健康医療部・コロナ健康支援課		
関連部局・課	332000 長寿安心課 340100 健康政策課 341000 保健予防課		

事業概要	<p>○コロナ禍に起因する「健康二次被害」「フレイル」「認知機能の低下」を保健医療的な側面から予防します。</p> <p>○コロナ後遺症の回復支援を行い、市民の健康を守ります。</p> <p>○保健・医療と福祉の連携を強化します。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○健康二次被害・フレイル普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ツイッター、動画配信、広報紙での特集及び折込、出前講座、WEB広告など、さまざまな手法や機会を活用してコロナフレイル啓発を行い、フレイル認知度向上に取り組みました。 ・介護予防センター（6か所、回収数586件）や薬局（87か所、回収数1,423件）でフレイルチェックを行えるよう調整。 ・市主催・出展イベントを活用したフレイルチェックの実施（計37回、回収数779件） ・ヒアリングフレイルの早期発見のため、介護予防センターでアプリを活用してチェックを行えるよう調整したほか、市主催・出展イベントでもチェックを実施（計8回）。医師会と協力医療機関の調整や、ユニバーサル・サウンドデザインと事業連携協定を締結しました。 ・市公式LINEによる健康アンケートの実施（回答数：7,072件、有効回答率21.3%）。 <p>○運動や社会参加の機会拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩行姿勢測定システムを活用した市主催イベントを行いました（会場：イオン豊中緑丘、庄内WESTホール、千里コラボ、エキスタとよなか各2回 計8回、参加数：167人）。 ・補助金による運動を始めるきっかけとなる事業の実施（10事業、延参加人数586人）。 ・親子でなわとびエクササイズを実施（計3回、参加数：82組184人、申込数474組）。 ・介護予防センターと調整しとよなか健康大学の出前講座を行いました（49回、759人）。 ・とよなか健康出張セミナーの実施（実施数：10回、参加数：122人）。 ・イベントでの体調管理啓発ポスターの掲示、ボディメンテの提供（大塚製薬と連携）。 <p>○コロナ健康支援体制強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ健康支援相談窓口を設置し、相談支援を行いました。（相談件数：523件） ・医師会及び地域包括支援センターと連携し、フレイル処方箋の仕組みを構築し、7医療機関でモデル実施を行いました。また、医師会向け研修会を開催しました。 ・大阪大学と株式会社Buzzreachとの公民学連携で、市内の全陽性者約27,000人を対象としたコロナ後遺症に関するアンケート調査を行い、共同記者会見で結果を公表しました。
---------	--

当該年度の成果・課題	<p>○健康二次被害・フレイル普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広く周知することでフレイルについて知ってもらうきっかけとなりました。また、2,700人を超える市民にフレイルチェックを実施し、健康を意識してもらうことができました。集計結果によると、若い世代にフレイル傾向が表れていることが判明しました。次年度は健康状態の気づきとなるよう、市公式LINEを活用したフレイルチェックを実施する予定です。 ・アプリを活用したヒアリングフレイルのチェックを行うことで、簡易に自身の聴力を知ってもらうきっかけとなりました。軽度難聴疑いの人へは、耳鼻咽喉科受診を勧奨しました。 ・フレイルの認知度向上のため若年層や健康無関心層への効果的なアプローチが課題です。 <p>○運動や社会参加の機会拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市主催イベントや補助金などにより、市民に運動や社会参加の機会提供ができました。 ・体組成計を活用したイベントで、自身の健康状態を客観的に知る機会となりました。 ・より多くの人へ参加いただけるよう、事業の魅力さをさらにPRすることが課題です。次年度はターゲット層に合わせた、事業のPRを実施していきます。 <p>○コロナ健康支援体制強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ健康支援相談窓口では、健康課題に対し専門職による相談支援ができました。 ・後期高齢者医療健診時にフレイル状態にある高齢者を、医療機関から地域包括支援センターへつなげるフレイル処方箋の仕組みを構築し、モデル事業を実施しました。 ・今後は事業に参加する医療機関を順次拡大していくことと、個別のフレイル対策に応じた取り組みメニューの充実が課題であり、専門職による訪問指導など事業を検討していきます。
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	「フレイル」の認知度	LINEアンケート	歳		25		数値	35
								年	2024
考え方、定義、算出方法など		LINEアンケートを活用した市独自調査							
2								数値	
								年	
考え方、定義、算出方法など									
3								数値	
								年	
考え方、定義、算出方法など									
4								数値	
								年	
考え方、定義、算出方法など									
5								数値	
								年	
考え方、定義、算出方法など									

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	37,395	人件費（参考）	32,230	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△498	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	39,731	財源内訳の	国・府支出金	187
	決算額	13,171		地方債	0
	残額	26,560		その他 特定財源	12,923
	執行歩合	33.15%		一般財源	61

予算管理事業	予算管理事業名称		国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	決算額						
	コロナフレイル啓発事業【新規】	4,241	0	0	0	01	保健衛生総務費
	コロナフレイル予防事業【新規】	1,781	0	0	0	01	保健衛生総務費
	支援体制強化事業【新規】	4,103	0	0	0	01	保健衛生総務費
	高齢者保健・介護連携事業（コロナ健康支援課）【新規】	361	0	0	0	16	健康増進事業費
	介護予防把握事業（コロナ健康支援課）【新規】	491	187	0	61	17	一般介護予防事業費
	コロナフレイル啓発事業【新規】	0	0	0	0	01	保健衛生総務費
	コロナ健康支援事業補助金【新規】	2,194	0	0	0	01	保健衛生総務費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	火葬場等運営管理事業	区分	継続
施策の方向性	(2)生活衛生の確保を図ります	総合計画掲載ページ	59
担当部局・課	330100 福祉部・地域共生課		
関連部局・課	262500 資産管理課		

事業概要	<p>○公衆衛生の維持・向上のため、豊中市立火葬場の管理運営を行うとともに市内の死獣及び胞衣などの回収及び火葬を執行します。また、豊中市大字柴原ほか三大字財産区墓地の維持管理と財産区以外で市が底地を所有する墓地を適正に管理します。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○豊中市立火葬場の管理運営や市内の死獣及び胞衣などの回収及び火葬を執行により公衆衛生を維持・向上しました。 ○豊中市大字柴原ほか三大字財産区墓地の維持管理と財産区以外で市が底地を所有する墓地を適正に管理しました。</p>
---------	---

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○火葬場の管理運営については、指定管理者のノウハウを活用し、安定した火葬執行ができました。引き続き、施設・設備の日常点検、定期的な保全を実施することで、安定的かつ継続的なサービスの提供を行います。</p>
---	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	火葬件数	担当課調べ	件	3,940	4,146	4,377	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	死獣処理件数	担当課調べ	件	2,565	2,978	3,059	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	墓地、埋葬等に関する法律、同施行規則、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、他
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市立火葬場条例、同施行規則、廃棄物の減量及び適正処理に関する条例、他

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	162,243	人件費（参考）	3,483	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	15,579	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	171,278	財源内訳 の	国・府支出金	0
	決算額	168,222		地方債	0
	残額	3,056		その他 特定財源	57,498
	執行歩合	98.22%		一般財源	110,724

	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計		
						（コード）	目	
予算管理事業	墓地関係事務【継続】	683	0	0	0	55	大字柴原大字内田大字	
	死獣・胞衣等回収業務【継続】	9,563	0	0	7,677	01	胞衣等取扱所費	
	火葬場施設運営管理【継続】	157,976	0	0	103,047	01	火葬場費	
	墓地管理事業【継続】	0	0	0	0	01	保健衛生総務費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	狂犬病予防・動物愛護事業	区分	継続
施策の方向性	(2)生活衛生の確保を図ります	総合計画掲載ページ	59
担当部局・課	340500 健康医療部・衛生管理課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○狂犬病の発生を予防し、そのまん延を防止するために、狂犬病予防行政を推進します。</p> <p>○人と動物の共生する地域の実現を図るために、動物愛護行政を推進します。</p>
------	--

当該年度の実績	<p><狂犬病予防・動物愛護事業></p> <p>○犬や猫の適正飼育及び終生飼養について、ホームページやツイッターを活用し普及啓発を行いました。動物愛護週間(9月)に市庁舎ロビーで展示を行いました。</p> <p>○飼い犬登録や狂犬病予防注射済票等について、電子申込システムによる受付体制を整備した他、委託動物病院を増やしました。(19病院→26病院)</p> <p>○法改正によるマイクロチップ義務化に伴い、狂犬病予防法の特例制度の体制整備を行うとともに、動物病院などに対し制度の周知啓発を行いました。</p> <p>○災害時に、市民がペット同行避難を円滑に行うための「飼い主のための災害時マニュアル」を策定し、関係部局や市内動物病院などに周知しました。</p> <p><猫避妊去勢手術助成金交付事業></p> <p>○猫避妊去勢手術助成金について、250頭に対して助成金を交付しました。</p> <p>○クラウドファンディングを実施し、当該事業の拡充のための財源の確保を行いました。(寄付総額 1,285,000円)</p>
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p><狂犬病予防・動物愛護事業></p> <p>○市民に対し、狂犬病予防や動物愛護に関する周知啓発を行うことができました。引き続き犬や猫の適正飼育及び終生飼養の啓発を行います。</p> <p>○飼い犬登録の手続きについて、市民の利便性の向上に繋げることができました。</p> <p>○法改正によるマイクロチップ制度について、市民への制度説明や受付について滞りなく対応できるよう体制を整備することができました。</p> <p>○災害時における同行避難に関するマニュアルについて、今後は市民や飼い主に対して啓発を図ります。</p> <p><猫避妊去勢手術助成金交付事業></p> <p>○猫避妊去勢手術助成金について、市民からの申込みを受け、計250件の助成金を交付することで、活動する市民への支援に繋げることができました。</p> <p>○助成内容を拡充するために次年度もクラウドファンディングを実施し、市民にとってより利用しやすい事業になるよう取り組みます。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標/参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	猫避妊・去勢手術助成金交付件数	担当課調査	件	200	200	250	数値	200
	考え方、定義、算出方法など							年	令和4
2	目標	狂犬病予防注射済票交付数	担当課調査	件	8,893	9,016	9,005	数値	8800
	考え方、定義、算出方法など							年	令和4
3	参考	犬の収容頭数	担当課調査	頭	6	2	5	数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
4	参考	猫の収容頭数	担当課調査	頭	19	14	7	数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	狂犬病予防法、動物の愛護及び管理に関する法律、狂犬病予防法施行令、狂犬病予防法施行規則
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府動物の愛護及び管理に関する条例
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市狂犬病予防法施行規則、豊中市動物の愛護及び管理に関する規則等

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	26,735	人件費（参考）	29,970			
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△6	公債費（参考）	0			
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	26,729	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	100		
	決算額	24,893		地方債	0		
	残額	1,836		その他 特定財源	8,985		
	執行歩合	93.13%		一般財源	15,808		
予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	猫避妊去勢手術助成金交付事務【継続】	2,097	0	0	812	01	保健衛生総務費
	狂犬病予防・動物愛護事業【継続】	22,796	100	0	14,996	01	保健衛生総務費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	衛生対策指導事業	区分	継続
施策の方向性	(2)生活衛生の確保を図ります	総合計画掲載ページ	59
担当部局・課	340500 健康医療部・衛生管理課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○食の安全を確保し、市民の健康の保護を図るため、食品衛生行政を推進します。</p> <p>○市民生活の安全確保及び健康で快適な住環境を確保するために、生活衛生関係施設の衛生水準の維持向上及び住まいの衛生に関する知識の普及を図ります。</p> <p>○市民生活の安全確保を図るために、食品営業施設・生活衛生施設の監視指導に係る収去検体の検査や食中毒及び感染症の検査を実施します。</p>
------	---

当該年度の実績	<p><食品衛生事業></p> <p>○監視指導計画に基づいた監視指導及び検査を実施しました。（監視指導件数：1,747件、収去検査：310件）また、コロナ禍で需要が増加した無人販売所・自動販売機で販売される食品の買上げ検査を実施しました。（買上げ検査：54件）</p> <p>○危機管理体制の確保に努め、違反食品や食中毒疑い等の調査を速やかに実施しました。（食中毒発生件数：2件、違反食品：1件）</p> <p>○給食施設の調理従事者等に対して食品衛生講習会や実務講習会を実施したほか、飲食店営業者等の事業者に対し、HACCPや食品表示に関する周知啓発や指導を行いました。また市民に対して、市ホームページやSNS等を活用して食品衛生に関する知識の普及を図りました。</p> <p><生活衛生事業></p> <p>○監視指導計画に基づいた監視指導及び検査を実施しました。</p> <p>○簡易専用水道施設に対し、法定検査受検啓発や郵送による現況調査を実施しました。</p> <p>○こども園に対し、新型コロナウイルス感染症対策として換気啓発及び換気現場調査を実施しました。</p> <p>○こども園等に対し、二酸化炭素濃度計貸出事業を実施しました。</p> <p>○社会福祉施設に対し、新型コロナウイルス及びレジオネラ感染症対策として、換気及び浴室の維持管理現場調査を実施しました。</p> <p>○市庁舎ロビー等で衛生害虫対策啓発事業を実施しました。</p> <p>○感染症媒介蚊サーベイランスを市内5か所で計8回実施しました。</p> <p><保健所試験検査></p> <p>○食品営業施設・生活衛生施設の監視指導に係る収去検体の検査を実施しました。</p> <p>○食中毒及び感染症の検査を行いました。</p>
---------	--

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p><食品衛生事業></p> <p>○計画的な監視指導により、事業者のHACCP指導や食中毒発生の未然防止に繋げることができました。また、買上げ検査により流通食品の食の安全安心に繋げることができました。</p> <p>○食中毒等の有事の際に速やかに対応し、被害拡大を防止しました。今後も、食品による健康危害事象に迅速に対応できるように、研修等を通じて体制の整備を図ります。</p> <p>○事業者や消費者に対する食品衛生や食中毒予防の知識普及について、市ホームページやSNS等を活用し、効果的な啓発指導方法を検討します。</p> <p><生活衛生事業></p> <p>○こども園等クラスターが発生しやすい施設に対して換気啓発及び調査を実施しました。新型コロナウイルス及びレジオネラ感染症対策事業を次年度も継続して実施します。</p> <p>○郵送による指導等を活用し、監視指導計画通り監視指導及び検査を実施しました。今後も計画的に監視指導を実施し、生活衛生施設における衛生水準の維持向上を図ります。</p> <p><保健所試験検査></p> <p>○高額な検査機器を必要とする検査項目等、一部の食品の検査については地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所に委託していますが、豊中市で実施可能な検査項目については食品衛生監視指導計画通りに豊中市で検査を実施し、市内で生産・製造・加工・販売される食品等の安全性の確認を行いました。</p> <p>○食中毒や感染症の検査を実施することで、健康被害の原因究明、危害拡大の防止につながりました。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	目標
1	目標	食品営業施設への監視・指導数	担当課調査	件	1,632	1,604	1,747	数値	2500
	考え方、定義、算出方法など							年	令和4
2	目標	生活衛生施設への監視・指導数	担当課調査	件	2,609	2,073	2,132	数値	2300
	考え方、定義、算出方法など							年	令和4
3	目標	食品衛生法に基づく収去検査	担当課調査	件	204	147	310	数値	100
	考え方、定義、算出方法など							年	令和4
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	食品衛生法、食品表示法、旅館業法、公衆浴場法理容師法、美容師法、感染症法ほか
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府食の安全安心推進条例、大阪府食品衛生法施行条例、大阪府遊泳場条例、大阪府特設水道条例ほか
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市食品衛生法施行条例、豊中市旅館業法施行条例、豊中市公衆浴場法施行条例ほか

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	24,135	人件費（参考）	108,540	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	27	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	24,162	財源内訳の	国・府支出金	3,293
	決算額	18,429		地方債	0
	残額	5,733		その他 特定財源	12,478
	執行歩合	76.27%		一般財源	2,658

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目	
	食品衛生事業【継続】	8,735	2,583	0	0	01	保健衛生総務費	
	生活衛生事業【継続】	3,434	710	0	1,771	01	保健衛生総務費	
	保健所試験検査【継続】	6,260	0	0	887	01	保健衛生総務費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	害虫等への対策	区分	継続
施策の方向性	(2)生活衛生の確保を図ります	総合計画掲載ページ	59
担当部局・課	432000 都市基盤部・維持修繕課		
関連部局・課	030000 危機管理課 233000 公園みどり推進課 330100 地域共生課		

事業概要	<p>○水路・街渠樹等の適切な保全を図る為に不快害虫被害の軽減・害虫駆除、更には相談業務を行い、快適な生活環境を守ります。 スズメバチの駆除及び野生鳥獣により引き起こされる諸被害の低減化を図ため、関係部局とも連携し市民の生活環境を改善し、市民の安心安全を図ります。</p>
当該年度の実績	<p>○計画的に市内一円、薬剤散布を行いました。 スズメバチ駆除も相談件数・駆除件数ともに増加傾向にあります。 市内一円、野生動物の目撃や駆除依頼も増加傾向にあります。</p>

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○害虫や虫に過敏な反応を示す市民も増加傾向にあります。 ハチの相談件数も年々増加傾向にあり、ハチの生存時期も伸びており、今までの常識があてはまらなくなってきました。 例年では府の施設や大学・病院等は管理者が明確にある為、管理者で駆除して頂いていましたが、一般社団法人等が増加してきている為、あてはまらなくなっており一律での駆除が望ましいと考えます。 ヌートリア・アライグマ等の野生動物も増加傾向にあり、捕獲器の設置依頼も増加しており、処分は泉佐野へ搬入している為、効率や諸経費にも負担がかかります。</p>
---	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	ハチ駆除・相談	管理年報	件	356	417	367	数値	年
	考え方、定義、算出方法など	要望処理件数	相談件数						
2	参考	衛生害虫駆除・相談	管理年報	件	260	222	286	数値	年
	考え方、定義、算出方法など	要望処理件数	相談件数						
3	参考	アライグマ捕獲数	管理年報	匹	9	12	19	数値	年
	考え方、定義、算出方法など	捕獲頭数							
4								数値	年
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	年
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	12,089	人件費（参考）	34,566	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	12,089	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	10,237		地方債	0
	残額	1,852		その他 特定財源	0
	執行歩合	84.68%		一般財源	10,237

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	ハチ対策【継続】	5,867	0	0	5,867	01	環境衛生費
	衛生害虫対策【継続】	3,957	0	0	3,957	01	環境衛生費
	鳥獣被害対策事業【継続】	413	0	0	413	01	環境衛生費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	医薬安全事業	区分	拡充
施策の方向性	(3) 地域医療の充実を図ります	総合計画掲載ページ	
担当部局・課	340100 健康医療部・健康政策課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○【医療施設等の許可届出・監視指導】市民が医療施設等において法律を遵守した良質な医療等を受けられる体制を確保するために、医療施設等の許可・届出の受付及び監視指導を行います。</p> <p>○【医療施設等の許可届出・監視指導】市民が安心して医療を受けることができる体制を確保するために、患者と医療機関との信頼関係の構築、医療の質の向上を図ります。</p> <p>○【薬局等の許可届出・監視指導・機能強化】薬による健康被害の発生を防ぎ、市民の安全安心を確保するために、品質及び安全性の確保された医薬品、医療機器の流通における薬局等の許可・届出の受付及び監視指導を行います。また、薬の正しい知識の普及を図るため、市民啓発を行います。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○【医療施設等の許可届出・監視指導】市内病院および診療所に対し、医療法第25条第1項に基づく立入検査（医療監視）を実施しました。</p> <p>○【医療施設等の許可届出・監視指導】「患者の声相談窓口」に寄せられる医療関係機関への苦情や相談への対応（医療相談）を行いました。また、市民からの相談事例をもとに検討会を実施し、職員の相談対応力の向上に取り組みました。</p> <p>○【拡充】【薬局等の許可届出・監視指導・機能強化】デジタルサイネージを設置した「健康情報拠点薬局」を87件に拡大し、薬局を拠点とした健康情報の発信に取り組みました。</p> <p>○【薬局等の許可届出・監視指導・機能強化】医薬品、医療機器、毒劇物の流通や検体検査の精度管理が適切に行われているかについて確認するため、薬局、店舗販売業、医療機器販売・貸与業、毒物劇物販売業、衛生検査所等に対し、医薬品医療機器等法、毒物劇物取締法および臨床検査技師法に基づく立入検査を実施しました。さらに、市内薬局におけるヒヤリ・ハット事例を収集し、薬局における医療安全への対応状況の確認を行いました。</p> <p>○【薬物乱用防止啓発】市民による大麻等の薬物乱用の拡大を未然に防止するために、市内小中学校を対象に薬物乱用防止教室を実施しました。また、市内高校と協働で作成した薬物乱用防止啓発物品を市内中学生に配布し啓発に取り組みました。</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○【医療施設等の許可届出・監視指導】市内病院および診療所計23施設への医療監視を行った結果、法令等を遵守した医療提供体制の状況について確認することができたことに加え、医療従事者に対して医療安全に関する注意喚起を行うことができました。</p> <p>○【医療施設等の許可届出・監視指導】医療相談への対応を通じ、患者と医療機関との信頼関係の構築や医療の質の向上につながりました。また、事例検討会を行ったことにより、職員の相談対応力の向上につながりました。</p> <p>○【薬局等の許可届出・監視指導・機能強化】健康情報拠点薬局を拡大、健康・医療・介護等に関する情報やコロナ健康支援課によるフレイルチェックコンテンツなどをデジタルサイネージで発信することで、市民の健康の維持増進につながりました。</p> <p>○【薬局等の許可届出・監視指導・機能強化】市内の薬局、店舗販売業、医療機器販売・貸与業、毒物劇物販売業、衛生検査所計269施設に対する監視指導を行うことで、法令等を遵守した業務実施状況について確認することができました。今後は、薬局から収集したヒヤリ・ハット事例を市内医療関係機関へフィードバックすることで、医療安全の向上に取り組みます。</p> <p>○【薬物乱用防止啓発】薬科大学生や市内中学生計292名を対象にした薬物乱用防止教室や市内高校と協働で作成した薬物乱用防止啓発物品を市内17中学校に配布することにより、若年者に対して薬物の恐ろしさについて啓発を行うことができました。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	医療施設等の立入検査数	担当課調べ	件	0	19	23	数値	23
	考え方、定義、算出方法など	立入検査を年1回実施する病院と、3年に1回実施する有床（6床以上）・人工透析診療所数							
2	参考	『患者の声相談窓口』における相談者の納得度	担当課調べ	%	94.1	91.7	?	数値	95
	考え方、定義、算出方法など	項目の内、「納得した」と「概ね納得」の合計							
3	参考	薬局等の監視指導数	担当課調べ	件	244	123	269	数値	250
	考え方、定義、算出方法など	薬局、店舗販売業、高度管理医療機器販売業、毒物劇物販売業、毒物劇物業務上取扱者、衛生検査所等							
4	参考	出前講座、薬物乱用防止教室、キャンペーン開催回数	担当課調べ	回	5	5	4	数値	10
	考え方、定義、算出方法など	事業者向け講習会、その他（学生向け講習会 薬科大学生実習等）の開催回数							
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	医療法、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律 等
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	手数料条例、豊中市健康づくり計画 等

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	20,000	人件費（参考）	50,625	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	45	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	20,045	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	6,783
	決算額	18,984		地方債	0
	残額	1,061		その他 特定財源	3,525
	執行歩合	94.71%		一般財源	8,676

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	医療施設等の許可届出・監視指導【継続】	5,263	299	0	3,857	01	保健衛生総務費
	薬局等の許可届出・監視指導・機能強化【拡充】	13,449	6,484	0	4,547	01	保健衛生総務費
	薬物乱用防止啓発【継続】	272	0	0	272	01	保健衛生総務費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	地域保健医療の推進	区分	継続
施策の方向性	(3) 地域医療の充実を図ります	総合計画掲載ページ	60
担当部局・課	340100 健康医療部・健康政策課		
関連部局・課	331500 長寿社会政策課 332000 長寿安心課		

事業概要	<p>○【地域保健医療の推進】豊能圏域における保健医療の向上を図るために、大阪府から委託された大阪府保健医療計画推進事業を行います。</p> <p>○【地域保健医療の推進】市民が適切な医療を受けることができるよう地域医療体制を構築するために、「豊中市地域医療推進基本方針」（平成29年3月策定）に基づき、医療関係機関連携のしくみを整備するとともに、市民啓発に取り組みます。</p> <p>○【在宅医療と介護の連携体制の構築】市民が加齢による機能低下や疾患を抱えても住み慣れた地域で最期まで暮らし続けられるようにするために、在宅療養に携わる従事者等の資質向上の支援や、生活の場が変わっても生活の質が低下しない医療サービスの提供体制の構築に取り組みます。</p>
当該年度の実績	<p>【地域保健医療の推進】</p> <p>○「（仮称）サブアキュートマッチングシステム：豊中モデル」の構築に向け、現状、空床状況提供システムとして非公開型SNS「虹ねっとcom」を活用していますが、より実効性の高い空床状況の提供方法について検討を行いました。</p> <p>【在宅医療と介護の連携体制の構築】</p> <p>○在宅医療・介護連携支援センター運営事業を医師会等各団体に委託し、研修会や意見交換会等開催しました。</p> <p>○地域医療推進会議を開催し、認知症医療体制について、豊中市医師会など関係団体と協議しました。</p> <p>○在宅医療体制の構築に向け、市内診療所に対してアンケート調査を実施しました。</p> <p>【豊能圏域救急医療対策事業】</p> <p>○二次救急医療について、病院群輪番制病院運営事業及び小児救急医療支援事業を実施し、事業参加病院への補助を行いました。（一財）箕面市医療保健センターが運営する豊能広域子ども急病センターの管理運営経費について、協定書に基づき負担しました。</p> <p>【地域保健等活動団体支援事業】</p> <p>○団体が実施する地域保健活動に要する経費に対して、事業の一部補助を行いました。</p> <p>【医療保健センター関係事務】</p> <p>○公共的・公益的な事業を多く実施している豊中市医療保健センターの事業運営を支援しました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>【地域保健医療の推進】</p> <p>○空床情報提供システムの運用方法について、さらに検討を深め、病診連携体制の強化を図ります。</p> <p>【在宅医療と介護の連携体制の構築】</p> <p>○公民連携事業に参画し、ACP啓発ボードゲームを作成しました。</p> <p>○認知症医療体制について、漏れなく必要な医療・福祉サービスに繋げる仕組み作りに取り組みます。</p> <p>○在宅医療体制について、診療所間の連携体制及び急性増悪時等における病院のバックアップ体制の構築に取り組むことにより、診療所医師の在宅医療に対する負担軽減を図ります。</p> <p>【豊能圏域救急医療対策事業】</p> <p>○豊能医療圏においては、19医療機関が二次救急医療体制に参加し、市民の健康保持に対して重要な役割を担っています。そのうち5医療機関は小児救急医療支援として豊能広域子ども急病センターの後送病院にもなっています。</p> <p>【地域保健等活動団体支援事業】</p> <p>○医療関係団体への支援により、地域の保健活動を促進しており、地域医療活動の充実が図られました。</p> <p>【医療保健センター関係事務】</p> <p>○市民の健康増進・健康保持にかかる事業を実施することにより、地域医療の推進に大きな役割を担っています。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	会議等開催回数（豊能保健医療協議会、地域医療推進会議）	事務局資料	回	0	2	5	数値	4
		考え方、定義、算出方法など						年	4
2	参考	医療・介護従事者向け研修会参加者数	担当課調べ	延べ数	192	473	557	数値	250
		考え方、定義、算出方法など						年	4
3	参考	在宅療養支援診療所数	近畿厚生局調べ	箇所	81	83	80	数値	80
		考え方、定義、算出方法など						年	4
4	参考	在宅療養支援歯科診療所数	近畿厚生局調べ	箇所	36	37	36	数値	40
		考え方、定義、算出方法など						年	4
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	医療法、介護保険法
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府保健医療計画、大阪府地域医療構想
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	地域医療推進基本方針、介護保険計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	370,991	人件費（参考）		28,381	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）		11,903	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	586,692	財源内訳の	国・府支出金		20,972
	決算額	533,939		地方債		0
	残額	52,753		その他 特定財源		26,995
	執行歩合	91.01%		一般財源		485,972

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計	
					(コード)	目
豊能圏域救急医療対策事業【継続】	85,986	16,798	0	43,777	01	保健衛生総務費
地域保健等諸活動団体支援事業【継続】	12,402	0	0	12,402	01	保健衛生総務費
医療保健センター関係事務【継続】	428,465	0	0	428,465	01	一般財団法人豊中市医療保健衛生総務費
地域保健医療の推進【継続】	200	197	0	3	01	保健衛生総務費
在宅医療と介護の連携体制の構築【継続】	6,886	3,977	0	1,325	17	在宅医療・介護連携推

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	高齢者保健・介護連携事業	区分	継続
施策の方向性	(3) 地域医療の充実を図ります	総合計画掲載ページ	60
担当部局・課	340100 健康医療部・健康政策課		
関連部局・課	332000 長寿安心課		

事業概要	<p>○身近な場所で健康づくりの取組に参加できる環境を整備し、心身機能の低下及び生活習慣病等の発症・重症化予防を促進します。また、地域でフレイル状態の高齢者を把握し、高齢者が地域で健康的な生活を送れるよう支援します。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○歯や口の健康づくり教室 ・2回コースを5会場で実施 ・参加者；1回目69人、2回目48人</p>
---------	--

当該年度の 成果・課題 解決できた課題・ 今後の方向性	<p>○教室を受講することで、歯周病予防やオーラルフレイル予防につながりました。 ○コロナ禍の感染対策のため参加者数に制限がありましたが、令和5年度はより多くの市民が参加できる体制を整えます。</p>
--	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	目標	介入前後口腔機能改善率（咀嚼）	担当課調査	%			88.6	数値	70
	考え方、定義、算出方法など	参加者のうち、前後の変化が維持・改善の人の割合							
2	目標	介入前後口腔機能改善率（嚥下）	担当課調査	%			68.6	数値	70
	考え方、定義、算出方法など	参加者のうち、前後の変化が維持・改善の人の割合							
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	高確法・国民健康保険法・介護保険法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	□豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	2,756	人件費（参考）	6,141			
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0			
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	2,756	財源内訳の	国・府支出金	0		
	決算額	2,228		地方債	0		
	残額	528		その他 特定財源	2,228		
	執行歩合	80.84%		一般財源	0		
	予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)
高齢者保健・介護連携事業（健康政策課）【継続】		2,228	0	0	0	16	健康増進事業費



2-3 消防・救急救命体制の充実

市民の生活を守る消防・救急救命体制のさらなる充実に取り組みます。

施策の方向性・主な取組み	事務事業数
事務事業名称	担当課
(1)救急救命体制および防火安全対策を強化します	14事業
①救命力世界一の推進	
②防火対策の強化	
③自主救護能力の向上	
消防行政啓発事業(消防総務課)	消防局 消防総務課
防火・防災事業(警防課)	消防局 警防課
救命力世界一推進事業	消防局 救急救命課
救急高度化推進事業	消防局 救急救命課
消防指令センター関連事業	消防局 消防指令センター
消防行政啓発事業(予防課)	消防局 予防課
消防関係法令事務(予防課)	消防局 予防課
防火・防災事業(予防課)	消防局 予防課
消防関係法令事務(北消防署)	消防局 北消防署
防火・防災事業(北消防署)	消防局 北消防署
消防関係法令事務(南消防署)	消防局 南消防署
防火・防災事業(南消防署)	消防局 南消防署
消防関係法令事務(新千里消防署)	消防局 新千里消防署
防火・防災事業(新千里消防署)	消防局 新千里消防署

(2)消防体制を充実強化します	17事業
①警防体制の強化	
②避難・救出体制の強化	
③消防の広域連携の推進	
消防の広域連携の推進事業	消防局 消防総務課
消防体制の強化(消防総務課)	消防局 消防総務課
消防団の充実強化	消防局 消防総務課
消防庁舎等施設管理事業	消防局 消防総務課
消防一声訪問事業(警防課)	消防局 警防課
消防体制の強化(警防課)	消防局 警防課
消防水利の管理・整備事業	消防局 警防課
消防車両・資機材の整備事業	消防局 警防課
火災原因・損害調査	消防局 警防課
救急資機材の整備事業	消防局 救急救命課
消防指令業務の共同運用事業	消防局 消防指令センター
消防一声訪問事業(北消防署)	消防局 北消防署
消防活動(北消防署)	消防局 北消防署
消防一声訪問事業(南消防署)	消防局 南消防署
消防活動(南消防署)	消防局 南消防署
消防一声訪問事業(新千里消防署)	消防局 新千里消防署
消防活動(新千里消防署)	消防局 新千里消防署

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防行政啓発事業（消防総務課）	区分	継続
施策の方向性	(1) 救急救命体制および防火安全対策を強化します	総合計画掲載ページ	62
担当部局・課	560100 消防局・消防総務課		
関連部局・課	560500 警防課 561000 救急救命課 561500 消防指令センター 562000 予防課 562500 北消防署 564500 南消防署 566500 新千里消防署		

事業概要	<p>○消防職員、消防団員及び関係団体が団結して士気を高めるとともに、広く消防行政に対する市民の理解と防火・防災意識のより一層の高揚を図り、災害に強いまちづくりに寄与するために、毎年1月に消防出初式を挙ります。</p> <p>○消防行政に対する市民の理解と認識を深めるために制定された消防記念日に際し、消防行政に功労のあった市民・事業者等を表彰します。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○令和5年1月8日に令和5年消防出初式を挙りました。 内容：訓練展示、消防団一斉放水、箕面自由学園ゴールデンベアーズ演技</p> <p>○令和5年3月9日に消防記念日表彰式を開催し、消防行政に功労のあった市民・事業者の表彰を行いました。</p>
---------	---

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○消防出初式を挙行し、消防職団員の士気高揚を図ることができました。また、多くの市民に参加いただき、広く「安心安全のまちづくり」を啓発・広報することができました。消防職団員の士気高揚だけでなく、広く市民に「安心安全のまちづくり」を啓発・広報するための、年頭の消防行事として定着しています。積極的に広報ができる場所として捉え、啓発・広報できるよう今後も継続的に実施します。</p> <p>○消防行政に功労のあった市民・事業者の表彰を行い、行政と市民・事業者との協働を促すことで、地域防災力の強化を図ることができました。今後も引き続き、消防記念日に際し、消防行政に功労のあった市民・事業者等を表彰することで消防行政の啓発を図ります。</p>
---	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	消防出初式参加市民数	実績値	人	0	3,200	4,000	数値	年
	考え方、定義、算出方法など								
2	参考	消防記念日表彰表彰者数	実績値	人	40	40	34	数値	年
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	年
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	年
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	年
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		消防出初式実施要綱、豊中市消防表彰規程

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	1,433	人件費（参考）	5,512	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	1,433	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	1,429		地方債	0
	残額	4		その他 特定財源	0
	執行歩合	99.72%		一般財源	1,429

予算管理事業	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		消防出初式【継続】	1,221	0	0	1,221	01	常備消防費
	消防記念日表彰【継続】	208	0	0	208	01	常備消防費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	防火・防災事業（警防課）	区分	継続
施策の方向性	(1) 救急救命体制および防火安全対策を強化します	総合計画掲載ページ	62
担当部局・課	560500 消防局・警防課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○地域の消防防災力の充実強化のために、消防防災協力事業所登録制度の拡充や、自主防災組織の育成支援等を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の自助共助による地域防災力の向上 ・地域の防災意識高揚
当該年度の実績	<p>○自主防災組織への訓練指導 全162組織に対して、延べ77組織、3,934名に訓練指導を実施しました。</p> <p>○消防防災協力事業所への訓練指導 63事業所、114名に訓練指導を実施しました。</p> <p>○防災訓練ハンドブック等を活用した自主防災組織、消防防災協力事業所に対する効果的な訓練や支援の実施 19事業所、326名が防災訓練ハンドブックを使用した自主訓練を実施しました。</p>

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○自主防災組織及び消防防災協力事業所への訓練指導を実施行うことで、地域防災力の強化を図ることができました。</p> <p>○防災訓練ハンドブックを使用し、各組織に訓練勧奨を行うことで、自主的な訓練実施につながり、地域防災力の強化を図ることができました。</p> <p>○コロナ感染拡大防止の観点から、訓練指導数及び訓練参加人数は昨年度同様に目標値には届きませんでした。効果的な訓練指導を実施することができました。</p> <p>継続して、地域との連携・協働を深め、地域防災力の向上を図り、災害に強い安心・安全な地域づくりを推進します。</p>
---	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	自主防災組織訓練実施率	担当課調査	%	40.4	49	47.5	数値	年
		考え方、定義、算出方法など 訓練実施組織数÷全自主防災組織数（161組織）×100% で訓練実施率を算出							
2	参考	消防防災協力事業所の登録事業所数	実績数	事業所	316	316	310	数値	年
		考え方、定義、算出方法など							
3	参考	消防防災協力事業所訓練の参加事業所数	担当課調査	事業所	21	58	82	数値	年
		考え方、定義、算出方法など 事業所訓練に参加した事業所数を算出							
4								数値	年
		考え方、定義、算出方法など							
5								数値	年
		考え方、定義、算出方法など							

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市地域防災計画、自主防災組織訓練指導マニュアル

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	1	人件費（参考）				2,228																																																																																																																
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）				0																																																																																																																
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	1	財源内訳の	国・府支出金				0																																																																																																															
	決算額	0		地方債				0																																																																																																															
	残額	1		その他 特定財源				0																																																																																																															
	執行歩合	0.00%		一般財源				0																																																																																																															
	予算管理事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算管理事業名称</th> <th>決算額</th> <th>国・府支出金</th> <th>地方債</th> <th>一般財源</th> <th>会計 (コード)</th> <th>目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域防災力の充実強化（警防課）【継続】</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>01</td> <td>常備消防費</td> </tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目	地域防災力の充実強化（警防課）【継続】	0	0	0	0	01	常備消防費																																																																																																							
予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目																																																																																																																
地域防災力の充実強化（警防課）【継続】		0	0	0	0	01	常備消防費																																																																																																																

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	救命力世界一推進事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 救急救命体制および防火安全対策を強化します	総合計画掲載ページ	62
担当部局・課	561000 消防局・救急救命課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○現場に居合わせた人が、救急隊の現場到着までに心肺蘇生法など救命手当等を迅速かつ適切に実施することができるようにするために、市民・事業者等に救命講習を実施し、救命力の向上を図ります。また、救急需要対策を行うことにより、救急資源を有効活用し、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進します。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○講習時間の短縮及び受講し易い環境として、応急手当WEB講習（e-ランニング）コースを新設しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救命講習会 478回 18,082名 ・予防救急講習会 乳幼児 16回 268名 高年齢者 4回 24名 熱中症 5回 61名 ・ジュニア救命講習 27校 2,505名 <p>○高齢者の救命講習受講を促進しました。また高齢者に心肺蘇生法を身に付けて頂くため、心肺蘇生法体操を考案し、社会福祉協議会と連携し実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シニア救命講習 11回 212名 <p>○いざという時のための救急ガイドの作成、企業連携、救急車ヘステッカー貼付など様々な広報の結果、救急需要対策へ繋がりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急安心センターおおさか 相談件数16,754件 配布物 63,000部 ・救急タグ 配布枚687枚 奏功事例73件 ・企業連携 花王グループカスタマーマーケティング株式会社：感染症対策 <p>○市民救命サポーターは救命講習等で広報した結果、登録者（事業所）を増加させることができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポーターステーション 3事業所 ・サポーターほーむ 102名
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○ジュニア救命講習はコロナ禍の影響もあり近年は受講数が減少していましたが、教育委員会や各学校へ協力を依頼し、受講数を増加させることができました。今後は全校実施に向けて、引き続き広報を行います。</p> <p>○応急手当WEB活用コースやシニア救命講習等の新しい取り組みを実施した結果、救命講習に受講し易い環境が整備でき、また各世代のニーズにあった救命講習を展開することができました。今後は特に高齢者の講習参加率の向上と広報が課題です。</p> <p>○救急安心センターおおさかは、相談件数が過去最高値を更新し、救急需要対策に繋がりました。今後もさらに認知度向上のため広報を実施し、救急需要対策を図ります。</p> <p>○市民救命サポーターは、今後も継続して広報を行い、災害時はもとより、救急事故等の負傷者等に救護活動を実施することができる市民等を育成します。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	救命講習受講者数	年度実績	人	12,116	13,810	18,082	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	ジュニア救命サポーター事業実施小学校数	年度実績	校	12	17	27	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3	参考	市民救命サポーター・ステーション認定事業所数	年度実績	所	3	8	3	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4	参考	救急安心センターおおさか相談件数	月報・年報	件	12,628	15,197	16,754	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5	参考	救急タグ配布枚数	年度実績	枚	3,141	3,355	687	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等 <input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等 <input checked="" type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱 応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱、ジュニア救命サポーター事業実施要綱
----------	---	--

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	12,185	人件費（参考）	19,387
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	12,185	国・府支出金	0
	決算額	10,678	地方債	0
	残額	1,507	その他 特定財源	0
	執行歩合	87.63%	一般財源	10,678
			財源内訳の	

	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	予算管理事業	ジュニア救命サポーター事業【継続】		62	0	0	62	01
応急手当の普及啓発【継続】		1,567	0	0	1,567	01	常備消防費	
市民救命サポーター制度【継続】		0	0	0	0	01	常備消防費	
救急需要対策【継続】		9,049	0	0	9,049	01	常備消防費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	救急高度化推進事業	区分	継続
施策の方向性	(1)救急救命体制および防火安全対策を強化します	総合計画掲載ページ	62
担当部局・課	561000 消防局・救急救命課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○豊能地域救急メディカルコントロール協議会のもと、救急隊が行う応急処置の質の向上や救急救命士の処置拡大等の救急業務の高度化を図るため、医師からの指導、助言及び事後検証が実施できる体制づくりや救急救命士の再教育を実施します。</p>
当該年度の実績	<p>○豊能地域救急メディカルコントロール協議会を2回開催し、延べ6名が参加しました。 ○豊能地域4市代表指導救命士合同会議を開催し、4名が参加しました。 ○症例検討会を2回開催し、延べ204名が参加しました。 ○プレホスピタル・セミナーとして、国立循環器病研究センター医師、市立豊中病院医師を講師に招き、延べ221名に研修を行いました。 ○プレホスピタル・セミナー発表会として、研究発表会を開催し、109名が参加しました。 ○病院研修を国立循環器病研究センター（2名参加）、市立豊中病院（3名参加）で行いました。 ○硬性喉頭鏡気管挿管認定救命士5名、ビデオ喉頭鏡気管挿管認定救命士を5名養成しました。 ○救急救命士就業中再教育病院実習を延べ160名に実施しました。 ○検証会議に参加し、医師とともに救急活動404件の検証を行いました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○豊能地域救急メディカルコントロール協議会や豊能地域4市代表指導救命士合同会議に参加することにより、現在の救急隊員の教育状況や救急統計について情報共有を行いました。今後も引き続き救急情勢の把握を行い、情報共有に努めます。 ○症例検討会、プレホスピタルセミナーを行い、医師から救急活動の医学的指導を受け、医学知識が向上しました。今後は、状況に応じたセミナーの内容や救急活動に即した指導内容の精査が課題です。 ○プレホスピタルセミナー発表会を行うことで救急隊員の問題提起力、課題解決力、プレゼンテーション能力の向上につながりました。今後も引き続き救急隊員の資質向上に努めます。</p>
解決できた課題・今後の方向性	<p>○病院研修を行うことで、救命処置技術の向上と医療機関との連携強化につながりました。今後も引き続き関係機関との連携強化を行います。 ○気管挿管認定救命士を養成することで、心肺停止事案の対応力が向上しました。今後も活動対応力向上のため、計画的に養成を行います。 ○検証会議に参加し、救急活動を検証することにより、救急活動の質の向上につながりました。今後も引き続き救急活動の検証を行うことで、救急活動の質の向上を図ります。</p>

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	検証症例数	年度実績	件	447	501	404	数値	404
		考え方、定義、算出方法など						年	2022
2	参考	気管挿管認定救命士養成数	年度実績	人	5	5	5	数値	5
		考え方、定義、算出方法など						年	2022
3	参考	気管挿管（ビデオ喉頭鏡）認定救命士養成数	年度実績	人	5	5	5	数値	5
		考え方、定義、算出方法など						年	2022
4	参考	症例検討会実施回数	年度実績	回	2	2	2	数値	2
		考え方、定義、算出方法など						年	2022
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	救急業務高度化推進委員会報告書、救急救命士法
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府救急医療対策審議会救急業務高度化推進に関する部会設置要綱
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊能地域メディカルコントロール協議会設置要綱

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	4,661	人件費（参考）	18,763			
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0			
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	4,661	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0		
	決算額	4,568		地方債	0		
	残額	93		その他 特定財源	0		
	執行歩合	98.00%		一般財源	4,568		
	予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)
メディカルコントロール体制の充実 【継続】		4,568	0	0	4,568	01	常備消防費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防指令センター関連事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 救急救命体制および防火安全対策を強化します	総合計画掲載ページ	62
担当部局・課	561500 消防局・消防指令センター		
関連部局・課			

事業概要	<p>○被害の軽減を図るために、多様化する市民からの119番通報を迅速かつ的確に受信し、災害場所を特定するとともに災害に適した車両を選別して、早期に出動指令を行います。</p> <p>○市民の安心・安全を確保するために、通報者に対して応急手当などの口頭指導を実施します。</p> <p>○無線通信等の研修を実施することにより、迅速かつ的確な災害活動を図ります。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○指令管制業務について、年度を通じて豊中市、池田市及び能勢町からの119番通報に対し、的確に対応しました。（総受信件数 46,076件）</p> <p>○口頭指導を実施した事案について検証を行うとともに、全指令員にフィードバックしました。（口頭指導実施回数 28,919件）</p> <p>○現場活動を行う各隊長に対し、指令業務全般についての実務研修を実施しました。（受講者数 15名）</p>
---------	--

当該年度の成果・課題	<p>○外部研修への参加や部内での検証により、通報受信及び口頭指導の技術が向上しました。</p> <p>○実務研修により無線通信やシステムの理解が深まるとともに、指令員と現場活動を行う隊員との意見交換をつうじて情報共有が図られ、災害対応力の強化につながりました。</p> <p>○令和6年4月の5市による消防指令業務共同運用開始に向け、新システムに対応した操作等の研修を実施します。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	指令員の外部研修	実績値	人	15	10	11	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	消防法、消防組織法
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額 (当初)	28,258	人件費 (参考)	77,536	
	流用増減額 (予備費充当用含む)	0	公債費 (参考)	0	
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	28,258	財源内訳の 決算額の 内訳	国・府支出金	0
	決算額	27,869		地方債	0
	残額	389		その他 特定財源	12,912
	執行歩合	98.62%		一般財源	14,957

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計	
					(コード)	目
指令管制業務の強化【継続】	0	0	0	0	01	常備消防費
消防救急無線機の管理【継続】	27,869	0	0	14,957	01	常備消防費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防行政啓発事業（予防課）	区分	継続
施策の方向性	(1) 救急救命体制および防火安全対策を強化します	総合計画掲載ページ	62
担当部局・課	562000 消防局・予防課		
関連部局・課	560100 消防総務課 562500 北消防署 564500 南消防署 566500 新千里消防署		

事業概要	○広く市民に消防広報を行うために、消防音楽隊が演奏を行います。
当該年度の実績	○出演実績 令和4年度は計18回の演奏出演を行い、参加市民数延べ10,020人に対して、防火・防災思想の普及啓発活動を行いました。 なお、3月には、豊中防火安全協会主催の「音楽あふれるまちとよなか 防火・防災フェスティバル～豊中市消防音楽隊45周年記念演奏会～」を開催し、約1,500名が来場されました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○コロナ禍における音楽隊活動及び出演について、新型コロナウイルス感染症対策に係る基準【消防音楽隊演奏会ガイドライン（屋内編）及び（屋外編）】を設け活動することができました。 ○消防音楽隊の演奏イベントを通じて、高齢者等への防火・防災意識の普及啓発及び住宅用火災警報器の設置、維持管理等、住宅防火に係る広報を行い、災害による被害の軽減を図ります。
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	消防音楽隊の出演回数	実績値	回数	20	7	20	数値	20
		考え方、定義、算出方法など						年	23
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市消防音楽隊設置規程

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	432	財源内訳の	人件費（参考）	3,815
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0		公債費（参考）	0
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	432		国・府支出金	0
	決算額	431	地方債	0	
	残額	1	その他 特定財源	0	
	執行歩合	99.77%	一般財源	431	

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		消防音楽隊【継続】	431	0	0	431	01

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防関係法令事務（予防課）	区分	継続
施策の方向性	(1) 救急救命体制および防火安全対策を強化します	総合計画掲載ページ	62
担当部局・課	562000 消防局・予防課		
関連部局・課	402500 開発審査課 403000 建築審査課 560500 警防課 562500 北消防署 564500 南消防署 566500 新千里消防署		

事業概要	<p>○火災等の災害の未然防止や被害の軽減を図るために、消防関係法令等に基づき、防火対象物の違反処理の推進、危険物施設及び保安3法施設の規制事務、消防同意、消防用設備等の設置指導、住宅防火対策等を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○年度計画に基づく防火対象物への立入検査を実施しました。（防火対象物数 11,302） ○消防関係法令に基づく違反是正業務を実施しました。 ○査察推進員への座学及び実務研修を行いました。（全6回 68名受講） ○上野、豊島、上新田の各校区で、各女性防火クラブ員と消防職員が合同で住宅用火災警報器設置状況調査を実施しました。 ○消防用設備の設置及び開発行爲に対して、関係法令等に基づく指導検査を行いました。 ○消防関係法令等の届出申請は、100%電子申請（メール含む）オンライン化を実施しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○今後も年度計画に基づく立入検査を実施し、火災による被害の軽減を図ります。 ○査察推進員への座学及び実務研修を行うことで、統一的な研修を行うことができ、消防局全体の査察レベル向上が図られました。今後も継続することで、更なるレベルアップに繋がると考えます。 ○各女性防火クラブ員と消防職員が合同で住宅用火災警報器設置状況調査を実施することで地域に密着した活動となり、設置率向上に繋げることが出来ました。今後も更なる設置率向上に寄与できる手法だと考えますので継続します。 ○オンライン申請について、電子メールを活用した方法を中心に多くの申請で活用いただいております。利用者側のメリットとしては、申請・届出が紙ベースではないため、紙代負担の軽減及び閉庁時間にも届出が可能、来庁することなく届出が可能といったような利便性の向上があり、事業者の負担軽減に繋がっています。今後も、予防関係届出等の電子申請や消防用設備等設置に係る事前相談等のICT活用を推進します。</p>
----------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	住宅用火災警報器設置率	年度実績	件	85.3	85.7	86.1	数値	86.3
		考え方、定義、算出方法など						年	2023
2	参考	危険物施設における災害発生件数	年度実績	件	0	0	0	数値	0
		考え方、定義、算出方法など						年	2023
3	参考	火薬類・高圧ガス・液化石油ガス施設の災害発生件数	年度実績	件	0	0	0	数値	0
		考え方、定義、算出方法など						年	2023
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	消防法、危険物の規制に関する政令、火薬類取締法、高圧ガス保安法等
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府産業保安行政事務に係る事務処理の特例に関する条例
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市火災予防条例、豊中市土地利用の調整に関する条例

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額 (当初)	1,510	人件費 (参考)	64,216
	流用増減額 (予備費充当用含む)	94	公債費 (参考)	0
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	1,604	国・府支出金	0
	決算額	1,450	地方債	0
	残額	154	その他 特定財源	181
	執行歩合	90.40%	一般財源	1,269

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計	
						(コード)	目
	防火対策の推進 (予防課) 【継続】	124	0	0	124	01	常備消防費
	危険物保安対策 【継続】	496	0	0	315	01	常備消防費
	消防用設備の設置及び開発行為に対する指導 【継続】	830	0	0	830	01	常備消防費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	防火・防災事業（予防課）	区分	継続
施策の方向性	(1) 救急救命体制および防火安全対策を強化します	総合計画掲載ページ	62
担当部局・課	562000 消防局・予防課		
関連部局・課	562500 北消防署 564500 南消防署 566500 新千里消防署		

事業概要	<p>○市民への防火・防災意識の普及啓発や事業所等の防火・防災管理体制の育成支援を行うとともに、年間を通して広く市民に防火・防災に関する普及啓発を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○秋の火災予防運動週間に豊中市内在住在学の幼稚園児や小中学生から応募のあった防火作品優秀者に対し表彰を行いました。 ○12月に女性防火クラブ員の防火防災への意識向上及び育成支援のため、阿倍野防災センターで合同研修会を行いました。 ○春の火災予防運動週間に、市内在住在勤の外国人に対し、防火防災講話を行いました。 ○高齢者福祉施設等にて高齢者を対象に防火講話を実施し防火意識の向上と防火対策を図りました。（実施数 4回）</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○豊中市内在住在学の幼稚園児童、小中学生から多数の防火作品の応募があり、作品応募者及びその家族の防火意識の高揚を図ることができました。 ○合同研修会に参加した女性防火クラブ員が、研修会で学んだ防火防災の知識を地元地域の住民に対して、自治会の会合や行事においてフィードバックすることで、市民の防火防災に対する意識向上につながりました。 ○今後も、高齢者や市内に居住する外国人への防火対策を推進することにより、住宅火災による死傷者をなくす取組みを実施します。</p>
----------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	防火作品応募数	実績値		1,508	2,358	2,484	数値	2500
		考え方、定義、算出方法など						年	2023
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	全国火災予防運動実施要綱
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	消防防災協力事業所登録制度実施要綱、豊中女性防火クラブ連絡協議会会則

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	1,473	人件費（参考）	12,256
	流用増減額 （予備費充当用含む）	△93	公債費（参考）	0
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	1,380	国・府支出金	0
	決算額	1,345	地方債	0
	残額	35	その他 特定財源	0
	執行歩合	97.46%	一般財源	1,345
			財源内訳の	

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		防火・防災普及啓発（予防課）【継続】	858	0	0	858	01
	地域防災力の充実強化（予防課）【継続】	487	0	0	487	01	常備消防費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防関係法令事務（北消防署）	区分	継続
施策の方向性	(1) 救急救命体制および防火安全対策を強化します	総合計画掲載ページ	62
担当部局・課	562500 消防局・北消防署		
関連部局・課	562000 予防課 564500 南消防署 566500 新千里消防署		

事業概要	<p>○火災等の災害の未然防止や被害の軽減を図るために、市内の防火対象物の関係者に対し、関係法令に基づき設備指導・違反是正を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○年度計画に基づく査察を実施しました。 計画件数967件 実施件数 967件 実施率100% ○重大な不備事項のある防火対象物への是正指導を継続的に実施しました。 消防用設備等未設置違反対象物33件中21件が改善しました。 防火管理者未選任違反対象物44件中25件が改善しました。 点検結果未報告違反対象物370件中238件が改善しました。</p>

当該年度の 成果・課題 解決できた課題・ 今後の方向性	<p>○新型コロナウイルス感染症の影響もありましたが、実施率100%を達成できました。特定防火対象物の法令違反については、火災が発生すれば不特定多数の人命に危険が及ぶため、不備事項改善に向けて継続した是正指導を行います。 ○福祉施設等の安全確保については、夜間帯に施設職員が減少するため、少ない人数でも迅速に避難ができる水平距離や初期消火の重要性について、査察時に防火管理者、関係者に対して継続的な指導を行います。</p>
--	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	査察実施率	実績	%	93.3	98	100	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	査察実施件数	実績	件	904	996	967	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	消防法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	火災予防条例、違反処理規程、査察規程

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	146	人件費（参考）	77,822	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	146	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	109		地方債	0
	残額	37		その他 特定財源	0
	執行歩合	74.66%		一般財源	109

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	防火対策の推進（北消防署）【継続】	109	0	0	109	01	常備消防費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	防火・防災事業（北消防署）	区分	継続
施策の方向性	(1) 救急救命体制および防火安全対策を強化します	総合計画掲載ページ	62
担当部局・課	562500 消防局・北消防署		
関連部局・課	562000 予防課 564500 南消防署 566500 新千里消防署		

事業概要	<p>○火災等の災害の未然防止や被害の軽減を図るために、火災予防に関する予防広報活動を実施します。</p> <p>○地域防災力を高めるために、管内の女性防火クラブの活動支援や自主防災組織等の育成支援をします。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○秋、春季火災予防運動を中心に、様々な機会をとらえて、住宅防火及び高齢者への防火対策について火災予防啓発活動を行いました。</p> <p>○女性防火クラブと協働し、住宅用火災警報器の設置調査及び普及啓発を行いました。</p> <p>上野地区 住宅用火災警報器設置率82.5%</p> <p>実施団体 上野校区女性防火クラブ6人</p>
---------	--

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○火災による死傷者をなくすため、地域性を鑑み消防訓練、出前講座を実施するとともに住宅用火災警報器の設置促進を行いました。また住宅用火災警報器の維持管理について、広報誌やメディア、SNS等あらゆる媒体を活用した啓発を行いました。</p> <p>○高齢者を対象とした防火対策として、防火講演等を実施し、高齢者の安全確保に取り組みます。</p>
---	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	管内女性防火クラブ・自主防災組織数	現数	組織	66	59	61	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	全国火災予防運動実施要綱
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市女性防火クラブ連絡協議会会則、火災予防運動実施要綱

【決算説明情報】

(単位: 千円)

予算・決算額等	予算額 (当初)	153	人件費 (参考)	93,839	
	流用増減額 (予備費充当用含む)	0	公債費 (参考)	0	
	予算現額 (当初+補正+繰越+流用)	153	財源内訳の 訳	国・府支出金	0
	決算額	150		地方債	0
	残額	3		その他 特定財源	0
	執行歩合	98.04%		一般財源	150

予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
地域防災力の充実強化 (北消防署) 【継続】	60	0	0	60	01	常備消防費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防関係法令事務（南消防署）	区分	継続
施策の方向性	(1) 救急救命体制および防火安全対策を強化します	総合計画掲載ページ	62
担当部局・課	564500 消防局・南消防署		
関連部局・課	562000 予防課 562500 北消防署 566500 新千里消防署		

事業概要	<p>○火災等の災害の未然防止や被害の軽減を図るために、市内の防火対象物の関係者に対し、関係法令に基づき設備指導・違反是正を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○年度計画に基づく査察を実施しました。 計画件数997件 実施件数993件 実施率99.6% ○重大な不備事項のある防火対象物への是正指導を継続的に実施しました。 消防用設備等未設置違反対象物57件中29件が改善しました。 防火管理者未選任違反対象物24件中12件が改善しました。 点検結果未報告違反違反対象物447件中227件が改善しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○新型コロナウイルス感染症の影響もありましたが、実施率99.6%を達成できました。特定防火対象物の法令違反については、火災が発生すれば不特定多数の人命に危険が及ぶため、不備事項改善に向けて継続した是正指導を行います。 ○福祉施設等の安全確保については、夜間帯に施設職員が減少するため、少ない人数でも迅速に避難ができる水平距離や初期消火の重要性について、査察時に防火管理者、関係者に対して継続的な指導を行います。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	査察実施率	実績	%	95.7	100	99.6	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	査察実施件数	実績	件	759	1,008	997	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input checked="checked" type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	消防法
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	<input checked="checked" type="checkbox"/> 豊中市条例・規則・要綱、計画等	火災予防条例、違反処理規程、査察規程

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	135	人件費（参考）	68,646	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	135	財 源 内 訳 の 決 算 額	国・府支出金	0
	決算額	92		地方債	0
	残額	43		その他 特定財源	0
	執行歩合	68.15%		一般財源	92

予算管理事業	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		防火対策の推進（南消防署）【継続】		92	0	0	92	01

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	防火・防災事業（南消防署）	区分	継続
施策の方向性	(1)救急救命体制および防火安全対策を強化します	総合計画掲載ページ	62
担当部局・課	564500 消防局・南消防署		
関連部局・課	562000 予防課 562500 北消防署 566500 新千里消防署		

事業概要	<p>○火災等の災害の未然防止や被害の軽減を図るために、火災予防に関する予防広報活動を実施します。</p> <p>○地域防災力を高めるために、管内の女性防火クラブの活動支援や自主防災組織等の育成支援をします</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○秋、春季火災予防運動を中心に、様々な機会をとらえて、住宅防火及び高齢者への防火対策について火災予防啓発活動を行いました。</p> <p>○女性防火クラブと協議し、住宅用火災警報器の設置調査及び普及啓発を行いました。</p> <p>豊島地区 住宅用火災警報器設置率91.6%</p> <p>実施団体 豊島地区女性防火クラブ3名</p>
---------	--

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○火災による死傷者をなくすため、地域性を鑑み消防訓練、出前講座を実施するとともに住宅用火災警報器の設置促進を行いました。また住宅用火災警報器の維持管理について、広報誌やメディア、SNS等あらゆる媒体を活用した啓発を行いました。</p> <p>○高齢者を対象とした防火対策として、防火講演等を実施し、高齢者の安全確保に取り組みます。</p>
---	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	管内女性防火クラブ・自主防災組織数	現数	組織	47	47	47	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	全国火災予防実施要綱
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	火災予防実施要綱、豊中女性防火クラブ連絡協議会会則

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	225	人件費（参考）	78,118	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	225	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	30		地方債	0
	残額	195		その他 特定財源	30
	執行歩合	13.33%		一般財源	0

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		防火・防災普及啓発（南消防署）【 継続】	0	0	0	0	01
	地域防災力の充実強化（南消防署） 【継続】	30	0	0	0	01	常備消防費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防関係法令事務（新千里消防署）	区分	継続
施策の方向性	(1) 救急救命体制および防火安全対策を強化します	総合計画掲載ページ	62
担当部局・課	566500 消防局・新千里消防署		
関連部局・課	562000 予防課 562500 北消防署 564500 南消防署		

事業概要	<p>○火災等の災害の未然防止や被害の軽減を図るために、市内の防火対象物の関係者に対し、関係法令に基づき設備指導・違反是正を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○年度計画に基づく防火対象物への立入検査を実施しました。 計画件数483件 実施件数483件 実施率100% ○立入検査に基づく違反是正業務を実施しました。 消防用設備等未設置違反対象物39件中29件が改善しました。 防火管理者未選任違反対象物41件中31件が改善しました。 点検結果未報告違反対象物148件中105件改善しました。 ○住宅用火災警報器の設置促進及び維持管理の推進を実施しました。 ○消防計画書の作成や消防訓練の実績など、防火管理指導を実施しました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○新型コロナウイルス感染症の影響もありましたが、実施率100%を達成できました。住宅用火災警報器の設置維持啓発など住宅防火対策に取組み、火災の未然防止や火災被害の軽減を図ることができました。</p>
解決できた課題・今後の方向性	<p>○今後も年度計画に基づく立入検査を実施し、火災による被害の軽減を図ります。また研修や合同査察などを実施することで、署全体の消防査察のレベルアップを図ります。</p>

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	査察実施率	実績	%	97	100	100	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	査察実施件数	実績	件	401	460	483	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	消防法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	火災予防条例、違反処理規程、査察規程

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	117	人件費（参考）	60,446	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	117	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	115		地方債	0
	残額	2		その他 特定財源	0
	執行歩合	98.29%		一般財源	115

予算管理事業	予算管理事業名称		決算額		国・府支出金		地方債		一般財源		会計 (コード)	目
		防火対策の推進（新千里消防署）【 継続】		115	0	0	0	115	01	常備消防費		

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	防火・防災事業（新千里消防署）	区分	継続
施策の方向性	(1)救急救命体制および防火安全対策を強化します	総合計画掲載ページ	62
担当部局・課	566500 消防局・新千里消防署		
関連部局・課	562000 予防課 562500 北消防署 564500 南消防署		

事業概要	<p>○火災等の災害の未然防止や被害の軽減を図るために、火災予防に関する予防広報活動を実施します。</p> <p>○地域防災力を高めるために、管内の女性防火クラブの活動支援や自主防災組織等の育成支援をします。</p>
当該年度の実績	<p>○秋、春季火災予防運動を中心に、様々な機会をとらえて、住宅防火及び高齢者への防火対策について火災予防啓発活動を行いました。</p> <p>○女性防火クラブと協働し、住宅用火災警報器の設置調査及び普及啓発を行いました。</p> <p>上新田地区 住宅用火災警報器設置率88%</p> <p>実施団体 上新田校区女性防火クラブ人</p>

当該年度の成果・課題	<p>○管内の女性防火クラブ及び自主防災組織等を育成支援することにより、地域防災力の向上が図られました。今後も地域防災力の向上を図るため、継続的な育成支援を行います。</p> <p>○高齢者を対象とした防火対策として、防火講演等を実施し、高齢者の安全確保に取り組みます。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	管内女性防火クラブ・自主防災組織数	現数	組織	81	81	81	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	自主防災組織	現数	組織	72	72	72	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3	参考	自主防災組織訓練実施率	現数	%	68.1	65.3	69	数値	60
		考え方、定義、算出方法など						年	2023
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	全国火災予防運動実施要綱
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	火災予防運動実施要綱、豊中女性防火クラブ連絡協議会会則

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	174	人件費（参考）	68,648	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	174	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	170		地方債	0
	残額	4		その他 特定財源	0
	執行歩合	97.70%		一般財源	170

予算管理事業	予算管理事業名称		決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		地域防災力の充実強化（新千里消防署）【継続】		60	0	0	60	01
	防火・防災普及啓発（新千里消防署）【継続】		110	0	0	110	01	常備消防費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防の広域連携の推進事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 消防体制を充実強化します	総合計画掲載ページ	63
担当部局・課	560100 消防局・消防総務課		
関連部局・課	561500 消防指令センター		

事業概要	<p>○消防行政の効率化及び相互の消防力の強化を図るために、消防の広域連携を推進します。</p> <p>○豊能地区の消防体制の強化を図るために、平成27年4月に受託した能勢町の消防事務の適切な運用、管理及び執行を行います。</p> <p>○効率的かつ効果的な消防資源の有効活用と消防体制面の強化を図るために、現在2市（豊中市・池田市）で運用している消防指令業務を5市（豊中市・吹田市・池田市・摂津市・箕面市）へ拡充し、より広域的な組織とします。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○近隣市長との消防の広域連携について検討を行いました。</p> <p>○計画等に基づき能勢町の消防事務を管理・執行しました。</p> <p>○令和6年4月からの5市での消防指令業務共同運用開始に向けて、協議会で広域消防指令情報システム構築業務の事業者を選定し、システム構築を進めたほか、運用規定の整備等に係わる検討を行いました。</p>
---------	---

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○消防の広域連携の検討を進めることができました。消防体制の強化及び消防資源の有効活用の観点から今後も消防広域連携について検討を進めます。</p> <p>○能勢町の消防事務について、計画等に沿って管理・執行することができました。相互の消防力の強化を図るとともに、住民の安心安全が向上するよう、今後も計画等に沿って、能勢町の消防事務を管理・執行します。</p> <p>○令和6年4月からの5市での消防指令業務共同運用開始に向け調整、準備を行うことができました。令和5年度も引き続き、調整、準備を行います。</p>
---	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	5市消防通信指令事務協議会開催数	実績値		3	4	1	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	地方自治法、消防組織法、市町村の消防の広域化に関する基本指針
	■大阪府条例・規則・要綱、計画等	大阪府消防広域化推進計画
	□豊中市条例・規則・要綱、計画等	

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	9,293	人件費（参考）	6,926																																																																																																																																																																																													
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0																																																																																																																																																																																													
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	9,293	国・府支出金	0																																																																																																																																																																																													
	決算額	9,290	地方債	9,000																																																																																																																																																																																													
	残額	3	財源内訳の その他 特定財源	204																																																																																																																																																																																													
	執行歩合	99.97%	一般財源	86																																																																																																																																																																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>予算管理事業名称</th> <th>決算額</th> <th>国・府支出金</th> <th>地方債</th> <th>一般財源</th> <th>会計 (コード)</th> <th>目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消防の広域連携の推進【継続】</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>01</td> <td>常備消防費</td> </tr> <tr> <td>能勢町消防事務の受託【継続】</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>01</td> <td>常備消防費</td> </tr> <tr> <td>消防指令業務共同運用の拡充【継続】</td> <td>9,290</td> <td>0</td> <td>9,000</td> <td>86</td> <td>01</td> <td>常備消防費</td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>					予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目	消防の広域連携の推進【継続】	0	0	0	0	01	常備消防費	能勢町消防事務の受託【継続】	0	0	0	0	01	常備消防費	消防指令業務共同運用の拡充【継続】	9,290	0	9,000	86	01	常備消防費																																																																																																																																																																
予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目																																																																																																																																																																																											
消防の広域連携の推進【継続】	0	0	0	0	01	常備消防費																																																																																																																																																																																											
能勢町消防事務の受託【継続】	0	0	0	0	01	常備消防費																																																																																																																																																																																											
消防指令業務共同運用の拡充【継続】	9,290	0	9,000	86	01	常備消防費																																																																																																																																																																																											
予算管理事業																																																																																																																																																																																																	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防体制の強化（消防総務課）	区分	継続
施策の方向性	(2) 消防体制を充実強化します	総合計画掲載ページ	63
担当部局・課	560100 消防局・消防総務課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○救急業務の高度化を図り、傷病者の救命率向上や的確な救急搬送を確保するために、救急救命士を養成します。</p> <p>○職員の安全と規律の確保を行うために、必要な被服・装備品等を整備します。</p> <p>○職員の士気高揚及び災害対応力の強化を図るために、消防局人材育成実施計画に基づき、人材育成制度の充実を図ります。</p> <p>○消防体制の強化を図るために、「消防・救急救命基金」の適切な管理、運用を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○救急救命士を計画通り養成し、救急救命士の活動に必要な研修等を受講しました。</p> <p>○消防活動に必要な被服等を計画的に整備・改修するとともに、仕様の見直し等を行いました。</p> <p>○計画に基づき、研修制度の充実など人材育成に関する取組みを進めました。</p> <p>○「消防・救急救命基金」の適切な管理、運用を行いました。</p>

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○救急救命士を計画通り養成することができました。今後も計画的に養成することで、救急業務の高度化を図ります。</p> <p>○計画通り、被服・装備品等を整備することができました。今後も、計画的に被服や装備品等について検討し、計画的な整備を行います。</p> <p>○計画通り人材育成制度を推進することができました。今後も人材育成に関する取組みを推進し、職員の士気高揚、災害対応能力の強化を図ります。</p> <p>○「消防・救急救命基金」を適切に管理、運用できました。今後も積極的な広報等により寄附金を募り、ふるさと納税の活性化を図るとともに、基金の適切な運用管理を行います。</p>
---	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	救急救命士養成者数	実績値	人	5	5	5	数値	
	考え方、定義、算出方法など								
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	救急業務実施基準、消防吏員服制基準
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	救急業務実施要綱、消防吏員服制規則、消防吏員服制規程、消防局人材育成実施計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	60,348	人件費（参考）	16,396
	流用増減額 （予備費充当用含む）	1	公債費（参考）	0
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	60,349	国・府支出金	0
	決算額	45,147	地方債	0
	残額	15,202	その他 特定財源	7,990
	執行歩合	74.81%	一般財源	37,157
			財源内訳の	

	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計		
						(コード)	目	
予算管理事業	救急救命士の養成【継続】	7,571	0	0	7,392	01	常備消防費	
	消防被服の整備【継続】	23,759	0	0	23,759	01	常備消防費	
	人材育成制度の充実【継続】	6,006	0	0	6,006	01	常備消防費	
	消防・救急救命基金【継続】	7,811	0	0	0	01	常備消防費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防団の充実強化	区分	継続
施策の方向性	(2) 消防体制を充実強化します	総合計画掲載ページ	63
担当部局・課	560100 消防局・消防総務課		
関連部局・課	560500 警防課		

事業概要	<p>○消防団活動の活性化を図り、災害に強いまちづくりを推進するために、消防団員確保を図るとともに、消防団員の訓練、教養の実施や、広報活動を支援します。</p> <p>○地域防災力の向上を図るために、地域の安全を守る消防団の拠点である各分団屯所の維持管理を行います。</p> <p>○地域防災力の向上を図るために、各分団の消防ポンプ自動車の維持管理を行います。</p> <p>○消防団屯所及び設備を適正に維持するため、計画的に改修工事等を実施します。</p> <p>○とよなか起業チャレンジセンターが移転することとなったため、現地に螢池分団屯所の建替を行います。</p>
------	---

当該年度の実績	<p>○消防団のポンプ車操法訓練や消防団の広報活動を行いました。</p> <p>○消防団屯所の管理業務及び維持補修工事を行いました。</p> <p>○消防団車両の維持管理業務（修繕・点検・車検等）を行いました。</p> <p>○消防団屯所の改修計画の検討を行いました。</p> <p>○螢池分団屯所の建替工事を行いました。</p> <p>令和4年度の消防団訓練実績</p> <p>○ポンプ操法訓練・・・11回</p> <p>○幹部教養訓練・・・11回</p> <p>○歳末警戒・・・3回</p> <p>○地水利調査・・・1回</p> <p>○規律訓練・・・3回</p> <p>○消防出初式・・・1回</p> <p>○豊能地区支部総合訓練大会・・・1回</p> <p>○大阪府消防大会・・・1回</p> <p>○豊能地区支部教養訓練・・・6回</p> <p>○資機材等取扱訓練・・・243回</p> <p>○予防広報活動・・・57回</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○火災等の各種災害から市民の安心安全を確保するだけでなく、駅前・街頭でのビラ配りなどの広報活動及びポンプ車操法訓練など各種教育訓練を行うことで、消防団の充実強化を図ることができました。今後も引き続き消防団の充実強化を図ります。</p> <p>○消防団屯所の適切な維持管理を行うことができました。今後も継続して豊中市公共施設等総合管理計画に基づき、防災拠点である消防団屯所の適切な維持管理を行います。</p> <p>○消防団車両の適切な維持管理を行うことができました。今後も市民の安心安全を守るため、消防車両更新計画に基づき、消防団車両の適切な維持管理を行います。</p> <p>○令和4年度は改修の計画がありませんでした。今後も消防団屯所及び設備を適正に維持するため、消防団屯所の改修計画の検討を行います。</p> <p>○螢池分団屯所の建替工事を行いました。令和6年度竣工予定となっています。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	消防団員数	3月末日団員数	人	516	489	490	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防庁舎等施設管理事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 消防体制を充実強化します	総合計画掲載ページ	63
担当部局・課	560100 消防局・消防総務課		
関連部局・課			

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○災害に強いまちづくりを推進するために、防災拠点である消防庁舎を適切に維持管理します。 ○消防車両を常時稼働させるために、必要な燃料を調達します。 ○災害に強いまちづくりを推進するために、老朽化した消防庁舎設備の更新整備を行います。 ○消防拠点機能の強化を図るために、東泉丘消防出張所の再整備を検討します。 ○消防庁舎を適正に維持するために、計画的に改修工事を実施します。
------	--

当該年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ○消防施設の維持管理を行いました。 ○消防局が所管する自家給油設備の燃料調達業務及び消防車両の給油カードの管理を行いました。 ○消防庁舎設備の更新計画を作成しました。 ○東泉丘出張所北側用地の整備について検討を行いました。 ○令和4年度は消防庁舎の改修計画はありませんでした。
---------	--

当該年度の 成果・課題 解決できた課題・ 今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ○各施設適切な維持管理を行うことができました。今後も光熱水費の抑制に取り組むなど、各施設の適切な維持管理を行うとともに、老朽化した庁舎については計画的な改修を実施します。 ○自家給油設備の燃料調達業務及び消防車両の給油カードの管理を適切に行うことができました。今後も自家給油設備の燃料調達業務及び消防車両の給油カードの管理を適切に行うとともに、燃料単価の低い自家給油設備の使用促進を図ります。 ○消防庁舎設備の更新計画を作成することができました。今後は作成した計画に基づき設備の改修を行います。 ○東泉丘出張所周辺の開発工事に合わせて北側用地の整備について検討を行いました。今後も周辺の開発工事に合わせて検討を行います。 ○令和4年度は消防庁舎の改修計画はありませんでした。今後も消防庁舎を適正に維持するために、改修工事を計画的に行います。
--	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	電気使用量	実績値	kWh	1,175,280	1,194,263	1,158,934	数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
2	参考	ガス使用量	実績値	m ³	66,012	55,366	57,488	数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
3	参考	水道使用量	実績値	m ³	15,689	15,106	15,161	数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
4	参考	自家給油補給率	実績値	%	40	47	47	数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市消防局組織規則、豊中市消防局・北消防署合同庁舎管理規程、豊中市消防署組織規程

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	71,431	人件費（参考）	10,370	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	1,477	公債費（参考）	46,127	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	97,194	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	86,675		地方債	0
	残額	10,519		その他 特定財源	0
	執行歩合	89.18%		一般財源	86,675

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
		消防庁舎施設管理【継続】	64,003	0	0	64,003	01
	消防車両燃料管理【継続】	22,672	0	0	22,672	01	常備消防費
	消防庁舎設備の整備【継続】	0	0	0	0	01	消防施設整備費
	東泉丘消防出張所の再整備【継続】	0	0	0	0	01	消防庁舎整備費
	消防庁舎改修事業【継続】	0	0	0	0	01	消防庁舎整備費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防一声訪問事業（警防課）	区分	継続
施策の方向性	(2) 消防体制を充実強化します	総合計画掲載ページ	63
担当部局・課	560500 消防局・警防課		
関連部局・課	561500 消防指令センター 562500 北消防署 564500 南消防署 566500 新千里消防署		

事業概要	<p>○避難、救出体制を強化するために、避難行動要支援者への一声訪問を行います。 ・ひとり暮らしの高齢者や重度障害者を訪問し、状況の把握と避難方法や防火の指導を行うことで、避難行動要支援者対策の強化を図ります。</p>
当該年度の実績	<p>○避難行動要支援者への一声訪問を実施 対象者への訪問実施率は100%を維持しており、訪問時には状況の把握だけでなく、防火指導を行いました。</p>

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○避難行動要支援者の状況を把握し、防火指導を行うことで、災害時における迅速な避難と救出対応の強化を図ることができました。 ○10,000人を超える対象者への効率的、効果的な訪問方法を早急に構築する必要があります。</p> <p>○今後も、避難・救出体制を強化するために、継続して避難行動要支援者への一声訪問を実施します。</p>
---	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	訪問実施率	担当課調査	%	100	100	100	数値	
	考え方、定義、算出方法など	訪問実施率を算出（訪問者数÷全訪問対象者数×100）							
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市消防計画、豊中市消防一声訪問事業実施要綱、一声訪問セキュリティーマニュアル

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	3	人件費（参考）	664	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	3	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	2		地方債	0
	残額	1		その他 特定財源	0
	執行歩合	66.67%		一般財源	2

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	消防一声訪問（警防課）【継続】	2	0	0	2	01	常備消防費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防体制の強化（警防課）	区分	継続
施策の方向性	(2) 消防体制を充実強化します	総合計画掲載ページ	63
担当部局・課	560500 消防局・警防課		
関連部局・課	562500 北消防署 564500 南消防署 566500 新千里消防署		

事業概要	<p>○災害に係る様々な危険要因から市民生活の安心、安全を確保するために、災害活動の効率化と安全管理の徹底を図り、消防力の体制を充実強化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救助活動の高度化 ・災害対応力の強化 ・特殊災害対応力の強化
------	--

当該年度の実績	<p>○高度救助隊による救助隊員の救助技術向上のための研修や訓練を実施しました。</p> <p>○指揮調査隊による各種訓練の企画立案及び訓練指導を実施しました。</p> <p>○特別消火隊による消火技術向上のための研究や訓練を実施しました。</p> <p>○災害時におけるLIVE119を活用した現場情報共有を実施しました。</p> <p>○特殊災害対策専門班による部内研修や訓練を実施しました。</p>
---------	--

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○年度を通して、各種災害における研修や訓練を行うことで、消防体制の充実強化が図られました。</p> <p>○継続して、高度救助隊を中心とした救助技術の向上を図ります。</p> <p>○継続して、指揮調査隊を中心に、現場指揮体制の充実強化を図ります。</p> <p>○継続して、特別消火隊を中心とした消火技術の向上を図ります。</p> <p>○現場情報共有方法については、さらに研究を重ねていきます。</p> <p>○継続して、特殊災害対策専門班を中心に、特殊災害対策の対応力強化を図ります。</p>
---	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	特殊災害対応訓練	教育訓練計画書	回	3	3	3	数値	
	考え方、定義、算出方法など	特殊災害等対応合同訓練、震災対策訓練、水防訓練等の特殊災害対応訓練の年度内訓練回数							
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市消防警防規程、救助業務実施要綱、豊中市消防活動基準、特殊災害対策基準

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	1,890	人件費（参考）	71,009	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	1,890	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	1,787		地方債	0
	残額	103		その他 特定財源	0
	執行歩合	94.55%		一般財源	1,787

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	特殊災害対応力の強化【継続】	543	0	0	543	01	常備消防費
	救助体制の強化【継続】	544	0	0	544	01	常備消防費
	警防体制の強化【継続】	700	0	0	700	01	常備消防費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防水利の管理・整備事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 消防体制を充実強化します	総合計画掲載ページ	63
担当部局・課	560500 消防局・警防課		
関連部局・課	233000 公園みどり推進課 530000 上下水道局 562500 北消防署 564500 南消防署 566500 新千里消防署		

事業概要	<p>○各種災害から市民の安心安全を確保するために、災害時に活用する消防水利等の維持管理、整備を計画的に行い、消防力の充実を図ります。</p>
当該年度の実績	<p>○消防水利及び消防施設の維持管理を計画通りに実施し、市民の安心・安全に寄与しました。</p> <p>○耐震性貯水槽1基整備しました。</p>

当該年度の 成果・課題 解決できた課題・ 今後の方向性	<p>○消防水利及び消防施設の維持管理を計画通りに実施できています。災害に強い街づくり推進のため、今後も引き続き実施していきます。</p>
--	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	耐震性貯水槽の整備	実績	基	1	1	1	数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など							年	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防車両・資機材の整備事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 消防体制を充実強化します	総合計画掲載ページ	63
担当部局・課	560500 消防局・警防課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○消防力の充実を図るために、災害現場で消防隊が活用する資機材や、各種消防車両の維持管理、整備を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○消防資機材について、常時使用可能な状態を維持し、計画的な整備を行いました。 ○消防車両及び車両に関連する資機材について、計画的な点検整備を行いました。 ○更新消防車両 * 高規格救急自動車 2台 * 災害対応特殊化学車 1台 * 人員搬送車 1台 * 消防ポンプ自動車 1台 * 小型動力ポンプ（B3級） 2台 * 小型動力ポンプ（C1級） 1台</p>

当該年度の 成果・課題 解決できた課題・ 今後の方向性	<p>○各車両、及び消防資機材については、計画的に点検整備を行い、常時使用可能な状態を維持することができました。 ○更新計画に沿った更新が出来ていない車両の維持管理が課題となります。 ○各種消防車両、及び消防資機材について計画的な更新・点検整備を行うことで、各種災害に対応できるようにします。</p>
--	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	消防車両更新台数	実績	台	3	3	8	数値	
		考え方、定義、算出方法など	年間更新台数						
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など							

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	消防組織法、消防力の整備指針、道路運送車両法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市消防計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	255,196	人件費（参考）	13,277	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	27,603	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	255,196	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	21,169
	決算額	247,461		地方債	6,200
	残額	7,735		その他 特定財源	52,474
	執行歩合	96.97%		一般財源	167,618

	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目	
	予算管理事業	消防車両の更新整備【継続】	167,375	21,169	6,200	93,232	01	消防施設整備費
消防資機材の整備【継続】		17,956	0	0	17,956	01	常備消防費	
消防車両管理【継続】		62,130	0	0	56,430	01	常備消防費	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	火災原因・損害調査	区分	継続
施策の方向性	(2) 消防体制を充実強化します	総合計画掲載ページ	63
担当部局・課	560500 消防局・警防課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○火災予防を中心とする消防行政を効果的かつ効率的に推進するための資料を得るために、火災の原因調査及び火災による損害の調査を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災に関する情報を提供し、類似火災の防止と被害の軽減を図ります。 ・出火原因を究明し、予防対策、警防対策上の資料とします。 ・延焼及び拡大原因、死傷者の発生原因及び防火管理状況等を究明し、予防及び警防対策上の資料とします。 ・火災の発生状況、出火原因、損害状況等を統計化するとともに、広く火災の情報を収集し、行政対策の資料とします。
当該年度の実績	<p>○発生した火災の原因調査及び火災による損害調査を行いました。</p> <p>○火災の原因などを統計にし、ホームページで広報を行いました。</p> <p>○り災証明書等交付申請の電子申込システム化を行いました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○火災原因や損害を調査し、分析し、広報を行うことで類似火災の予防を図ることができました。</p> <p>○り災証明書等交付申請の電子申込システム化を行うことで、市民サービスに寄与することができました。</p> <p>○類似火災の未然防止を図るため、今後も質の高い調査業務に取り組みます。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	豊中市出火件数（年統計）	消防活動統計	件	78	65	72	数値	
	考え方、定義、算出方法など	年間の火災発生件数（年統計）							
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	救急資機材の整備事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 消防体制を充実強化します	総合計画掲載ページ	63
担当部局・課	561000 消防局・救急救命課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○救急活動が円滑に行えるよう救急資機材の保守、点検を行うとともに、救急消耗品を適切に調達、管理します。</p> <p>○救急活動に従事する消防職員の新型インフルエンザ等への感染を防ぐため、感染防止資機材を整備、備蓄します。</p> <p>○新型インフルエンザ等発生時に適切な業務が遂行できるよう各関係機関との合同訓練等に参加し、対応力の強化を図ります。</p>
当該年度の実績	<p>○除細動器（13式）、ストレッチャー（6台）の保守、点検を行いました。</p> <p>○救急消耗品を適切に調達、管理しました。</p> <p>○感染防止対策資器材をローリングストック方式により、調達、備蓄を行いました。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症傷病者搬送を円滑に行うため、豊中市保健所と調整を行い、感染防止対策の連携強化を図りました。</p> <p>○救急隊員の感染防止を図るため、豊中市保健所主催の感染防護具脱着訓練に参加しました。（1回 3名）</p>

当該年度の成果・課題	<p>○救急資機材の保守、点検、救急消耗品の調達、管理することにより、救急活動を円滑に行うことはできました。今後、救急件数増加による資器材管理方法についてが課題です。</p> <p>○感染防止対策資器材を新型インフルエンザ等消防業務対応マニュアルに基づき、ローリングストック方式により計画的・適切に備蓄・管理したことにより、安全に活動することができました。今後も引き続き、計画的に管理します。</p> <p>○豊中市保健所主催の感染防護具脱着訓練に参加することにより、救急活動中に新型コロナウイルス感染症に罹患することなく活動することができました。今後も引き続き感染対策に留意します。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	資器材備蓄数(ディスポ手袋)	年度実績	枚	0	15,000	15,000	数値	36,000枚
		考え方、定義、算出方法など	ローリングストック方式にて管理						
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など							
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など							

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市新型インフルエンザ対策行動計画、新型インフルエンザ対策消防業務継続計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	19,797	人件費（参考）	6,895			
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0			
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	19,797	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0		
	決算額	17,259		地方債	0		
	残額	2,538		その他 特定財源	1,084		
	執行歩合	87.18%		一般財源	16,175		
	予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)
救急資機材の整備【継続】		16,511	0	0	15,427	01	常備消防費
新型インフルエンザ対策【継続】		748	0	0	748	01	常備消防費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防指令業務の共同運用事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 消防体制を充実強化します	総合計画掲載ページ	63
担当部局・課	561500 消防局・消防指令センター		
関連部局・課			

事業概要	<p>○消防資源の効率的な運用による費用の節減を図るとともに、スケールメリットを活かした消防体制の強化を図るために、池田市と共同消防指令センターを共同整備・運用します。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○消防防災情報システムの効率的な運用管理業務を行いました。 ○様々な災害に対し、必要な応援隊を迅速に出場させ、被害を最小限に抑えました。 ○現状の管内実地調査に加えて、5市での消防指令業務共同運用を見据え5市管内の実地調査を実施しました。 ○映像通報システム(Live119)を活用し、効率的な情報伝達が図れました。（令和4年度実績114件）</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○5市管内全体の情勢が概ね把握できました。今後も調査を継続し、令和6年4月の5市での消防指令業務共同運用を円滑に開始できるよう努めます。 ○映像通報システム(Live119)については、円滑な通報に繋げるため、市民への広報を実施し、普及啓発を図るとともに、積極的な活用をすすめます。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	能勢町管内実地調査	実績値	人		24	27	数値	24
		考え方、定義、算出方法など						年	3
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防一声訪問事業（北消防署）	区分	継続
施策の方向性	(2) 消防体制を充実強化します	総合計画掲載ページ	63
担当部局・課	562500 消防局・北消防署		
関連部局・課	560500 警防課 564500 南消防署 566500 新千里消防署		

事業概要	○避難行動要支援者の実態把握するために、定期的に一声訪問を実施します。
当該年度の実績	○消防一声訪問を行い、避難行動要支援者の実態把握を行いました。新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底し、重度の避難行動要支援者を中心に訪問し、指導を行いました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○3,285件の消防一声訪問を実施しました。事業開始以降、市内での建物火災件数が最小（41件）となり、火災の未然防止に繋がりました。 ○継続して消防一声訪問を行い避難行動要支援者の把握に努めるとともに、災害時の避難における行動要領や住宅防火に関する注意喚起を行い、市民生活の安全確保に向けた取り組みと熱中症対策を含めた広報を実施します。
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	訪問件数	年度実績	件	3,182	3,354	3,285	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市消防計画、豊中市一声訪問事業実施要綱

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	3	人件費（参考）	79,123	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	3	財源内訳の 決算額の	国・府支出金	0
	決算額	3		地方債	0
	残額	0		その他 特定財源	0
	執行歩合	100.00%		一般財源	3

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	消防一声訪問（北消防署）【継続】	3	0	0	3	01	常備消防費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防活動（北消防署）	区分	継続
施策の方向性	(2) 消防体制を充実強化します	総合計画掲載ページ	63
担当部局・課	562500 消防局・北消防署		
関連部局・課	564500 南消防署 566500 新千里消防署		

事業概要	<p>○市民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、災害等による被害を軽減するために、火災・警戒活動、救急活動及び救助活動を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○特別消火隊、高度救助隊が中心となり、各種の訓練、教養を実施することにより、災害対応力の強化を図りました。 ○消火隊、救助隊が部隊連携訓練を実施しました。 237人、12回、34時間 ○特別消火隊が中心となり、火災防ぎょ実戦訓練を実施しました。 45人、3回、6時間 ○実火災型体験訓練として、府立消防学校においてホットトレーニング訓練を実施しました。 60人、3回、9時間 ○特殊災害研修として、航空機、危険物、集団災害及び山林災害対策を主に研修及び訓練を実施しました。 90人、4回、12時間</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○各種災害に即した実働訓練や教育研修などを継続的に実施することで、災害対応力の強化が図られました。 ○効果的かつ効率的な災害活動を行うため、消防戦術の再確認と、知識、技術の習得のため、今後も計画的、継続的な教育訓練を実施していきます。また、特殊災害や山林災害に対する知識、技術の向上を図り、林野火災や山岳救助への更なる対応力向上に取り組みます。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	火災件数	実績	件	19	25	27	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	警戒件数	実績	件	856	881	918	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3	参考	救助件数	実績	件	278	238	257	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4	参考	救急件数	実績	件	8,147	8,576	9,966	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	■国の法律・政令・省令、計画等	消防組織法、消防法
	□大阪府条例・規則・要綱、計画等	
	■豊中市条例・規則・要綱、計画等	豊中市消防計画

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	1,139	人件費（参考）	641,433	
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0	
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	1,139	財源内訳の	国・府支出金	0
	決算額	1,137		地方債	0
	残額	2		その他 特定財源	0
	執行歩合	99.82%		一般財源	1,137

予算管理事業	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計	
						(コード)	目
	火災・警戒活動（北消防署）【継続】	51	0	0	51	01	常備消防費
	救急活動（北消防署）【継続】	0	0	0	0	01	常備消防費
	救助活動（北消防署）【継続】	1,086	0	0	1,086	01	常備消防費

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防一声訪問事業（南消防署）	区分	継続
施策の方向性	(2) 消防体制を充実強化します	総合計画掲載ページ	63
担当部局・課	564500 消防局・南消防署		
関連部局・課	560500 警防課 562500 北消防署 566500 新千里消防署		

事業概要	○避難行動要支援者の実態把握するために、定期的に一声訪問を実施します。
当該年度の実績	○消防一声訪問を行い、避難行動要支援者の実態把握を行いました。新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底し、重度の避難行動要支援者を中心に訪問し、指導を行いました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○3,718件の消防一声訪問を実施しました。事業開始以降、市内での建物火災件数が最小（41件）となり、火災の未然防止に繋がりました。 ○継続して消防一声訪問を行い避難行動要支援者の把握に努めるとともに、災害時の避難における行動要領や住宅防火に関する注意喚起を行い、市民生活の安全確保に向けた取り組みと熱中症対策を含めた広報を実施します。
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	訪問件数	年度実績	件	3,798	3,917	3,718	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

【事業情報】

根拠法令・計画等	<input type="checkbox"/> 国の法律・政令・省令、計画等	
	<input type="checkbox"/> 大阪府条例・規則・要綱、計画等	
		豊中市消防計画、豊中市一声訪問事業実施要綱

【決算説明情報】

(単位：千円)

予算・決算額等	予算額（当初）	3	人件費（参考）	59,324
	流用増減額 （予備費充当用含む）	0	公債費（参考）	0
	予算現額 （当初+補正+繰越+流用）	3	財源内訳の 国・府支出金 地方債 その他 特定財源 一般財源	0
	決算額	0		0
	残額	3		0
	執行歩合	0.00%		0

	予算管理事業名称	決算額	国・府支出金	地方債	一般財源	会計 (コード)	目
	予算管理事業	消防一声訪問（南消防署）【継続】	0	0	0	0	01

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防活動（南消防署）	区分	継続
施策の方向性	(2) 消防体制を充実強化します	総合計画掲載ページ	63
担当部局・課	564500 消防局・南消防署		
関連部局・課	562500 北消防署 566500 新千里消防署		

事業概要	<p>○市民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、災害等による被害を軽減するために、火災・警戒活動、救急活動及び救助活動を行います。</p>
当該年度の実績	<p>○消火隊、特別救助隊が中心となり、各種の訓練、教養を実施することにより、災害対応力の強化を図りました。</p> <p>○消火隊、救助隊連携訓練及び火災防ぎょ実戦訓練を実施しました。 延244時間</p> <p>○実火災型体験訓練として、府立消防学校においてホットトレーニング訓練を実施しました。 17名1回延51時間</p> <p>○特殊災害研修として、C災害研修を実施しました。 63名延63時間</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○各種災害に即した実働訓練や教育研修などを継続的に実施することで、災害対応力の強化が図られました。</p> <p>○効果的かつ効率的な災害活動を行うため、消防戦術の再確認と、知識、技術の習得のため、今後も計画的、継続的な教育訓練を実施していきます。また、特殊災害等に対する知識、技術の向上を図り、NBC災害等への更なる対応力向上に取り組めます。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	火災件数	実績	件	32	32	42	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	警戒件数	実績	件	728	849	770	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3	参考	救助件数	実績	件	151	152	181	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4	参考	救急件数	実績	件	7,877	8,248	9,139	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防一声訪問事業（新千里消防署）	区分	継続
施策の方向性	(2) 消防体制を充実強化します	総合計画掲載ページ	63
担当部局・課	566500 消防局・新千里消防署		
関連部局・課	560500 警防課 562500 北消防署 564500 南消防署		

事業概要	○避難行動要支援者の実態把握するために、定期的に一声訪問を実施します。
当該年度の実績	○消防一声訪問を行い、避難行動要支援者の実態把握を行いました。新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底し、重度の避難行動要支援者を中心に訪問し、指導を行いました。

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○3,409件の消防一声訪問を実施しました。事業開始以降、市内での建物火災件数が最小（41件）となり、火災の未然防止に繋がりました。 ○継続して消防一声訪問を行い避難行動要支援者の把握に努めるとともに、災害時の避難における行動要領や住宅防火に関する注意喚起を行い、市民生活の安全確保に向けた取り組みと熱中症対策を含めた広報を実施します。
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	訪問件数	年度実績	件	3,486	3,589	3,409	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消防活動（新千里消防署）	区分	継続
施策の方向性	(2) 消防体制を充実強化します	総合計画掲載ページ	63
担当部局・課	566500 消防局・新千里消防署		
関連部局・課	562500 北消防署 564500 南消防署		

事業概要	<p>○市民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、災害等による被害を軽減するために、火災・救急・救助・警戒活動を行います。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○火災・救急・救助・警戒事案に対する災害活動を実施しました。 ○消火隊・梯子隊・救助隊が各種災害に則した実働訓練や教育研修を実施しました。 182名、9回、24時間 ○実火災型体験訓練として、府立消防学校においてホットトレーニング訓練を実施しました 18人、3回、9時間 ○NBC災害及び地下街災害訓練を実施しました。 69人、4回、12時間</p>
---------	--

当該年度の 成果・課題 解決できた課題・ 今後の方向性	<p>○各種災害に即した実働訓練や教育研修などを継続的に実施することで、災害対応力の強化が図られました。 ○効果的かつ効率的な災害活動を行うため、消防戦術の再確認と、知識、技術の習得のため、今後も計画的、継続的な教育訓練を実施していきます。</p>
--	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	火災件数	実績	件	23	14	19	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	警戒件数	実績	件	743	854	929	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3	参考	救助件数	実績	件	94	97	125	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4	参考	救急件数	実績	件	6,189	2,192	1,799	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	



2-4 暮らしの安全対策の充実

災害、犯罪、事故などの安全対策を進めるとともに、自ら守る、地域で守るという意識の醸成を図ります。

施策の方向性・主な取組み	事務事業数
事務事業名称	担当課
(1)防災力の充実強化を図ります	5事業
①防災対策の充実強化	
②地域防災力の充実強化	
防災関連事業	危機管理課 危機管理課
感染症対策関連事業	総務部 行政総務課
水防対策事業(基盤管理課)	都市基盤部 基盤管理課
水防対策事業(基盤保全課)	都市基盤部 基盤保全課
水防対策事業(維持修繕課)	都市基盤部 維持修繕課
(2)犯罪や消費者被害などの予防、被害拡大防止を図ります	4事業
①地域の防犯活動への支援	
②防犯対策の充実	
③消費者被害対策の充実	
防犯関連事業	危機管理課 危機管理課
暴力団排除推進事務	総務部 法務・コンプライアンス課
消費生活事業	市民協働部 くらし支援課
生活情報センター事業	市民協働部 くらし支援課
(3)交通安全意識の向上を図ります	1事業
①交通安全教育の推進	
②交通安全啓発の推進	
安全対策事業	都市基盤部 交通政策課

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	防災関連事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 防災力の充実強化を図ります	総合計画掲載ページ	64
担当部局・課	030100 危機管理課・危機管理課		
関連部局・課	430000 都市基盤部 530000 上下水道局 560000 消防局 999999 全部局		

事業概要	<p>○大規模災害などの危機事態に対応するため、豊中市地域防災計画に基づき、災害対応力の強化を図ります。また、自助・共助による地域防災力の向上に向けた支援や啓発を進めます。</p>
当該年度の実績	<p>○一人ひとりの防災意識の醸成を図るために課長級対象研修(コロナ禍のため動画配信で実施)及び新規採用職員研修を実施しました。また、組織として危機事態に対処できるよう、豊能地区3市2町合同防災訓練において各部局が一同に集結し図上訓練を行いました。</p> <p>○マイ・タイムライン作成支援ツールの導入について、調査・研究を行いました。</p> <p>○【拡充】総合ハザードマップに掲載している情報を視覚障害のある方が取得し利用できるよう「総合ハザードマップ点訳版・音訳版」を作成し、提供しました。</p> <p>○災害時の対応強化を図るため、民間事業者と応援協定等を6件締結しました。</p> <p>○洪水・高潮避難ビルとして新たに1施設を追加しました。</p> <p>○【拡充】南海トラフ巨大地震をはじめとした大規模災害に対してそれぞれ最大の被害をもたらす災害を想定し、被災者支援のために特に必要とする食料などを重要物資と位置づけ、府と市で1:1を基本とした役割分担の下、必要量を計画的に備蓄し、感染症対策のための物資の備蓄を行いました。</p> <p>○避難所の環境改善に向け、小・中学校12施設において、簡易ベッド、簡易テント、不織布毛布の配備場所を確保しました。</p> <p>○【拡充】風水害時における避難情報発令の判断材料の充実を図るために、旧猪名川に河川監視カメラを設置しました。</p> <p>○校区自主防災組織等に対して、とよなか防災アドバイザー派遣、防災出前講座の実施、防災訓練の支援を行いました。</p> <p>○避難行動要支援者対策については、避難支援等関係者へ名簿を提供するとともに、福祉部と連携し、避難支援等関係者が実施する訓練への支援を行うとともに、モデル校区において個別避難計画の作成にかかる検証を行いました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○大規模災害などの危機事象に対応するため、組織力が発揮できるよう災害対応訓練を実施し、個々の災害対応能力の向上に向けた研修を引き続き行います。</p> <p>○災害時において、市民一人ひとりが適切な行動をとれるよう、具体的、実践的な情報を発信し、洪水のような進行型災害が発生した際に、「いつ」「何をするのか」を整理した個人の防災計画となるマイ・タイムラインの普及啓発を進めます。</p> <p>○民間事業者や団体等と災害時における相互応援協定等を締結します。</p> <p>○洪水・高潮避難ビルを拡充します。</p> <p>○避難所の環境改善に向け、小・中学校において、簡易ベット等の配備場所の確保を進めます。</p> <p>○災害時のデジタル活用については、AI等の技術を活用した新たなテクノロジーの導入について検討が必要です。</p> <p>○校区自主防災組織等に対して、補助金の支援をはじめ組織としての底上げが図れるよう講座等を実施してきましたが、全小学校区に自主防災組織が組織されるよう引き続き、必要な支援を行います。</p> <p>○福祉部と連携し、個別避難計画の作成を進めます。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標/参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	目標
1	参考	避難所開設訓練	担当課調査	回	1	1	1	数値	1
		考え方、定義、算出方法など						年	令和8
2	参考	出前講座の参加人数	担当課調査	人	2,475	991	1,323	数値	5,500
		考え方、定義、算出方法など						年	令和8
3	参考	地区防災圏自主防災組織の組織率	担当課調査	%	70.7	73.2	73.2	数値	85
		考え方、定義、算出方法など						年	令和8
4	参考	職員参集配信訓練回数	担当課調査	回			3	数値	3
		考え方、定義、算出方法など						年	令和
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	感染症対策関連事業	区分	継続
施策の方向性	(1) 防災力の充実強化を図ります	総合計画掲載ページ	64
担当部局・課	100100 総務部・行政総務課		
関連部局・課			

事業概要	○新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、消毒液等、全庁共通に必要な物品を調達し、安心・安全を確保します。
------	--

当該年度の実績	○新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、消毒液等、全庁共通に必要な物品を調達し、安心・安全を確保しました。
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	○令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類に移行することから、令和5年度は規模を縮小して実施します。令和6年度以降については、本事業を廃止のうえ、総務業務の支援の中で、全庁共通に必要な消毒液等の購入に係る手続きの一元化を継続します。
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	消毒物品発注実績（手指消毒用アルコール）	担当課調査	箱	1,066	265	285	数値	
	考え方、定義、算出方法など	全庁への必要数調査による配布実績。							
2	参考	消毒物品発注実績（次亜塩素酸ナトリウム製品）	担当課調査	本	335	245	474	数値	
	考え方、定義、算出方法など	全庁への必要数調査による配布実績。							
3	参考	消毒物品発注実績（ゴム手袋）	担当課調査	箱	1,037	442	1,058	数値	
	考え方、定義、算出方法など	全庁への必要数調査による配布実績。							
4	参考	消毒物品発注実績（ぞうきん）	担当課調査	袋	1,022	425	614	数値	
	考え方、定義、算出方法など	全庁への必要数調査による配布実績。							
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	水防対策事業（基盤管理課）	区分	継続
施策の方向性	(1) 防災力の充実強化を図ります	総合計画掲載ページ	64
担当部局・課	431000 都市基盤部・基盤管理課		
関連部局・課	030100 危機管理課 430100 交通政策課 430500 基盤整備課 431500 基盤保全課 530000 上下水道局 530100 経営部 530500 技術部 560000 消防局 560100 消防総務課 560500 警防課		

事業概要	<p>○市民が安全に安心して暮らせるまちづくりを進めるために、危機管理課、上下水道局、消防局と連携し、集中豪雨による浸水被害の軽減や対応を図ります。</p>
当該年度の実績	<p>○令和4年5月9日（月）から令和4年10月24日（月）の169日間にかけて、雨（風）当番体制を実施し風災害に備えました。また、台風14号の影響により、風水害警戒体制（A-2配備）及び雨（風）当番体制をそれぞれ1回発動しました。</p> <p>○大阪府と連携し、水防ため池の点検調査を14箇所で行いました。また、ため池ハザードマップに関する住民説明会を1箇所で行いました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○雨（風）当番体制の発動回数が1回と少なく、職員の経験不足が懸念されます。今後、班編成を行う際には、経験値の高い職員が偏らないように配慮し、技術継承しやすい体制づくりを実施します。</p> <p>○ため池に関する防災・減災にむけ、ため池管理者や関係機関との調整及び連携の強化が必要です。今後、この調整を有効的に活用し、農業利用されていないため池の潰廃や老朽化ため池の改修を行うための協議を実施していきます。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	雨当番体制発動回数	基盤管理課資料	回	5	7	1	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	水防対策事業（基盤保全課）	区分	継続
施策の方向性	(1) 防災力の充実強化を図ります	総合計画掲載ページ	64
担当部局・課	431500 都市基盤部・基盤保全課		
関連部局・課	030000 危機管理課 431000 基盤管理課 432000 維持修繕課		

事業概要	<p>○危機管理課、上下水道局及び消防局と連携を図り、雨当番体制を充実させるため、市内水防設備等を活用し、市民への水防関連の情報提供を実施します。 また、神崎川における高潮、洪水の旧猪名川への流入防止及び内水の排除を実施します。</p>
当該年度の実績	<p>○千里川水位情報システム 大雨における千里川の増水状況を近隣住民へ注意を促す放送設備の維持管理業務及び放送訓練を実施しました。 ○市内水防観測設備（情報） 市内13か所の雨量計等の設備の維持管理及び運用を業務委託により実施しました。 ○旧猪名川排水機場管理 高潮、洪水対策として、神崎川から旧猪名川への排水ポンプ及び防潮水門等の設備の運転操作及び維持管理に関する委託、修繕等を実施しました。 ○千里川非常放送設備（親水公園） 集中豪雨などによる千里川の増水、気象情報を親水公園3か所の利用者に危険を知らせる放送設備の維持管理業務を実施しました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○千里川水位情報システム 近隣住民へ水位情報の注意を促すことができました。 クラウドで水位情報を監視しており、緊急時に備えることができました。 今後も近隣住民への周知徹底に取り組みます。 ○市内水防観測設備（情報） 市内の雨量、水位、樋門開閉状況を把握でき、水防のための重要な情報となりました。 関係機関に情報を幅広く活用していただき、今後も市民への雨量情報の情報提供に取り組みます。 ○旧猪名川排水機場管理 浸水被害等を防ぎました。 今後も旧猪名川の内水排除の機能保持に取り組みます。 ○千里川非常放送設備（親水公園） 事前に河川の増水を把握することで水難事故を防止しました。 今後も水難事故ゼロをめざし、設備の点検、近隣住民への情報提供に取り組みます。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	旧猪名川排水機場管理排水運転時間（点検運転時間）	協定書	時間	25	23	28	数値	
	考え方、定義、算出方法など	協定書第11条操作規程に基づく月2回の点検運転時間							
2								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
4								数値	
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	水防対策事業（維持修繕課）	区分	継続
施策の方向性	(1) 防災力の充実強化を図ります	総合計画掲載ページ	64
担当部局・課	432000 都市基盤部・維持修繕課		
関連部局・課	030000 危機管理課 431500 基盤保全課		

事業概要	<p>○集中豪雨による浸水被害の対応及び軽減を図るため、危機管理課、上下水道部、消防局と連携をとりながら、市民が安心して住める、安全なまちづくりをめざします。</p>
当該年度の実績	<p>○雨当番体制をとり、集中豪雨に伴う浸水被害に備えました。 台風やゲリラ豪雨の対策として、随時土のうの貸出を行いました。 各部局連携のもと水防訓練を行いました。 機材の点検を行い、災害に備えました。</p>

<p>当該年度の成果・課題</p> <p>解決できた課題・今後の方向性</p>	<p>○台風や集中豪雨時の災害軽減ができました。 事前の土のうの貸し出しで、浸水被害の軽減ができました。 水防訓練の実施で職員の水防意識の向上が見られました。 ここ数年台風や集中豪雨による災害が増加しているため、関連部局と連携を取りながら、浸水被害の対応を現状のまま継続していく必要があります。</p>
---	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	土嚢貸出	土嚢貸出簿	袋	525	661	337	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	防犯関連事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 犯罪や消費者被害などの予防、被害拡大防止を図ります	総合計画掲載ページ	65
担当部局・課	030100 危機管理課・危機管理課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○市民が安心・安全に暮らすことができる社会実現のため、市が設置している見守りカメラ・駅前カメラを引き続き運用・管理します。</p> <p>○地域の安全は地域で守るという意識を醸成するため、防犯協議会への活動補助や自治会防犯カメラ設置補助、青色回転灯パトロールカー助成を引き続き実施します。</p>
当該年度の実績	<p>○犯罪の早期解決のため見守りカメラ等の画像データを捜査機関に提供しました。また、画像データの提供にあたっては、申請内容を厳格に審査し、適正な運用を行いました。</p> <p>○自治会に対する防犯カメラ設置補助を行いました。</p> <p>○豊中・豊中南警察署と調整を図り、豊中市安全なまちづくり推進協議会を開催しました（感染予防のため書面による開催）。</p> <p>○豊中防犯協議会及び豊中南防犯協議会に対し、自発的な防犯活動を支援するため、助成金を交付しました。</p> <p>○見守りカメラ等の更新に向けて、防犯に関するアンケートを実施するなど検証を行いました。</p>

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○引き続き見守りカメラ等の運用を行い、市域の安全・安心を推進します。</p> <p>○豊中・豊中南防犯協議会、両警察署と連携し、地域で行われている自発的な防犯活動を支援します。</p> <p>○見守りカメラ等の更新に向けた各種調整を行います。</p>
------------------------------	--

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値 年	1,500 令和8
1	参考	刑法犯罪発生件数	主要罪種別認知件数	件	1,870	1,614	1,736	数値 年	1,500 令和8
	考え方、定義、算出方法など	犯罪統計（大阪府警）「9. 刑法犯市区町村別主要罪種別認知件数」より							
2	目標	防犯カメラ設置団体数	担当課調査	団体	1	2	1	数値 年	3 令和8
	考え方、定義、算出方法など	当該年度に防犯カメラ設置補助を受けた自治会等							
3	目標	青色回転灯パトロールカー活動団体数	担当課調査	団体	9	8	8	数値 年	10 令和8
	考え方、定義、算出方法など								
4	参考	保有個人情報外部提供可否決定通知件数	担当課調査	件数	806	796	802	数値 年	850 令和8
	考え方、定義、算出方法など	警察等捜査機関から受けた見守りカメラ画像申請に対する提供件数							
5								数値 年	
	考え方、定義、算出方法など								

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	暴力団排除推進事務	区分	継続
施策の方向性	(2) 犯罪や消費者被害などの予防、被害拡大防止を図ります	総合計画掲載ページ	65
担当部局・課	103000 総務部・法務・コンプライアンス課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○犯罪等の被害拡大防止を図るために、市の事務若しくは事業、市の区域における事業活動又は市民の生活に生じる不当な影響を排除するための総合的な企画調整を行うことにより、社会全体で暴力団の排除を推進し、もって市民生活の安全及び平穩を確保します。</p>
------	--

当該年度の実績	<p>○豊中市暴力団排除条例に基づき、暴力団の排除に関する事務を行いました。 ○事業者から誓約書の提出があった契約の件数：18部局805件 ○警察への照会件数：6部局234件</p>
---------	---

当該年度の成果・課題 解決できた課題・今後の方向性	<p>○豊中市暴力団排除条例に基づき、豊中警察及び豊中南警察に照会を行うことで、暴力団の排除の推進につながりました。 ○同条例の目的である市の事務及び事業からの暴力団の排除を図ります。</p>
------------------------------	---

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	協定書に基づき、警察に照会を行った件数	市政年鑑	件	257	190	234	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
2	参考	協定書に基づき、暴力団排除措置を講じた件数	担当課調査	件	0	0	0	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
3	参考	契約相手方から暴力団を排除するため徴収した誓約書の件数	担当課調査	件	838	702	805	数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
4								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	
5								数値	
		考え方、定義、算出方法など						年	

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	消費生活事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 犯罪や消費者被害などの予防、被害拡大防止を図ります	総合計画掲載ページ	65
担当部局・課	300500 市民協働部・くらし支援課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○契約などによる消費者トラブル問題解決のために、適切な助言・あっせんを行う消費生活相談をはじめ、消費生活の基礎知識や消費者問題などについての啓発講座の実施や情報誌等による情報提供を行うことにより、消費者被害の未然防止を図るとともに、消費者の自立を促進します。また、警察や関係機関との連携により、悪質商法や特殊詐欺被害防止を図ります。</p>
当該年度の実績	<p>○消費者トラブルなどの問題解決に向けた消費生活相談は2,946件でした。また、府や国民生活センターなどが主催する消費生活相談員研修に参加し、新型コロナウイルス感染症の影響による新しい相談に対応できるよう、知識のアップデートを行いました。 ○くらしの中の身近な話題などを通じた啓発講座の実施や安全で豊かなくらしのための消費生活情報誌（暮らしの情報）等の発行し、公共施設を拠点に配布するとともにHPや市公式ラインにおけるセグメント配信などを通じた情報提供を行いました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○消費生活相談、啓発講座、情報発信等の取組みにより、消費者の自立促進、消費者被害の未然防止に一定寄与しました。 ○店舗取引での過剰要求の相談など解決が困難な相談が増え、円滑に相談が終了できない事例が増加する一方で、高齢者など、くらしに相談できない被害救済が可能な相談者の掘り起こしが課題です。 ○消費生活相談や特殊詐欺の手口など、社会情勢に応じて相談内容等が変化することが考えられることから、引き続き周知・啓発を行い、また高齢消費者等の被害を未然に防止するため関係機関等との連携の強化により高齢消費者等の見守り体制の充実を図るとともに消費者センターの認知度向上に取り組んでまいります。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	消費生活相談件数	くらしのレポート	件	3,177	2,914	2,946	数値	2,500
	考え方、定義、算出方法など	相談件数の合計							
2	参考	くらしの安心メール登録者数	くらしのレポート	人	3,962	4,343	4,340	数値	1,050
	考え方、定義、算出方法など	メール配信登録者数							
3	参考	講座受講者数（学校向け講座含む）	くらしのレポート	人	1,647	3,040	3,464	数値	4,000
	考え方、定義、算出方法など	講座受講者数							
4	参考	SNS等を活用したくらしの安心情報登録者数	担当課調査	人			3,759	数値	5,000
	考え方、定義、算出方法など								
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	生活情報センター事業	区分	継続
施策の方向性	(2) 犯罪や消費者被害などの予防、被害拡大防止を図ります	総合計画掲載ページ	65
担当部局・課	300500 市民協働部・くらし支援課		
関連部局・課			

事業概要	<p>○くらしに関する情報の収集・提供、消費生活、地域就労支援、無料職業紹介、労働福祉などの事業が円滑に行われるため、生活情報センターくらしかんを適切に管理運営します。</p> <p>○適正計量を実現するため、はかりの定期検査等を実施します。</p>
当該年度の実績	<p>○生活情報センターの管理運営を行いました。</p> <p>○【新規】開館から25年が経過する中、エレベーターの改修工事に取り組み、制御盤などの更新を実施しました。</p> <p>○生活情報センター条例を改正し、くらしかんの設置目的に合致する利用を促進するため、目的利用制度を創設しました。</p> <p>○コロナ禍の状況ではありましたが、はかりの定期検査を実施するとともに、商品量目立入検査を実施しました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○くらしかんの貸室利用の稼働率向上が課題ですが、くらしかんの貸室利用を促進するため、目的利用制度を創設し、令和5年（2023年）4月から運用開始します。</p> <p>○適正計量では、他自治体において単独自治体では解決が難しい事案も発生している中、計量関係会議のネットワークを活用し、府内自治体との情報交換を図りながら事業を進めます。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	くらしかん目的利用回数	担当課調べ	回	995	1,157	1,159	数値	
	考え方、定義、算出方法など	自主事業と登録グループによる利用回数。くらしかんの設置目的に合致した利用回数							
2	参考	くらしかん利用回数	担当課調べ	回	2,258	2,275	2,553	数値	
	考え方、定義、算出方法など	ミーティングルームやグループ連絡室などを含めたくらしかんの利用回数合計							
3	参考	くらしかん利用人数	担当課調べ	人	23,584	27,251	35,332	数値	
	考え方、定義、算出方法など	ミーティングルームやグループ連絡室などを含めたくらしかんの利用人数合計							
4	参考	はかりの集合検査台数	担当課調べ	器	297	362	336	数値	
	考え方、定義、算出方法など	器数は、分銅を除いた数値							
5								数値	
	考え方、定義、算出方法など								

令和4年度事業管理シート（評価時）

事業名	安全対策事業	区分	継続
施策の方向性	(3)交通安全意識の向上を図ります	総合計画掲載ページ	65
担当部局・課	430100 都市基盤部・交通政策課		
関連部局・課	030100 危機管理課 604500 児童生徒課		

事業概要	<p>○個人所有のため池における転落等の事故を未然に防止し、市民の生命の安全を図るために、注意喚起等を行います。</p> <p>○交通ルールの遵守と交通マナーの向上のために、交通安全教室や啓発行事等を通じて、市民一人一人に交通安全思想を普及徹底します。</p>
当該年度の実績	<p>○個人所有のため池の点検を行い、小学生・中学生へチラシを配布しました。</p> <p>○コロナ禍のためオンライン形式で交通安全教室を実施しました。10月以降は一部対面形式での交通安全教室も再開しました。</p>

当該年度の成果・課題	<p>○個人所有のため池において、柵等が破損している部分の修繕を所有者に依頼し、実施していただきました。今後も点検を行い、危険な箇所については修繕の依頼を行います。</p> <p>○交通安全教室については、一部対面形式を再開することができ、受講者も増加しました。今後は全面的に対面形式を再開させ、更なる受講者の増加に努めます。</p> <p>また、交通安全教室を実施していない市立小学校については案内を送付するなど実施を促します。</p>
解決できた課題・今後の方向性	

【関連データ】

	目標／参考	データ名	出典	単位	実績値の推移			目標	
					令和2年度	令和3年度	令和4年度	数値	年
1	参考	個人所有ため池等箇所数	交通政策課資料	箇所	11	11	11	数値	
	考え方、定義、算出方法など								
2	参考	個人所有ため池等の事故件数	交通政策課資料	件	0	0	0	数値	
	考え方、定義、算出方法など								
3	目標	交通安全教室実施回数	交通政策課資料	回	2	33	70	数値	110
	考え方、定義、算出方法など		高等学校、小中学校、幼稚園、保育園、こども園、支援学校の交通安全教室実施回数						
4	目標	交通安全に関する講習会の実施回数	交通政策課資料	回	0	0	0	数値	60
	考え方、定義、算出方法など		高齢者向け交通安全講習会、安全運転者講習会、自治会・地域での交通安全啓発の実施回数						
5	目標	交通安全教室参加のべ人数	交通政策課資料	人	607	12,575	17,589	数値	30,000
	考え方、定義、算出方法など		高等学校、小中学校、幼稚園、保育所、こども園、支援学校の交通安全教室参加のべ人数						

